

教育委員会の事務の管理及び執行状況の

点検及び評価の報告書

令和5年度対象



八街市教育委員会

令和6年9月

目 次

八街市民憲章、青少年健全育成都市宣言	1
やちまた教育の日、市の花「ヒマワリ」制定	2
I 教育委員会の事務の点検及び評価について	
1. 点検評価の目的及び対象	3
2. 点検評価の期日	3
3. 点検評価の方法	3
II 教育委員会の活動状況	
1. 教育長及び教育委員	4
2. 総合教育会議	4
3. 教育委員会議	4
4. 教育委員研修	5
5. 教育委員による教育施設視察の評価	6
III 事務事業の点検評価	
1. 令和5年度事業の概要	11
事務事業評価一覧表	12
教育委員会の事務事業評価シート	
1. 教育委員報酬	17
2. 教育委員会諸費	19
3. 教育委員会事務局諸費	21
4. 小学校施設整備事業費	23
5. 小学校施設整備事業費（明許繰越分）	25
6. 小学校管理諸費	27
7. 小学校施設維持管理費	29
8. 小学校施設改修事業費	31
9. 小学校施設改修事業費（明許繰越分）	33
10. 中学校施設整備事業費	35
11. 中学校施設整備事業費（明許繰越分）	37
12. 中学校管理諸費	39
13. 中学校施設維持管理費	41
14. 中学校施設改修事業費	43
15. 中学校施設改修事業費（明許繰越分）	45
16. 幼稚園施設整備事業費	47
17. 幼稚園諸費	49
18. 幼稚園施設維持管理費	51
19. 教育指導諸費	53
20. 外国語指導助手事業費	55
21. 教育支援センター管理運営費	57

22.	通学路安全対策事業費	59
23.	教育センター運営費	61
24.	育て八街っ子推進事業費	63
25.	小学校教育振興費	65
26.	小学校教材備品等購入費	67
27.	小学校理科教育振興用備品購入費	69
28.	小学校児童援助奨励費	71
29.	中学校教育振興費	73
30.	中学校教材備品等購入費	75
31.	中学校理科教育振興用備品購入費	77
32.	中学校生徒援助奨励費	79
33.	中学校地域部活動推進事業費	81
34.	学校保健管理費	83
35.	学校保健諸費	85
36.	学校保健特別対策事業費	87
37.	社会教育振興費	89
38.	青少年健全育成費	91
39.	文化財保護費	93
40.	中央公民館管理運営費	95
41.	中央公民館整備事業費	97
42.	図書館管理運営費(施設の維持管理等)	99
43.	図書館管理運営費(資料収集、読書の普及、利用促進)	101
44.	図書館整備事業費	103
45.	郷土資料館管理運営費	105
46.	市史編さん費	107
47.	八街市ピーナッツ駅伝大会運営費	109
48.	学校開放推進費	111
49.	保健体育総務費	113
50.	体育振興費	115
51.	郡市民体育大会運営費	117
52.	体育施設維持管理費	119
53.	体育施設整備事業費	121
54.	スポーツプラザ管理運営費	123
55.	学校給食センター一般管理費	125
56.	学校給食センター調理場維持管理費	127
57.	学校給食センター調理場給食事業費	129
58.	学校給食センター調理場給食事業費(明許繰越分)	131

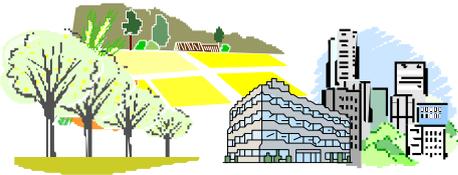
IV まとめ

八街市民憲章

わたくしたちの八街は、開拓の歴史と恵まれた自然環境の中で、先人の努力によって栄えてきたまちです。

わたくしたちは、「ヒューマンフィールドやちまた」を目指して、調和のとれたよりよいまちづくりのために、この憲章を定めます。

1. 郷土を愛し、文化のかおり高いまちにしましょう。
1. 自然を大切にし、潤いのある美しいまちにしましょう。
1. きまりを守り、明るい住みよいまちにしましょう。
1. おもいやりのある、心のかよった豊かなまちにしましょう。
1. スポーツに親しみ、健康で働くたくましいまちにしましょう。



〈平成4年9月28日制定〉
八 街 市

青少年健全育成都市宣言

ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまたを大きく発展させ、次代の八街を創る者は、青少年です。

青少年が、夢、希望を持ち、自由と責任を自覚しながら、たくましく生きていく力を蓄え、広く社会に役立つ人材に成長することは、市民すべての願いです。この願いを実現するため、青少年自らの努力を期待するとともに、家庭、学校、地域社会が一体となり、優しさと潤いのある環境の中で青少年を心身共に健やかに育てることを決意し、ここに八街市を『青少年健全育成都市』とすることを宣言する。



〈平成20年3月19日制定〉
八 街 市

11月12日は「やちまた教育の日」

八街市教育委員会では、「ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた」の具現化に向け、明日の八街市を担う、夢をいだき心豊かでたくましく生きる子ども達を育てるため、様々な施策を展開しているところであります。

次代を担う人々が、八街で生まれ育ったことを誇りとし、健やかに成長していくためには、学校・家庭・地域の相互の連携を推進するとともに、市民一人ひとりが教育に対する理解と関心を深め、それぞれの場で役割を担い、やちまたのひとづくりに積極的に参加していただくことが不可欠であります。

八街市教育委員会では、〈学校改善〉〈継続指導〉〈学校・家庭・地域との連携〉の3つの柱を視点とした『幼小中高連携教育』を全国に先がけ平成9年から取り組み、その成果を平成16年に全国公開で発表した、11月12日を「やちまた教育の日」と定め、併せて11月を「やちまた教育の日月間」として決めました。



〈平成22年4月1日制定〉
八街市教育委員会



市の花『ヒマワリ』



市制施行20周年の節目にあたり、市の花を「ヒマワリ」に指定しました。

天に向かって一直線に伸び、鮮やかな大輪の花を咲かせるイメージから『【ひ】かり輝き、【ま】わりを照らす、【わ】たしもあなたも、【り】っぱに育てよ』と、次代を担う子どもたちへの思いを込め、「ヒマワリ」が市の花に決定しました。

〈平成25年2月1日制定〉
八 街 市

I 教育委員会の事務の点検及び評価について

1. 点検評価の目的及び対象

効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、教育委員会は、毎年その権限に属する事務（教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないとされています。

そこで、本年度も令和5年度執行の教育委員会の権限に属する全ての事務事業について、決算状況を踏まえた上で点検評価を行いました。

その他、教育委員会の所管する全ての幼稚園、小中学校及び教育施設の教育委員会訪問を行いました。その際、授業や施設の状況などを参観するとともに、学校長等から学校運営、学校の課題、学校の現状などの説明を受け、質疑応答を行うことなど、学校及び教育施設の状況を把握することに努めました。

2. 点検評価の期日

①担当課による一次評価	令和6年6月 7日
②教育委員会による二次評価	令和6年7月11日
③教育に関して知見を有する者を活用した外部評価	令和6年8月 9日

3. 点検評価の方法

令和5年度の点検及び評価の実施にあたっては、「八街市教育委員会事務事業評価実施要領」により作成された、教育委員会事務事業評価シートにより評価を実施しました。

事務局等の評価は、一次評価として位置づけ、関係職員から事情を聴取することによって評価を実施しました。

二次評価については、昨年度と同様、教育長及び教育委員4名による評価とし、シートの評価欄については、5名の評価を取りまとめた判定結果を4段階（A, B, C, D）で記載しました。

さらに、この評価結果について、教育に関し学識経験を有する方2名の知見を受け、事務事業の外部評価としました。

二次評価及び外部評価の結果一覧については、12ページから14ページに「事務事業評価結果一覧表」として記載しました。

II 教育委員会の活動状況

1. 教育長・教育委員

- 浅尾 智康 教育長
- 山田 良子 委員 【教育長職務代理者】
- 吉田 昌弘 委員
- 橋爪 通代 委員
- 近藤 博 委員

2. 総合教育会議

【令和5年度実績】

第1回：令和5年8月21日（月）

- 議題（1）移動図書館車の現状について
- （2）スポーツプラザの利用状況等について

第2回：令和6年3月21日（木）

- 議題（1）ICT教育の現状と課題について

3. 教育委員会会議

【令和5年度実績】

定例会：12回

臨時会：1回

【審議案件】

- ・教育行政の運営に関する基本方針を定めること 0件
- ・予算その他議会の議決を要する事件の議案について、市長に意見を申し出ること 3件
- ・附属機関の委員を任命し、又は委嘱すること 13件
- ・教育委員会規則及び訓令等の制定又は改廃に関すること 15件
- ・教育功労者を表彰すること 2件
- ・教科用図書その他の教材の取扱いの方針を定めること 1件
- ・その他 9件

※総合教育会議及び教育委員会会議の議事録をホームページで公開しています。

4. 教育委員の研修

(1) 令和5年度千葉県市町村教育委員会連絡協議会定期総会及び特別講演

日 時：令和5年5月23日（火）午後1時30分～同3時40分

会 場：スターツおおたかの森ホール

参加者：3名（教育長及び教育委員2名）

○特別講演1：演題「教師等の指導体制の充実と働き方改革の推進について」

講師 文部科学省初等中等教育局財務課

校務改善専門官 佐藤 悠樹 氏

○特別講演2：演題「令和の日本型学校教育」を担う教師の在り方について

講師 文部科学省総合教育政策局教育人材政策課

教員免許・研修企画室長 檜原 哲哉 氏

(2) 令和5年度市町村教育委員会研究協議会

日 時：令和5年6月29日（木）午後1時15分～同4時55分

方 法：オンライン会議の実施

参加者：3名（教育長及び教育委員2名）

・分科会A：「いじめ対策・不登校支援について」

滋賀県守山市、大阪府摂津市、広島県三原市、同県三次市及び本市の教育長・教育委員によるグループ協議

・分科会B：「部活動のあり方について」

茨城県笠間市、滋賀県湖南市、兵庫県加古郡播磨町、岡山県都窪郡早島町、佐賀県伊万里市及び本市の教育長・教育委員によるグループ協議

(3) 令和5年度第1回教育長・教育委員研修会

期 日：令和5年11月28日（火）～同年12月27日（水）

方 法：期間内にオンライン動画を視聴

参加者：5名（教育長及び教育委員4名）

○テーマ：「教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策（提言）」

～教師の専門性の向上と持続可能な教育環境の構築を目指して～

概 要：千葉県教育委員会教育委員・貞廣斎子氏によるテーマについての説明後、県内市町村教育委員会教育長5名と千葉県教育委員会教育委員4名との意見交換を実施。

(4) 令和5年度第2回教育長・教育委員研修会

日 時：令和6年1月26日（金）午後1時30分～同3時30分

会 場：スターツおおたかの森ホール

参加者：4名（教育長及び教育委員3名）

○講演：演題「千葉県におけるコミュニティスクールの現状と課題」

講師 千葉大学名誉教授 天笠 茂 氏

○シンポジウム：コーディネーター 千葉大学名誉教授 天笠 茂 氏

パネリスト 柏市教育委員会教育長 田牧 徹 氏

鴨川市教育委員会教育長 鈴木 希彦 氏

睦沢町教育委員会教育長 鶴澤 智 氏

長南町教育委員会教育長 糸井 仁志 氏

5. 教育委員による教育施設視察

期 日 【教育施設名】	幼稚園・学校：園児・児童・生徒の姿 そ の 他：施設の状況・業務内容	幼稚園・学校：教師の姿 そ の 他：経営の状況・職員の姿
令和5年 4月20日（木） 【交進小学校】	<ul style="list-style-type: none"> ・どの学年のこどもたちも、発達段階に応じ、熱心に学習に取り組んでいた。 ・落ち着いた中でも、活発に意見・答えをしっかりと発言している姿も見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもたち一人ひとりを大切にしている姿が見られる。 ・電子黒板等のICT機器と板書を効果的に使い、わかりやすく、充実した指導をしていた。
同 【八街中学校】	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒たちは学習のねらいを理解し、積極的に学習に取り組んでいた。 ・3年生の合唱は圧巻だった。八街中の生徒の姿の象徴だと感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方の活力を感じる授業である。さすがという感想であった。 ・電子黒板を使いながらも、コミュニケーションがとれる授業がされていた。
令和5年 5月24日（水） 【八街南中学校】	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に取り組む姿勢が素晴らしく、めりはりのある中学生らしい態度に感心した。 ・グループ学習では、互いに協力し合いながら各々の課題解決に向かって自主的に学習していた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・深い教材研究に基づくわかりやすい授業展開。生徒の自ら学ぶ意欲を引き出す指導は素晴らしい。 ・板書で、授業の目標がきちんと示されている。先生の服装もきちんとしており、生徒を引きつける発声もあって、授業に集中すると思う。
同 【学校給食センター】	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備は、隅々まで清潔に適正に維持管理されていた。 ・職員みんなで施設維持に気を配り、適正に管理されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設設備の老朽化、食材の高騰等、大変厳しい状況下様々な工夫をしながら計画的に事業を実施している。

期 日 【教育施設名】	幼稚園・学校：園児・児童・生徒の姿 そ の 他：施設の状況・業務内容	幼稚園・学校：教師の姿 そ の 他：経営の状況・職員の姿
令和5年 6月22日（木） 【八街中央中学校】	<ul style="list-style-type: none"> ・どの学級の子どもたちも真剣に課題に取り組んでいた。 ・どの授業においても適度な緊張感があり、生徒たちは意欲的に授業に参加していた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に対して教材研究をしっかり行い、取り組んでいることがよくわかる展開だった。 ・電子黒板を効果的に活用し、生徒の集中力を高め、理解を深めていた。
同 【川上幼稚園】	<ul style="list-style-type: none"> ・園児がのびのびと楽しそうに活動している姿から、日頃の園での生活が充実していることをうかがうことができた。 ・指導者の話をしっかり聞き、難しい動きにも挑戦していた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園児一人一人に目が行き届いた授業を行っていた。 ・一緒になって体を動かして子ども達を励ましていた。
令和5年 7月13日（木） 【笹引小学校】	<ul style="list-style-type: none"> ・どのクラスの子どもたちも、姿勢良く、熱心に学習に取り組んでいた。 ・先生の質問に手を挙げ、発表を元気にしている姿が印象的だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも、授業の目標がしっかり示されており、児童に寄り添った授業が展開されていた。 ・児童の質問に的確に答え、電子黒板やタブレットを使って興味を持つような授業展開だった。
同 【朝陽幼稚園】	<ul style="list-style-type: none"> ・本日はプールであったので、元気に活動していた。 ・子どもたちはそれぞれに水の感触やプールでの遊びを楽しみ、生き生きとした表情を見せていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人の活動や表情に気を配りながら、子どもたちが水遊びを存分に楽しむことができるように支援していた。常に安全面に配慮していた。 ・けじめをつけるところ、全力で楽しむところ、遊びの中にもめりはりのある教育をしていると思った。
令和5年 8月24日（木） 【図書館】	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備は利用者の目線でよく考えられ、使いやすいように配架・配置されていて、明るくて親しみやすい。 ・老朽化した施設ではあるが、適切なメンテナンスで維持管理されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニア司書養成講座や電子書籍導入等、先進的な取り組みを積極的に行い、市民サービスの向上に努めている。 ・デジタル図書は、若い世代のニーズに答えたよい事業だと思う。

期 日 【教育施設名】	幼稚園・学校：園児・児童・生徒の姿 そ の 他：施設の状況・業務内容	幼稚園・学校：教師の姿 そ の 他：経営の状況・職員の姿
同 【中央公民館】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築後約45年を経過し、老朽化が目立つ箇所もあるが、利用者の安心安全が図れるよう適切に管理されていた。 ・ 「公民館使用の手引き」もとても見やすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年間のコロナ禍の間、制限されていた事業計画もようやく復活できるようになり、活気を取り戻したように感じる。 ・ 特に学習講座が的確に計画され、また、こうみんかん祭りが5年ぶりに実施されることになり、市民のみなさんのため、大変素晴らしいことと思料される。
同 【郷土資料館】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 狭い展示室や、小学校の余剰教室を使っただけの収蔵等が不便だが、よく工夫され、「知って・学べて・楽しめる」郷土資料館である。 ・ 市民の財産の管理が行き届いていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出土した資料の保存処理やデジタルデータ化等の業務も計画的に実施されていて、資料館として充実している。 ・ 企画展についても、市民のニーズに沿ったものとなっている。
令和5年 9月20日(水) 【八街第一幼稚園】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動会のよさこいの練習を熱心に行っていた。とても生き生きと楽しそうだった。 ・ 運動会が待ち遠しいように本番に向かって頑張っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 細かいところまで気を配り、こどもたちが楽しく活動出来るように、そして安全に活動出来るように指導している。 ・ 園児一人一人の表情や体調に気を配り、こどもたちと一緒に体を動かし、指導支援していた。
同 【八街北中学校】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学生らしく、落ち着いた態度で授業に取り組んでいた。 ・ 自分を高める意識が感じられた。 ・ 落ち着きあり、ノート記入もしっかり出来ていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一人を大切に、細かい支援をしっかりと行っている。 ・ 電子黒板等のIT機器を有効に使い、わかりやすくテンポの良い授業展開である。
令和5年 10月26日(木) 【八街北小学校】	<ul style="list-style-type: none"> ・ どのクラスも学習のルールを守って授業に臨む姿が見られた。 ・ 先生の話に熱心に聞き、ノートなども丁寧に書けていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ こども一人一人の考えを大切にし、こども主体の授業展開をしていた。また、こどもが自ら考えを深めていくようによく工夫された指導支援をしていた。 ・ 電子黒板、PC等ICTの積極的な活用が図られ、効果を上げている。
同 【八街東小学校】	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループでの話し合いが多く、クラスで行われ、児童の主体的な取組が見られた。 ・ 教室や廊下の掲示物が充実し、こどもたちの日頃の真摯な学習の様子が目に浮かぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一人に対する教師の目が優しく、真剣さが伝わってくる。 ・ 電子黒板、個人用PC等を積極的に活用していた。

期 日 【教育施設名】	幼稚園・学校：園児・児童・生徒の姿 そ の 他：施設の状況・業務内容	幼稚園・学校：教師の姿 そ の 他：経営の状況・職員の姿
令和5年 11月22日(水) 【ナチュラル 教育支援センター】	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示されていた写真からはこどもたちが自分のペースで安心して活動に取り組み、職員に信頼を寄せている様子が見えた。 ・室内に掲示してある写真の子どもたちの生き生きとした笑顔が印象的である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもたち一人一人の心に寄り添い、根気よく指導支援することでこどもの個性を伸ばす工夫をしていることがわかる。 ・児童生徒・保護者が安心して活動したり、相談したりすることができるように環境が整っている。
同 【スポーツプラザ】	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の隅々まで丁寧に管理が行き届いていて、利用者を温かく迎えていることが伝わってくる。 ・メインアリーナ・サブアリーナともに床が修繕され、とてもきれいに管理されていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が利用しやすいように事業が計画的に行われている。 ・公共施設予約システムが定着しつつあり、利用者の利便性が図られている。
令和5年 12月21日(木) 【二州小学校】	<ul style="list-style-type: none"> ・どの学級のこどもたちも、落ち着いて熱心に学習に取り組んでいた。 ・児童はICT機器を意欲的に学習に活かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・温かくわかりやすい指導で板書も計画的で見やすい。こどもの自主性を大切にしつつ、テンポ良く学習を進めていた。 ・こどもたちの作品をきれいに掲示し、学習環境を整えている。
同 【二州小学校沖分校】	<ul style="list-style-type: none"> ・児童自らプログラミングし、レゴブロックの乗り物を自由自在に動かしていた。 ・少人数のグループの中で話し合い、協力しながら仲良く意欲的に学習していた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方が協力し、また、事前の準備をしっかり行ってから授業に取り組んでいるのがよくわかった。 ・児童が興味を持つような授業だった。
令和6年 1月25日(木) 【川上小学校】	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年の児童もタブレット端末に慣れ親しみ、どの学級でもタブレットや電子黒板を活用して、主体的に集中して学習に取り組んでいた。 ・ノートに学習の積み重ねがしっかりまとめられていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板、タブレット端末を積極的に学習に取り入れ、黒板と併用しながら指導の効果を上げている。 ・若い先生方が元気にこどもたちと接している姿が素晴らしい。そして、ベテランの先生のフォローが良い。
同 【朝陽小学校】	<ul style="list-style-type: none"> ・どの学級のこどもたちも、明るく生き生きと学習に取り組んでいた。 ・自分たちで考え、行動する姿が素晴らしかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生がこどもの実態に合わせて授業を展開している。 ・どの学級の授業もねらいが明確で、こどもたちを引きつけていた。

期 日 【教育施設名】	幼稚園・学校：園児・児童・生徒の姿 そ の 他：施設の状況・業務内容	幼稚園・学校：教師の姿 そ の 他：経営の状況・職員の姿
令和6年 2月15日（木） 【実住小学校】	<ul style="list-style-type: none"> ・クロムブックを自在に使いこなしつつ、ノートの記述も丁寧で見やすく、学習の深まりがよくわかる。 ・学年に応じて、グループ学習など、児童が主体的に活動する姿が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板等を効果的に使いこなし、わかりやすくテンポの良い授業展開をしている。 ・先生方が自信を持って指導している姿がすばらしい。教材研究もしっかりとなされている。
同 【教育センター】	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の能力向上に向けて、効果的な研修が計画的に行われていることがわかった。 ・職員は、市全体のICT教育環境の整備を整えるために、工夫をして取り組み、成果をあげている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の学習状況やICTの活用状況等を把握・分析し、適切な指導・助言が行われていると感じた。 ・職員の方々が自ら進んで研修に励む姿勢がすばらしい。八街の教育の前進に大きな力となっている。

Ⅲ 事務事業の点検評価

1. 令和5年度事業の概要

八街市教育委員会では、令和5年度においても、八街市総合計画2015における、八街市がめざす将来都市像である、「ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた」の実現に向け、重点施策として、「八街市教育大綱」においても取り組んでいるⅠ『子どもの教育・健全育成の充実』、Ⅱ『自ら学ぶ生涯教育・スポーツの推進』、Ⅲ『市民文化の創造と継承』、Ⅳ『豊かな心を育む交流の推進』に努め、様々な事業を展開しています。

施策がめざす基本的方向として、次の方針に基づいて取り組んでいます。

Ⅰ『子どもの教育・健全育成の充実』

子どもたちが健全に成長し、人間性豊かな心を育むために、八街の特色を活かした教育活動や学習環境の充実を図ります。また、学校・家庭・地域が連携した地域ぐるみの青少年健全育成に努めます。

Ⅱ『自ら学ぶ生涯教育・スポーツの推進』

生涯学習社会の形成を目指し、さまざまな学習活動の支援と学習成果を生かすことの出来る機会づくりに努めます。また、スポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会の拡充を図ります。

Ⅲ『市民文化の創造と継承』

市民の芸術文化活動を支援し、発表や交流の場を拡充するとともに、八街の歴史文化遺産の保護・継承と活用に努めます。

Ⅳ『豊かな心を育む交流の推進』

国際交流、地域交流、世代間交流を推進し、広い視野を持つ人材の育成や、人々が交流する場の提供に努めます。



事務事業評価一覧表 〔令和5年度事業の評価〕

番号	款	項	目	所管課等	事務事業名	事務事業の評価 (教育委員会評価)					外部評価	
						必要性	有効性	効率性	公平性	総括 評価		
1	9	1	1	教育総務課	教育委員報酬	A	A	A	A	A	A	A
2	9	1	1	教育総務課	教育委員会諸費	A	A	A	A	A	A	A
3	9	1	2	教育総務課	教育委員会事務局諸費	A	A	A	A	A	A	A
4	9	2	1	教育総務課	小学校施設整備事業費	A	A	A	A	A	A	A
5	9	2	1	教育総務課	小学校施設整備事業費(明許繰越分)	A	A	A	A	A	A	A
6	9	2	1	教育総務課	小学校管理諸費	A	A	A	A	A	A	A
7	9	2	1	教育総務課	小学校施設維持管理費	A	B	A	A	A	A	A
8	9	2	3	教育総務課	小学校施設改修事業費	A	A	A	A	A	A	A
9	9	2	3	教育総務課	小学校施設改修事業費(明許繰越分)	A	A	A	A	A	A	A
10	9	3	1	教育総務課	中学校施設整備事業費	A	A	A	A	A	A	A
11	9	3	1	教育総務課	中学校施設整備事業費(明許繰越分)	A	A	A	A	A	A	A
12	9	3	1	教育総務課	中学校管理諸費	A	A	A	A	A	A	A
13	9	3	1	教育総務課	中学校施設維持管理費	A	B	A	A	A	A	A
14	9	3	3	教育総務課	中学校施設改修事業費	A	B	A	A	A	A	A
15	9	3	3	教育総務課	中学校施設改修事業費(明許繰越分)	A	A	A	A	A	A	A
16	9	4	1	教育総務課	幼稚園施設整備事業費	A	A	A	A	A	A	A
17	9	4	1	教育総務課	幼稚園諸費	A	A	A	A	A	A	A
18	9	4	1	教育総務課	幼稚園施設維持管理費	A	B	A	A	A	A	A
19	9	1	3	学校教育課	教育指導諸費	A	B	B	A	B	B	B

番号	款	項	目	所管課等	事務事業名	事務事業の評価 (教育委員会評価)					外部評価	
						必要性	有効性	効率性	公平性	総括 評価		
20	9	1	3	学校教育課	外国語指導助手事業費	A	A	A	A	A	A	A
21	9	1	3	学校教育課	教育支援センター管理運営費	A	A	A	A	A	A	A
22	9	1	3	学校教育課	通学路安全対策事業費	A	A	A	A	A	A	A
23	9	1	3	学校教育課	教育センター運営費	A	A	B	A	A	A	A
24	9	1	3	学校教育課	育て八街っ子推進事業費	A	B	B	A	A	A	A
25	9	2	2	学校教育課	小学校教育振興費	A	A	A	A	A	A	A
26	9	2	2	学校教育課	小学校教材備品等購入費	A	A	A	A	A	A	A
27	9	2	2	学校教育課	小学校理科教育振興用備品購入費	A	A	A	A	A	A	A
28	9	2	2	学校教育課	小学校児童援助奨励費	A	B	B	B	B	B	B
29	9	3	2	学校教育課	中学校教育振興費	A	A	A	A	A	A	A
30	9	3	2	学校教育課	中学校教材備品等購入費	A	A	A	A	A	A	A
31	9	3	2	学校教育課	中学校理科教育振興用備品購入費	A	B	B	B	B	B	B
32	9	3	2	学校教育課	中学校生徒援助奨励費	A	B	B	B	B	B	B
33	9	3	2	学校教育課	中学校地域部活動推進事業費	B	B	B	B	B	B	B
34	9	6	2	学校教育課	学校保健管理費	A	A	A	A	A	A	A
35	9	6	2	学校教育課	学校保健諸費	A	A	A	A	A	A	A
36	9	6	2	学校教育課	学校保健特別対策事業費	A	A	A	A	A	A	A
37	9	5	1	社会教育課	社会教育振興費	A	A	A	A	B	B	B
38	9	5	1	社会教育課	青少年健全育成費	B	B	B	A	B	B	B
39	9	5	1	社会教育課	文化財保護費	A	A	B	A	A	A	A

番号	款	項	目	所管課等	事務事業名	事務事業の評価 (教育委員会評価)					外部評価	
						必要性	有効性	効率性	公平性	総括 評価		
40	9	6	1	中央公民館	中央公民館管理運営費	A	A	A	A	A	A	A
41	9	6	1	中央公民館	中央公民館整備事業費	A	A	A	A	A	A	A
42	9	6	1	図書館	図書館管理運営費 (施設の維持管理等)	A	A	A	A	A	A	A
43	9	6	1	図書館	図書館管理運営費 (資料収集、読書の普及、利用促進)	A	A	B	A	A	A	A
44	9	6	1	図書館	図書館整備事業費(明許繰越分)	A	A	A	A	A	A	A
45	9	6	1	郷土資料館	郷土資料館管理運営費	A	A	A	A	A	A	A
46	9	6	3	郷土資料館	市史編さん費	A	A	A	A	A	A	A
47	9	6	3	スポーツ振興課	ピーナッツ駅伝大会運営費	B	B	C	C	C	C	C
48	9	6	4	スポーツ振興課	学校開放推進費	A	A	A	A	A	A	A
49	9	5	2	スポーツ振興課	保健体育総務費	A	A	A	A	A	A	A
50	9	5	2	スポーツ振興課	体育振興費	A	A	A	A	A	A	A
51	9	5	3	スポーツ振興課	郡市民体育大会運営費	A	A	A	A	A	A	A
52	9	5	3	スポーツ振興課	体育施設維持管理費	A	A	A	A	A	A	A
53	9	5	4	スポーツ振興課	体育施設整備事業費	A	A	A	A	A	A	A
54	9	5	5	スポーツプラザ	スポーツプラザ管理運営費	A	B	A	A	A	A	A
55	9	6	5	学校給食センター	一般管理費	A	B	A	A	B	B	B
56	9	6	5	学校給食センター	調理場維持管理費	A	A	A	A	A	A	A
57	9	6	5	学校給食センター	調理場給食事業費	A	A	B	A	A	A	A
58	9	6	5	学校給食センター	調理場維持管理費(明許繰越分)	A	A	A	A	A	A	A

教育委員評価の判定について

教育委員評価判定内規

各項目の判定にあたって、各委員の評価の取りまとめ方について

	i 委員	ii 委員	iii 委員	iv 委員	v 委員	評価	
例①	A	A	A	A	A	評価	A
例②	A	A	A	A	B	評価	A
例③	A	A	A	B	B	評価	B
例④	A	A	A	B	C	評価	B
例⑤	A	A	A	A	C	評価	A
例⑥	A	A	A	C	C	評価	B
例⑦	A	A	B	B	C	評価	B
例⑧	A	A	B	C	C	評価	B
例⑨	A	B	B	C	C	評価	C
例⑩	B	B	B	C	C	評価	C

下位が2以上あれば下位評価とする

下位評価が1の場合は上位評価とする

下位が2以上あれば下位評価とする

この他の評価パターンが生じた場合は上記の基準に照らし判断するものとします。

教育委員会の評価基準

Check 事務事業の評価

必要性 市民からのニーズ、手段、及び市が関与することの妥当性について検証します。

* 市民ニーズ

- a・・・増大若しくは極めて高い
- b・・・高い
- c・・・やや低い
- d・・・低い

* 妥当性

- a・・・法定受託事務や市が直接関与するよう法律や法令で定められた事業など
- b・・・公共性や収益性の観点から市が関与すべき事業
- c・・・役割分担可能であるが市関与が望ましい事業
- d・・・市で関与することは妥当性が少ない(民営化または縮小・廃止を検討すべき)

有効性 期待された成果に対する実施成果を検証します。

- a・・・期待された成果以上の高い成果が得られた
- b・・・概ね期待通りの成果が得られた
- c・・・成果はやや低い
- d・・・成果は低い

効率性 事業効率の向上、コスト低減の可能性などについて検証します。

- a・・・向上の余地なし(低減の余地は全くない)
- b・・・向上の余地はあまりない(低減の余地はあまりない)
- c・・・向上の余地あり(低減の余地あり)
- d・・・向上の余地は大きい(低減の余地は大きい)

公平性 事業効果の配分や受益者負担の公平性について検証します。

- a・・・検討の余地なし
- b・・・検討の余地はあまりない
- c・・・検討の余地あり
- d・・・検討の余地は大きい

総括評価 事務事業の総括及び実施上の課題について検証します。

期待された成果に対する実施成果を検証します。

- a・・・適切に実施されており検討の余地はない
- b・・・概ね適切に実施されており検討の余地はあまりない
- c・・・検討の余地あり
- d・・・検討の余地は大きい

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	教育委員報酬						所 管 課 等	部 局	教育部	
								課等・班	教育総務課・総務係	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				電話番号	443-1442	内線	2353
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街				E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
	具体的施策									
	実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償等に関する条例			
直接の対象者 (〜に対して)	教育委員					最終的な受益者	市民			
事業目的 (〜という状態にするために)	教育行政を運営するにあたり、地方公共団体に教育委員を置き、地域の実情に応じた教育の振興を図る。									
具体的な事業内容 (〜を行う)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会会議として、定例会及び臨時会を開催する。 ・教育委員による学校等教育機関訪問を実施する。 ・総合教育会議の構成員として、市長が招集する会議に出席する。 									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)			
	事業の実績	1	教育委員会定例会等開催数	回	12	12	13	12		
		2	総合教育会議出席数	回	1	1	2	2		
	事業の効果	1	定例会等議案審議件数	件	49	50	43	50		
		2	総合教育会議協議案件数	件	2	2	3	3		
	事業効果に関する外部要因									
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の会務に対する管理・監督に寄与している。 ・教育委員会会議を定期的に開催し、市の教育行政に係る基本方針や重要施策を審議・決定し、適正な運営に努めた。 								
④ 事業コスト	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)			
	(最終)予算額		千円		2,208	2,208	2,208	2,208		
	決算額			千円		2,208	2,208	2,208		
		特定・その他財源()	千円							
	一般財源		千円		2,208	2,208	2,208			
5年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			報酬	2,208						

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市教育行政に対する市民のニーズは高くなっており、その教育行政の重要施策を審議・決定する教育委員会会議は、市民の生活に直接関係があるため、必要である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	法に基づき市教育行政の重要事項を審議・決定する機関であり不可欠である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	月1回の定例会の開催に合わせ、学校等教育機関の訪問を実施し、現状の把握に努めた。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	月1回の定例会において、集中的に審議を行うことで、効率的な事務事業の執行を行っている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	教育委員会で決定された教育施策は、市教育行政全体へ反映されるため、公平性に問題はない。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	市のホームページで議事録(公表できない部分を除く)を公開し、透明性に努めるとともに市民のニーズに応じていく。		A
外部評価						
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A
			評価者 2	A		
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	6年度における取組のPRと方向性	・教育を取り巻く環境が激変する中で、教育委員会は実態を把握し、より実効的な活動をするため、平成17年度から実施している学校等教育機関訪問を引き続き実施する。 ・教育委員会会議、総合教育会議等の議事録、活動内容等をホームページで公開するなど、教育委員会の透明性を保持する。				
	事務事業の今後の方向性	<div style="text-align: center;">取り組み方向</div> <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		・教育委員会会議は、教育行政の重要事項を審議・決定する機関であり、継続して実施していかなければならない。 ・さらに現状を把握し、「総合教育会議」の利活用を充実し、教育委員会の一層の活性化を図る。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		教育委員会諸費					所 管 課 等	部 局	教育部		
								課等・班	教育総務課・総務係		
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					電話番号	443-1442	内線	2353
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街					E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 八街市教育委員会表彰規程			
直接の対象者(〜に対して)	市民・教育委員					最終的な受益者	市民				
事業目的(〜という状態にするために)	・教育、学術、文化又はスポーツの振興に関し、優秀な人材育成に資する。 ・教育委員会の活性化を図るため、教育委員の資質・能力の向上を図る。										
具体的な事業内容(〜を行う)	・教育委員会定例表彰式を実施する。 ・教育委員が、研修等に参加する。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実 績 ・ 成 果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)				
	事業の実績	1	定例表彰式の実施	回	0	1	1	1			
		2	教育委員の研修等への参加	回	0	3	3	3			
	事業の効果	1	教育委員会表彰被表彰者	人(団体)	22	27	29	30			
		事業効果に関する外部要因									
事業効果の総合分析(達成できたこと)		・教育、学術、文化又はスポーツに関し、功績が顕著であった個人又は団体を顕彰し、優秀な人材の育成に寄与した。 ・教育委員会において、市の教育行政に係る基本方針や重要施策を審議・決定し、教育委員会の適正な運営に努めた。また、その構成員である教育委員においては、県並びに印旛郡市の協議会が主催する研修等に積極的に参加し、能力の向上が図られている。									
④ 事 業 コ ス ト	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)				
	(最終)予算額		千円		199	193	190	188			
	決算額			千円		112	170	168			
		特定・その他財源()	千円								
	一般財源		千円		112	170	168				
5年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			需用費	69							
			負担金	99							

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	定例表彰式の実施は、教育、学術、文化、スポーツに対する意欲の向上に大きく貢献しており、ニーズは高い。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	教育、学術、文化、スポーツの振興を目的としており、公共性・公平性が求められることから、市が主体となる必要があり、関与は妥当である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	本市の教育、学術、文化、スポーツの振興に貢献している。また、教育委員の研修等を実施することにより、資質・能力の向上が図られている。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	教育委員会の定例表彰式と八街市定例表彰式を合同で行うことで、効率性を高めている。また、教育委員の研修等は、県や印旛郡市の協議会が主催することから、周辺市町との交流も深めることができる。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	必要な経費を公費負担することは問題ない。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	市教育行政の方向性を共有するための基礎となることであり、今後も継続していきたい。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	6年度における取組のPRと方向性	・多面的な情報収集に気を配っていきたい。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		・スポーツ大会等が多様化しており、定例表彰候補者の選定に苦慮しているが、公平な審査基準を保持できるよう努めたい。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		教育委員会事務局諸費						所管課等	部 局	教育部	
									課等・班	教育総務課・総務係	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1442	内線 2353
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp	
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 八街市一般職の臨時職員等の任用等に関する規則		
直接の対象者 (~に対して)	教育委員会事務局						最終的な受益者	市民			
事業目的 (~という状態にするために)	・教育委員会が実施する施策等を円滑かつ効率的に行うために、その庶務的な事務を行う。										
具体的な事業内容 (~を行う)	・教育委員会事務局の代表である教育長に係る経費(旅費・交際費・負担金等)の支出とする。 ・教育委員会事務事業の点検及び評価を実施する。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)				
	事業の実績	1	教育長交際費	件	3	5	6	12			
		2									
		3									
	事業の効果										
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・教育長交際費の適正な支出を行えた。 ・教育委員会の主管課として、事務事業のとりまとめ役を果たしている。									
④ 事業コスト	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	710	617	777	697				
	決算額			千円	587	518	642				
		特定・その他財源()		千円							
	一般財源		千円	587	518	642					
5年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			報償費	8	需用費	367	公課費	12			
			旅費	0	役務費	35					
			交際費	86	負担金補助及び交付金	135					

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	教育に対する関心・注目が高まっている中、各種要望等に対応しなければならない。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	教育施策を実現するため、教育委員会事務局内の事務の円滑化を図ることが重要である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	事務の円滑化が図られることにより、教育施策の早期実現が可能となる。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	毎年度ごとに事務事業の評価・点検を実施することにより、常に見直しを行っている。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	施策が実現されることにより、効果が広く市民に還元される。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	多種・多様なニーズに対し、現状の限られた予算・人員でいかに迅速かつ的確に対応していくかが課題となってくる。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	6年度における取組のPRと方向性	令和元年度に見直しをした教育振興基本計画に基づき事業を円滑に取り組んでいく。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		教育振興基本計画をベースとした教育施策に基づき、教育委員会事務局内の事務を円滑に進められるよう努める。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		小学校施設整備事業費						部 局		教育部	
① 事務事業の概要 当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015 実施方法 直接の対象者(〜に対して) 事業目的(〜という状態にするために) 具体的な事業内容(〜を行う)		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱		五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
		具体的施策		学校教育の充実							
		実施計画		開始	2020	終了	2024	主な計画事業		学校施設の整備	
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠		公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針	
直接の対象者(〜に対して)		小学校						最終的な受益者		小学生・教職員	
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果											
		区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)			
事業の実績		1	工事請負契約数	件	29	20	22	11			
		2	委託件数	件	2	2	1	1			
事業の効果		1	施設設備の改修工事の実施	千円	67,753	63,379	61,267	29,264			
		2	委託の実施	千円	2,079	2,706	2,867	1,507			
事業効果に関する外部要因		・施設設備の老朽化に伴い実施しなければならない改修箇所が増加により、適正な環境保全の要望が増加している。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)		・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから改修、整備を行い良好な学校環境の整備に務めた。 ・限りある予算の中で、施設の維持管理工事を発注した。 ・令和5年度の主な工事として、二州小学校沖分校合併処理浄化槽更新工事、八街北小学校受水槽交換工事、八街東小学校屋内運動場スロープ設置工事、等を実施した。									
④ 事業コスト											
		区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)			
(最終)予算額				千円	75,288	68,377	66,089	30,771			
決算額				千円	69,832	42,776	64,881				
		特定・その他財源()		千円	43,177	25,289	37,743				
		一般財源		千円	26,655	17,487	27,138				
5年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		委託料		2,867							
		工事請負費		61,267							
		手数料		747							

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の老朽化に伴い、学校からの改修要望が多くなっており、施設の適切な改修工事のうえ維持管理をする必要がある。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市立小学校であり、市が行う事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	必要不可欠な改修工事等において、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施しており、要望に対応することができた。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に努めており、改善の余地は無い。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、公平性は確保されている。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学校施設の適正な維持管理を恒久的に続けていくなかで、施設の老朽化により修繕要望は増えているが、緊急性に配慮しつつ適切な改修工事により維持管理がされている。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	6年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> 施設維持管理工事(6,000千円)は、緊急性・危険性・必要性を考慮して実施していく。 枠外要求の八街東小学校受水槽等更新工事設計業務、小学校消防用設備改修工事、八街東小学校中棟北棟屋上防水改修工事は、適時適切な工事を実施する。 				
	事務事業の今後の方向性	<p style="text-align: center;">取り組み方向</p> <p> <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 </p> <ul style="list-style-type: none"> 施設設備の老朽化が進んでいることから、計画的な改修を実施するとともに、大規模な改修工事も検討し、学習環境の整備を図る必要がある。 				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		小学校施設整備事業費(明許繰越分)						部 局		教育部	
① 事務事業の概要		当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					
		施策の大綱		五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
		具体的施策		学校教育の充実							
		実施計画		開始	2020	終了	2024	主な計画事業		学校施設の整備	
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠		公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
直接の対象者(～に対して)		小学校				最終的な受益者		小学生・教職員			
事業目的(～という状態にするために)		・施設、設備等の改修工事を行い、良好な学校生活を過ごせるようにする。									
具体的な事業内容(～を行う)		・学校施設の改修、設備の交換等を行う。 ・実住小学校給食用エレベーターの改修工事を行う。 (この工事は、給食の提供が無い、令和4年度の夏休みに施工予定でしたが、コロナウイルス感染症やロシアのウクライナ侵攻等、世界情勢悪化に伴う電子機器部品の供給不足による部品納期遅延が発生したことにより、工事を春休みに変更したため、令和5年度に繰越となった。)									
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果		区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)			
		事業の実績		1	工事請負契約数	件			1		
				2	委託件数	件			0		
		事業の効果		1	施設設備の改修工事の実施	千円			2,331		
				2	委託の実施	千円			0		
		事業効果に関する外部要因		・施設設備の老朽化に伴い実施しなければならない改修箇所が増加により、適正な環境保全の要望が増加している。							
		事業効果の総合分析(達成できたこと)		・実住小学校給食用エレベーターの改修工事を行い良好な学校環境の整備に務めた。							
④ 事業コスト		区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)			
		(最終)予算額		千円			24,640				
		決算額		千円			23,310				
				特定・その他財源()	千円			17,400			
		5年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		工事請負費		23,310					

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の老朽化に伴い、学校からの改修要望が多くなっており、施設の適切な改修工事のうえ維持管理をする必要がある。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	市立小学校であり、市が行う事業である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	必要不可欠な改修工事等において、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施しており、要望に対応することができた。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に努めており、改善の余地は無い。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、公平性は確保されている。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学校施設の適正な維持管理を恒久的に続けていくなかで、施設の老朽化により修繕要望は増えているが、緊急性に配慮しつつ適切な改修工事により維持管理がされている。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	6年度における取組のPRと方向性								
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		・施設設備の老朽化が進んでいることから、計画的な改修を実施するとともに、大規模な改修工事も検討し、学習環境の整備を図る必要がある。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		小学校管理諸費						所 管 課 等	部 局	教育部	
									課等・班	教育総務課・総務係	
									電話番号	443-1442	内線 2353
									E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp	
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (学校配当)						実施根拠	八街市小学校設置条例		
直接の対象者(〜に対して)	全市立小学校児童						最終的な受益者	市民			
事業目的(〜という状態にするために)	・小学校運営に必要な需用費等の経費管理を行う。										
具体的な事業内容(〜を行う)	・小学校事務用消耗品・光熱水費・通信運搬費等の管理、支払い等に関する事務を行う。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実 績 ・ 成 果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)				
	事業の実績	1	需用費(消耗品費)9校分	千円	10,256	10,353	10,875	10,950			
		2	需用費(光熱水費)9校分	千円	41,367	58,264	65,145	66,306			
		3	役務費(通信運搬費)9校分	千円	3,353	3,602	3,657	3,580			
	事業の効果										
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析(達成できたこと)		・施設・設備等の維持管理を含め、円滑な学校運営に寄与した。									
④ 事 業 コ ス ト	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)				
	(最終)予算額		千円		65,501	95,085	90,923	88,747			
	決算額			千円		61,733	79,459	86,915			
		特定・その他財源()	千円								
	一般財源	千円			61,733	79,459	86,915				
5年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		旅費	219	使用料及び賃借料	2,601						
		需用費	78,941	原材料費	96						
		役務費	4,691	補償補填及び賠償金	366						

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	教育に対する関心の高まりもあり、学校運営を行ううえで必要な施設・設備等の経費である。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	学校運営に必要な不可欠な需用費・公共料金等を確保しなければならない。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	必要な経費を確保することにより、学校生活を安定させることができた。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	学校現場において、経費の節減に努めるように依頼をし、実施してもらっている。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	義務教育を受けるもの全てが対象である。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の老朽化に伴い、需用費等の必要な経費が増加する傾向にある。また、電気料金・燃料費等の価格の変動に伴い必要額を把握することが難しい。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	6年度における取組のPRと方向性	・学校を運営するうえで、必要な経費のみを計上し、更なる経費の節減に努める。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		・学校を円滑に運営できるよう、必要な経費の確保に努める。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		小学校施設維持管理費						所 管 課 等	部 局	教育部		
									課等・係	教育総務課・施設係		
									電話番号	443-1442	内線	2353
									E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた									
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街									
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校施設の整備				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
	直接の対象者(〜に対して)	小学校						最終的な受益者	小学生・教職員			
事業目的(〜という状態にするために)	・施設、設備等の維持管理を適正に行い、良好な学校生活を過ごせるようにする。											
具体的な事業内容(〜を行う)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の修繕、樹木の伐採、簡易専用水道管理状況検査、浄化槽法定検査等の実施 ・校舎警備、浄化槽維持管理、貯水槽維持管理、電気工作物保守点検、給食用エレベーター・リフトの保守点検、消防設備保守点検、プール循環浄化濾過装置保守点検、樹木害虫駆除業務等の業務委託、特殊建築物定期調査業務委託、消火器、AEDの貸借を行う。 ・学校管理用消耗品及び備品の購入 											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③実績・成果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
	事業の実績	1	学校施設の保守管理業務委託契約数	件	31	36	31	30				
		2	学校施設の修繕契約数	件	85	92	90	80				
		3	各種検査、調査等の契約数	件	3	4	2	2				
		4	学校管理用備品(消耗品を含む)購入契約数	件	12	15	15	15				
	事業の効果	1	業務委託による適正な維持管理の実施	千円	25,665	23,728	24,679	29,174				
		2	修繕等による施設設備の適切な機能の維持確保	千円	5,911	5,399	5,400	5,400				
		3	各種検査、調査等の実施	千円	457	1,743	134	165				
		4	管理用備品(消耗品を含む)の購入	千円	4,027	6,178	8,703	5,548				
	事業効果に関する外部要因	・施設設備の老朽化に伴う修繕等の増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。										
事業効果の総合分析(達成できたこと)	<ul style="list-style-type: none"> ・各種保守点検や維持管理業務委託を行い、危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから修繕を行い安全安心な環境整備に努めた。 ・物品についても学校の要望調査を行い、耐用年数・老朽度を考慮し、必要なものを購入した。 											
④事業コスト	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	34,166	45,733	42,244	47,761					
	決算額		千円	34,117	36,060	39,593						
		特定・その他財源()	千円			1,409						
		一般財源	千円	34,117	36,060	38,184						
5年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			需用費	5,908	使用料及び賃借料	7,117						
			役務費	134	備品購入費	8,482						
			委託料	17,562	原材料費	390						

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の経年劣化により、学校からの要望は多く、学校施設の適正な維持管理のため必要である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市立小学校であり、市が実施する事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な修繕、定期的な部品の交換・補修などにおいて、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施し、おおむね要望に対応することができた。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	同種の業務などについては、幼・小・中学校で一括して発注し経費の削減を図るとともに、軽易な修繕については小規模工事登録業者へ発注し、地元業者育成にも配慮しつつ効率的な執行を図るようにしている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、公平性は確保されている。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の経年による修繕等必要な箇所は増えているが、緊急性を考慮し適正な維持管理が実施されている。		A
外部評価						
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A
					評価者 2	A
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	6年度における取組のPRと方向性	・技術の進歩にあわせ、ランニングコストを削減できる新製品の導入などを検討し、経費の節減を図る。 （例：故障した照明器具をLEDなどの省エネ型に交換する。） ・小学校のトイレが老朽化しているため、トイレ洗浄殺菌装置等を賃貸借し、衛生面及び環境面の向上を図る。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	・児童の安全安心な学校生活を確保するため、学校施設の定期的な保守点検、修繕、機器の交換等は必要不可欠であり、限られた予算の中で、効率的で先進的な維持管理を図ってまいりたい。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		小学校施設改修事業費						所管課等	部 局	教育部		
									課等・係	教育総務課・施設係		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1442	内線	2353
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校施設の整備				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
	直接の対象者 (～に対して)	小学校						最終的な受益者	小学生・教職員			
事業目的 (～という状態にするために)	・老朽化した学校施設・設備について計画的な改修を行い、生徒の安全確保および学校生活環境の向上を図る。											
具体的な事業内容 (～を行う)	・学校施設環境改善交付金を活用して公立学校施設整備を行う。											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
	事業の実績	1	工事請負契約数	件								
		2	業務委託契約数	件		1	1	1				
	事業の効果	1	施設設備の改修工事の実施	千円								
		2	設計及び監理業務の実施	千円		1,936	3,850	1,584				
		3	工事に伴う消耗品	千円								
事業効果に関する外部要因												
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・令和6年度工事施工に向け朝陽小学校旧校舎トイレ改修工事実施設計を行った。										
④ 事業コスト	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
	(最終)予算額		千円			53,548	122,640	1,584				
	決算額			千円		1,936	3,850					
		特定・その他財源()	千円		1,400	2,800						
	一般財源	千円		536	1,050							
5年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			需用費	0								
			委託料	3,850								
			工事請負費	0								

Check 事務事業の評価							
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	・施設の老朽化に伴い、生徒の良好な生活環境を確保するため、早急に改修を実施する必要がある。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	・市立小学校であり、市が行う事業である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	・小学校校舎のトイレ改修工事は、施設の長寿命化と学校生活環境の向上につながる。		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に努めており、改善の余地は無い。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市立小学校の校舎トイレを改修するためもので公平である。		A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	・施設の老朽化について早急に改修し、生徒の良好な生活環境を確保しなければならない。		A	
外部評価							
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A		
				評価者 2	A		
Action 今後の事務事業の方向							
⑥	6年度における取組のPRと方向性	・令和7年度工事に向けて、交進小学校照明等LED化工事設計業務を行う。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	・トイレ改修工事は、児童の良好な生活環境を確保するため重要である。 ・照明器具のLED化は、消費電力の削減による電気代の節約、CO2排出抑制、施設の長寿命化、電球交換の頻度が減ることによる職員の負担軽減などにつながる重要施策である。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名		小学校施設改修事業費(明許繰越分)						部 局		教育部			
当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015 ①事務事業の概要		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・係		教育総務課・施設係	
		施策の大綱		五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						電話番号		443-1442 内線 2353	
		具体的施策		学校教育の充実						E-mail		kvousou@city.yachimata.lg.jp	
		実施計画		開始	2020	終了	2024	主な計画事業		学校施設の整備			
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠		公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
直接の対象者(〜に対して)		小学校						最終的な受益者		小学生・教職員			
事業目的(〜という状態にするために)		・老朽化した学校施設・設備について計画的な改修を行い、生徒の安全確保および学校生活環境の向上を図る。											
具体的な事業内容(〜を行う)		・学校施設環境改善交付金を活用して公立学校施設整備を行う。 二州小学校沖分校屋内運動場非構造部材耐震改修工事を行う。 (令和4年度補正予算で交付決定を受けた国庫補助事業の工事が令和5年度に繰越となった。)											
②		市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目									
Do 事務事業の実施													
③実績・成果		区分			単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)				
		事業の実績		1	工事請負契約数	件	0	1	1	0			
				2	業務委託契約数	件	0	2	0	0			
		事業の効果		1	施設設備の改修工事の実施	千円	0	122,047	33,416	0			
2	設計及び監理業務の実施			千円	0	8,316	0	0					
3	工事に伴う消耗品			千円	0	0	0	0					
事業効果に関する外部要因													
事業効果の総合分析(達成できたこと)		・二州小学校沖分校屋内運動場非構造部材耐震改修工事を行い、体育館の安全安心な学習環境が整った。											
④事業コスト		区分			単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)				
		(最終)予算額			千円			147,551	51,546	0			
		決算額					千円		130,363	33,416			
				特定・その他財源()			千円		125,968	29,923			
一般財源			千円			4,395	3,493						
5年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)				需用費	0								
				委託料	0								
				工事請負費	33,416								

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	・避難所でもある体育館の天井等の非構造部材について、早期に耐震化を完了必要性がある。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市立小学校であり、市が行う事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	・非構造部材の耐震改修工事を実施することにより、生徒の安全が確保できる。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に努めており、改善の余地は無い。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市立小学校体育館を改修するもので公平である。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	・避難所でもある体育館の天井等の非構造部材について、早期に耐震化を完了し、安全を確保しなければならない。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	6年度における取組のPRと方向性	・八街北小学校照明等LED化工事を行う。(令和5年度繰越→令和6年度)				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 ・体育館の非構造部材耐震改修工事は、生徒の安全確保と避難所という観点から早急に実施することが重要である。 ・照明器具のLED化は、消費電力の削減による電気代の節約、CO2排出抑制、施設の長寿命化、電球交換の頻度が減ることによる職員の負担軽減などにつながる重要施策である。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		中学校施設整備事業費						部 局		教育部	
① 事務事業の概要 当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015 実施方法 直接の対象者(〜に対して) 事業目的(〜という状態にするために) 具体的な事業内容(〜を行う)		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱		五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
		具体的施策		学校教育の充実							
		実施計画		開始	2020	終了	2024	主な計画事業		学校施設の整備	
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠		公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針	
直接の対象者(〜に対して)		中学校						最終的な受益者		中学生・教職員	
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果											
事業の実績		区分	単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)				
		1	工事請負契約数	件	20	14	11	14			
事業の効果		1	施設設備の改修工事の実施	千円	21,468	15,535	28,022	42,400			
事業効果に関する外部要因		・施設設備の老朽化に伴い実施しなければならない改修箇所が増加により、適正な環境保全の要望が増加している。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)		・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから改修、整備を行い良好な学校環境の整備に務めた。 ・限りある予算の中で、施設の維持管理工事を発注した。 ・R5の主な工事として、八街中学校受水槽交換工事、八街中学校階段棟改修工事を実施した。									
④ 事業コスト											
		区分	単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)				
(最終)予算額			千円		20,489	17,197	28,022	42,400			
決算額			千円		21,468	15,535	28,022				
		特定・その他財源()	千円		10,100	2,300	15,800				
		一般財源	千円		11,368	13,235	12,222				
5年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		工事請負費 28,022									

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の老朽化に伴い、学校からの改修要望が多くなっており、施設の適切な改修工事のうえ維持管理をする必要がある。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市立中学校であり、市が行う事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	必要不可欠な改修工事等において、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施しており、要望に対応することができた。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に努めており、改善の余地は無い。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、公平性は確保されている。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学校施設の適正な維持管理を恒久的に続けていくなかで、施設の老朽化により修繕要望は増えているが、緊急性に配慮しつつ適切な改修工事により維持管理がされている。		A
外部評価						
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A
					評価者 2	A
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	6年度における取組のPRと方向性	・施設維持管理工事(4,000千円)は、緊急性・危険性・必要性を考慮して実施していく。 ・枠外要求の八街中学校テニスコート補修工事、八街中央中学校土留擁壁改修工事、八街南中学校体育館屋根防水工事、八街北中学校体育館玄関ホール屋上防水工事、中学校消防用設備改修工事は、適時適切な工事を実施していく。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	・施設設備の老朽化が進んでいることから、計画的な改修を実施するとともに、大規模な改修工事も検討し、学習環境の整備を図る必要がある。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		中学校施設整備事業費(明許繰越分)						部 局		教育部	
① 事務事業の概要		当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					
		施策の大綱		五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
		具体的な施策		学校教育の充実							
		実施計画		開始	2020	終了	2024	主な計画事業		学校施設の整備	
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠		公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
直接の対象者(～に対して)		中学校				最終的な受益者		中学生・教職員			
事業目的(～という状態にするために)		・施設設備等の改修工事を行い、良好な学校生活を過ごせるようにする。									
具体的な事業内容(～を行う)		・学校施設の改修、設備の交換等を行う。 ・八街南中学校自動火災報知設備交換工事を行う。 (令和5年3月に八街南中学校自動火災報知設備の故障が判明し、年度をまたいで緊急工事を行うために令和5年度に繰越となった工事。)									
②		市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目							
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果											
		区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)			
事業の実績		1	工事請負契約数	件			1				
事業の効果		1	施設設備の改修工事の実施	千円			1,166				
事業効果に関する外部要因		・施設設備の老朽化に伴い実施しなければならない改修箇所が増加により、適正な環境保全の要望が増加している。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)		・八街南中学校自動火災報知設備交換工事を行い良好な学校環境の整備に務めた。									
④ 事業コスト											
		区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)			
(最終)予算額				千円			1,166				
決算額				千円			1,166				
		特定・その他財源()		千円			0				
		一般財源		千円			1,166				
5年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)				工事請負費	1,166						

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の老朽化に伴い、学校からの改修要望が多くなっており、施設の適切な改修工事のうえ維持管理をする必要がある。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	市立中学校であり、市が行う事業である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	必要不可欠な改修工事等において、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施しており、要望に対応することができた。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に努めており、改善の余地は無い。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、公平性は確保されている。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学校施設の適正な維持管理を恒久的に続けていくなかで、施設の老朽化により修繕要望は増えているが、緊急性に配慮しつつ適切な改修工事により維持管理がされている。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	6年度における取組のPRと方向性								
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		・施設設備の老朽化が進んでいることから、計画的な改修を実施するとともに、大規模な改修工事も検討し、学習環境の整備を図る必要がある。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		中学校管理諸費						所 管 課 等	部 局	教育部	
									課等・係	教育総務課・総務係	
									電話番号	443-1442	内線 2353
									E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp	
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (学校配当)						実施根拠	八街市中学校設置条例		
直接の対象者(〜に対して)	全市立中学校生徒						最終的な受益者	市民			
事業目的(〜という状態にするために)	・中学校運営に必要な需用費等の経費管理を行う。										
具体的な事業内容(〜を行う)	・中学校事務用消耗品・光熱水費・通信運搬費等の管理、支払い等に関する事務を行う。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実 績 ・ 成 果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)				
	事業の実績	1	需用費(消耗品費)4校分	千円	7,278	7,469	7,689	7,749			
		2	需用費(光熱水費)4校分	千円	26,490	40,019	43,184	4,708			
		3	役務費(通信運搬費)4校分	千円	1,630	1,988	2,005	1,987			
	事業の効果										
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析(達成できたこと)		・施設・設備等の維持管理を含め、円滑な学校運営に寄与した。									
④ 事 業 コ ス ト	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)				
	(最終)予算額		千円		44,761	60,726	59,934	60,016			
	決算額			千円		40,468	54,705	58,016			
		特定・その他財源()	千円		763	0	0				
	一般財源		千円		39,705	54,705	58,016				
5年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			旅費	36	使用料及び賃借料	1,690					
			需用費	53,457	原材料費	119					
			役務費	2,714							

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	教育に対する関心の高まりもあり、学校運営を行ううえで必要な施設・設備等の経費である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	学校運営に必要な不可欠な需用費・公共料金等を確保しなければならないため。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	必要な経費を確保することにより、学校生活を安定させることができた。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	学校現場において、経費の節減に努めるように依頼をし、実施してもらっている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	義務教育を受けるもの全てが対象である。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の老朽化に伴い、需用費等の必要な経費が増加する傾向にある。また、電気料金・燃料費等の価格の変動に伴い必要額を把握することが難しい。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	6年度における取組のPRと方向性	・学校を運営するうえで、必要な経費のみを計上し、更なる経費の節減に努める。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了			・学校を円滑に運営できるよう、必要な経費の確保に努める。	

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		中学校施設維持管理費						所管課等	部 局	教育部		
									課等・係	教育総務課・施設係		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1442	内線	2353
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校施設の整備				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
	直接の対象者 (～に対して)	中学校						最終的な受益者	中学生・教職員			
事業目的 (～という状態にするために)	・施設、設備等の維持管理を適正に行い、良好な学校生活を過ごせるようにする。											
具体的な事業内容 (～を行う)	・学校施設の修繕、樹木の伐採、簡易専用水道管理状況検査、浄化槽法定検査等の実施 ・校舎警備、浄化槽維持管理、貯水槽維持管理、電気工作物保守点検、給食用エレベーター・リフトの保守点検、消防設備保守点検、プール循環浄化濾過装置保守点検、樹木害虫駆除業務等の業務委託、特殊建築物定期調査業務委託、消火器、AEDの貸借を行う。 ・学校管理用消耗品及び備品の購入											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	事業の実績	区分	単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
		1	学校施設の保守管理業務委託契約数	件	20	25	21	20				
		2	学校施設の修繕契約数	件	71	48	61	60				
		3	各種検査、調査等の契約数	件	2	3	2	2				
	事業の効果	1	業務委託による適正な維持管理の実施	千円	9,998	9,897	9,833	12,451				
		2	修繕等による施設設備の適切な機能の維持確保	千円	4,445	3,176	4,730	4,500				
3		各種検査、調査等の実施	千円	62	63	65	63					
4		管理用備品(消耗品・原材料を含む)の購入	千円	2,003	4,618	9,080	5,248					
事業効果に関する外部要因	・施設設備の老朽化に伴う修繕等の増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	・各種保守点検や維持管理業務委託を行い、危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから修繕を行い安全安心な環境整備に努めた。 ・物品についても学校の要望調査を行い、耐用年数・老朽度を考慮し、必要なものを購入した。											
④ 事業コスト	区分	単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)						
	(最終)予算額	千円	21,883	18,066	24,287	22,689						
	決算額	千円	16,508	17,754	23,998							
		特定・その他財源()	千円			1,408						
	一般財源	千円	16,508	17,754	22,590							
5年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)	需用費	4,920	使用料及び賃借料	334								
	役務費	65	備品購入費	8,985								
	委託料	9,499	原材料費	195								

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の経年劣化により、学校からの要望は多く、学校施設の適正な維持管理のため必要である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市立中学校であり、市が行う事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な修繕、定期的な部品の交換・補修などにおいて、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施し、おおむね要望に対応することができた。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	同種の業務などについては、幼・小・中学校で一括して発注し経費を削減を図るとともに、軽易な修繕については小規模工事登録業者へ発注し、地元業者育成にも配慮しつつ効率的な執行を図るようにしている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、公平性は確保されている。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の経年による修繕等必要な箇所は増えているが、緊急性を考慮し適正な維持管理が実施されている。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない		評価者 1	A	
		B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない		評価者 2	A	
		C 検討の余地あり				
		D 検討の余地は大きい				
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	6年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> 技術の進歩にあわせ、ランニングコストを削減できる新製品の導入などを行い、経費の節減を図る。 (例:照明器具をLEDなどの省エネ型に交換する。改修工事の際に全面的な更新をするなど。) 八街中学校のトイレ改修完了に伴い、トイレ洗浄殺菌装置等を賃貸借し、配水管の尿石付着予防等施設の長寿命化を図る。 				
	事務事業の今後の方向性	<p style="text-align: center;">取り組み方向</p> <p> <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 </p> <p>・生徒の安全安心な学校生活を確保するため、学校施設の定期的な保守点検、修繕、機器の交換等は必要不可欠であり、限られた予算の中で、効率的で先進的な維持管理を図ってまいりたい。</p>				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		中学校施設改修事業費						部 局		教育部	
① 事務事業の概要		当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					
		施策の大綱		五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
		具体的な施策		学校教育の充実							
		実施計画		開始	2020	終了	2024	主な計画事業		学校施設の整備	
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠		公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針		
直接の対象者(～に対して)		中学校					最終的な受益者		中学生・教職員		
事業目的(～という状態にするために)		・老朽化した学校施設・設備について計画的な改修を行い、生徒の安全確保および学校生活環境の向上を図る。									
具体的な事業内容(～を行う)		・学校施設環境改善交付金を活用して公立学校施設整備を行う。 八街中央学校の体育館における長寿命化改良工事設計業務を行う。									
②		市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目							
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果		区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)			
		事業の実績		1	工事請負契約数	件	0	0	0	0	
				2	業務委託契約数	件	1	2	1	2	
		事業の効果		1	施設設備の改修工事の実施	千円	0	0	0	0	
2	設計及び監理業務の実施			千円	1,602	13,090	20,427	8,433			
3	工事に伴う消耗品			千円	0	0	0	0			
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析(達成できたこと)		・令和6年度工事施工に向け、八街中央中学校の体育館長寿命化改良工事実施設計を行った。									
④ 事業コスト		区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)			
		(最終)予算額		千円		2,701	215,050	98,844	8,433		
		決算額		千円		1,942	13,090	20,427			
				特定・その他財源()	千円		1,400	7,100	20,400		
		一般財源	千円		542	5,990	27				
5年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費		0							
		委託料		20,427							
		工事請負費		0							

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の老朽化に伴い、生徒の安全と良好な生活環境を確保するため、早急に改修を実施する必要がある。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	市立中学校であり、市が行う事業である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	・中央中学校体育館の長寿命化改良工事は、施設の長寿命化と生徒の安全が確保できる。		B			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に努めており、改善の余地は無い。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市立中学校の体育館を改修するためのもので公平である。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	・施設の長寿命化対策及び非構造部材耐震改修は、早急に行い生徒の安全を確保しなければならない。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	6年度における取組のPRと方向性	・令和7年度施工に向けて、八街南中学校校舎のトイレ改修工事設計業務を行う。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		・中学校体育館の長寿命化改良工事は、生徒の安全確保と避難所という観点から早急に実施することが重要である。 ・中学校校舎のトイレ改修工事は、施設の長寿命化と学校生活環境の向上につながる重要施策である。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		中学校施設改修事業費(明許繰越分)					所管課等	部 局		教育部		
								課等・係		教育総務課・施設係		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					電話番号	443-1442		内線	2353
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街					E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp			
		具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校施設の整備				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針				
	直接の対象者(〜に対して)	中学校					最終的な受益者	中学生・教職員				
	事業目的(〜という状態にするために)	・老朽化した学校施設・設備について計画的な改修を行い、生徒の安全確保および学校生活環境の向上を図る。										
具体的な事業内容(〜を行う)	・学校施設環境改善交付金を活用して公立学校施設整備を行う。 八街中学校トイレ改修工事及び工事監理業務を行う。 (令和4年度補正予算で交付決定を受けた国庫補助事業の工事が令和5年度に繰越となった。)											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
	事業の実績	1	工事請負契約数	件			1					
		2	業務委託契約数	件			1					
	事業の効果	1	施設設備の改修工事の実施	千円			118,107					
		2	設計及び監理業務の実施	千円			4,168					
		3	工事に伴う消耗品	千円			0					
	事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析(達成できたこと)		・八街中学校校舎のトイレ改修工事を行い、衛生的で快適なトイレ環境が整った。										
④ 事業コスト	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
	(最終)予算額		千円			168,126						
	決算額			千円			122,275					
		特定・その他財源()	千円			97,333						
	一般財源		千円			24,942						
5年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			需用費									
			委託料	4,168								
			工事請負費	118,107								

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	・施設の老朽化に伴い、生徒の良好な生活環境を確保するため、早急に改修を実施する必要がある。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	・市立中学校であり、市が行う事業である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	・中学校校舎のトイレ改修工事は、施設の長寿命化と学校生活環境の向上につながる。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に努めており、改善の余地は無い。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市立中学校の校舎トイレを改修するためもので公平である。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	・施設の老朽化について早急に改修し、生徒の良好な生活環境を確保しなければならない。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	6年度における取組のPRと方向性								
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		・中学校校舎のトイレ改修工事は、施設の長寿命化と学校生活環境の向上につながる重要施策である。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		幼稚園施設整備事業費						部 局		教育部		
								課等・係		教育総務課・施設係		
								電話番号		443-1442 内線 2353		
								E-mail		kvousou@city.yachimata.lg.jp		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた									
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街									
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	幼児教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業		幼稚園教育の充実			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
	直接の対象者(～に対して)	幼稚園						最終的な受益者	幼稚園児・教職員			
事業目的(～という状態にするために)	・施設、設備等の改修工事を行い、良好な幼稚園生活を過ごせるようにする。											
具体的な事業内容(～を行う)	・幼稚園施設の改修工事等を行う。											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
	事業の実績	1	工事請負契約数	件	3	2	5	4				
		2										
	事業の効果	1	施設設備の改修工事の実施	千円	4,204	1,806	9,985	800				
		2										
	事業効果に関する外部要因	・施設設備の老朽化に伴い実施しなければならない改修箇所が増加により、適正な環境保全の要望が増加している。										
事業効果の総合分析(達成できたこと)	・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから改修、整備を行い良好な園環境の整備に務めた。 ・限りある予算の中で、施設の維持管理工事を発注した。 ・R5の主な工事として、八街第一幼稚園フェンス改修工事、築山撤去工事、雲底設置工事、複合遊具設置工事を実施した。											
④ 事業コスト	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
	(最終)予算額		千円		534	4,204	10,890	800				
	決算額			千円		533	4,204	10,282				
		特定・その他財源()	千円			2,899	7,975					
	一般財源		千円		533	1,305	2,307					
5年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			工事請負費 10,282									

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の老朽化に伴い、幼稚園からの改修要望が多くなっており、施設の適切な改修工事のうえ維持管理をする必要がある。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市立幼稚園であり、市が行う事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	必要不可欠な改修工事などにおいて、優先度の高い改修工事に対応することができた。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に努めており、改善の余地はない。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	幼稚園施設の適正な維持管理を恒久的に続けていかなければならない。施設の老朽化により修繕要望は増えているが、緊急性に配慮しつつおおむね適切な改修工事により維持管理がされている。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	6年度における取組のPRと方向性	・幼稚園施設維持管理工事を適時適切に実施していく。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	・施設設備の老朽化が進んでいることから、計画的な改修を実施するとともに大規模な改修工事も検討し、幼稚園環境の整備を図る必要がある。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名		幼稚園諸費						所管課等	部 局	教育部
① 事務事業の概要		当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
		(八街市総合計画) 2015	具体的施策	幼児教育の充実						
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	幼稚園教育の充実		
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (幼稚園配当)						実施根拠	八街市幼稚園設置条例	
直接の対象者(〜に対して)		全市立幼稚園園児						最終的な受益者	市民	
事業目的(〜という状態にするために)		・幼稚園運営に必要な需用費等の経費管理を行う。								
具体的な事業内容(〜を行う)		・幼稚園事務用消耗品・光熱水費・通信運搬費等の管理、支払い等に関する事務を行う。								
②		市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目							
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)			
	事業の実績	1	需用費(消耗品費)3園分	千円	1,081	1,092	975	773		
		2	需用費(光熱水費)3園分	千円	4,139	4,551	4,050	4,168		
		3	役務費(通信運搬費)3園分	千円	549	558	545	558		
	事業の効果									
事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析(達成できたこと)		・施設・設備等の維持管理を含め、円滑な幼稚園運営に寄与した。								
④ 事業コスト	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)			
	(最終)予算額		千円		6,889	8,321	8,515	6,329		
	決算額		千円		6,705	7,154	6,542			
		特定・その他財源()	千円			0	0			
		一般財源	千円		6,705	7,154	6,542			
5年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報償費	48	役務費	641	負担金補助金及び交付金	54			
		旅費	133	使用料及び賃借料	170					
		需用費	5,462	原材料費	35					

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	教育に対する関心の高まりもあり、幼稚園運営をするうえで必要な施設・設備等の経費である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	幼稚園運営に必要な不可欠な需用費・公共料金等を確保しなければならないため。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	必要な経費を確保することにより、幼稚園生活を安定させることができた。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	幼稚園現場において、経費の節減に努めるように依頼をし、実施してもらっている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	幼稚園教育を受けるもの全てが対象である。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の老朽化に伴い、需用費等の必要な経費が増加する傾向にある。また、電気料金・燃料費等の価格の変動に伴い必要額を把握することが難しい。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	6年度における取組のPRと方向性	・幼稚園を運営するうえで、必要な経費のみを計上し、更なる経費の節減に努める。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 ・幼稚園を円滑に運営できるよう、必要な経費の確保に努める。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を問ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		幼稚園施設維持管理費						所 管 課 等	部 局	教育部		
									課等・係	教育総務課・施設係		
									電話番号	443-1442	内線	2353
									E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた									
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街									
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	幼児教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	幼稚園教育の充実				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
	直接の対象者(〜に対して)	幼稚園						最終的な受益者	幼稚園児・教職員			
事業目的(〜という状態にするために)	・施設、設備等の維持管理を適正に行い、良好な幼稚園生活を過ごせるようにする。											
具体的な事業内容(〜を行う)	・施設の修繕、樹木の伐採、浄化槽法定検査等を実施する。 ・園舎警備、浄化槽維持管理、受水槽維持管理、消防設備保守点検、樹木害虫駆除業務、遊具点検業務の委託業務及び送迎用駐車場、消火器、AEDの貸借を行う。 ・幼稚園管理用消耗品及び備品の購入。											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実 績 ・ 成 果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
	事業の実績	1	幼稚園施設の保守管理業務委託契約数	件	14	14	16	10				
		2	幼稚園施設の修繕契約数	件	19	26	17	20				
		3	各種検査、調査等の契約数	件	1	1	1	1				
		4	幼稚園管理用備品(消耗品を含む)購入契約数	件	5	4	4	4				
	事業の効果	1	業務委託による適正な維持管理の実施	千円	3,198	3,239	3,998	3,851				
		2	修繕等による施設設備の適切な機能の維持確保	千円	1,186	1,198	991	900				
		3	各種検査、調査等の実施	千円	22	22	22	22				
		4	管理用備品(消耗品を含む)の購入	千円	506	542	640	400				
	事業効果に関する外部要因	・施設設備の老朽化に伴い実施しなければならない改修箇所が増加により、適正な環境保全の要望が増加している。										
事業効果の総合分析(達成できたこと)	・各種保守点検や維持管理業務委託を行い、危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから修繕、整備に努めた。 ・物品についても耐用年数・老朽度を考慮し、必要なものを購入した。											
④ 事 業 コ ス ト	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	5,883	6,042	5,654	5,228					
	決算額		千円	4,912	5,001	5,651						
		特定・その他財源()	千円			0						
		一般財源	千円	4,912	5,001	5,651						
	5年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費	991	使用料及び賃借料	1,203						
		役務費	22	備品購入費	640							
		委託料	2,795									

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	園施設の経年劣化などにより、幼稚園からの要望は多くなっている。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	市立幼稚園であり、市が行う事業である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な修繕、定期的な部品の交換・補修などにおいて、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施し、おおむね要望に対応することができた。		B			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	同種の業務などについては、幼・小・中学校で一括して発注し経費を削減を図るとともに、軽易な修繕については小規模工事登録業者へ発注し、地元業者育成にも配慮しつつ効率的な執行を図るようにしている。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、幼稚園間の調整を行いながら実施しており、公平性は確保されている。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の経年による修繕等必要な箇所は増えているが、緊急性を考慮し適正な維持管理が実施されている。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	6年度における取組のPRと方向性	・技術の進歩にあわせ、ランニングコストを削減できる新製品の導入などを行い、経費の節減を図る。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		・園児の安心安全な園生活を確保するため、施設の定期的な保守点検、修繕、機器の交換等は必要不可欠であり、限られた予算の中で、効率的で先進的な維持管理を図ってまいりたい。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
① 事務事業の概要	事務事業名	教育指導諸費					所管課等	部 局	教育部			
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					課等・班	学校教育課・指導室			
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街					電話番号	443-1446	内線	2365	
		具体的施策	学校教育の充実					E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp			
	実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	教育支援センターの充実					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	学校教育法 八街市一般職の臨時職員等の任用等に関する規則				
	直接の対象者 (〜に対して)	幼稚園・小・中学校教職員					最終的な受益者	市民				
	事業目的 (〜という状態にするために)	充実した学校生活や学習支援を実現し、より開かれた園や学校づくりを推進していくために、カウンセラーを雇用し、相談体制の充実を図るとともに、学校評議員制度を活かした意見聴取や情報交換等を各園、各学校で展開する。										
	具体的な事業内容 (〜を行う)	カウンセラーによるカウンセリングを行う。 カウンセラーの学校への巡回相談(ケース会議参加を含む)を行う。 カウンセラーによる学校職員に対する研修会を行う。 学校評議員会議の開催										
	②	市民意識調査等からの結果分析 その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
	事業の実績	カウンセラーによるカウンセリング		件数	328	556	913	700				
		カウンセラーの学校巡回相談		回	28	27	22	30				
		学校評議員会議の開催		校	12	12	12	12				
	事業の効果											
事業効果に関する外部要因	H25年度からカウンセラーの学校巡回相談やケース会議への参加 R元年度から八街市教育センター「教育相談研修」や八街市小中高生徒指導連絡協議会にて講師として活用											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	カウンセリング件数は年々増加している。また、巡回相談等を通して課題の早期発見に努めると同時に、学校、学校訪問相談員、SSWにつないでいる。また、八街市教育センターや生徒指導担当者向けの教職員研修でカウンセラーが講師を務め、学校職員等に広く周知したことで活用の幅が広がった。相談件数が徐々に増え、課題を抱えている児童・生徒・保護者の状態は好転している。また、令和3年朝陽小児童が巻き込まれた交通事故を受け、緊急対応や継続フォローとして朝陽小学校に派遣し、児童保護者等の心のケアにあたった。											
④ 事業コスト	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	4,519	3,639	2,658	2,736					
	決算額			千円	4,167	3,384	2,386					
		特定・その他財源()	千円	0	0	31						
	一般財源	千円	4,167	3,384	2,355							
5年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			報酬	51	需用費	656	負担金	1,128				
			報償費	292	役務費	53						
			旅費	41	備品購入費	165						

Check 事務事業の評価					
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	各学校からのカウンセリングの問い合わせや電話による教育相談の状況や、学校評議員による学校運営への提言が開かれた学校という安心感を生み、市民からのニーズは高い。	A
		市の関与は妥当ですか	a	カウンセリングについては学校では相談しづらいケースもあり、学校評議員による学校運営への提言は客観性があり、不可欠である。	
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	カウンセリングについては継続した関わりの中で、児童生徒の安定を目指している。また、学校評議員による学校運営への提言によって望ましい変容を生み出している。	B
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	カウンセリングに関しては、即効性があるわけではないが、学校や関係諸機関と支援の方向性を連携することにより、効率を高めるよう努めている。学校評議員による活動は、限られた回数の中で目標が達成できるよう努めている。	B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし 市内の教育相談体制や教育条件、環境の整備の向上に結び付く事業であり、公平性に問題はない。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	学校運営を向上させていくために、幼児児童生徒の個々のニーズに対応するため、さらに効率性に努めていく。	B
外部評価					
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	B
				評価者 2	B
Action 今後の事務事業の方向					
⑥	6年度における取組のPRと方向性	平成28年度からカウンセラーに関する業務は、教育支援センター費へ移行。学校評議員の提言については、学校運営に更に生かしていくように努めていく。令和7年度から開始されるコミュニティスクールの取組に資する提言を行えるよう通達していく。			
	事務事業の今後の方向性	<div style="text-align: center;">取り組み方向</div> <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了			カウンセリングのニーズは、年々高くなっている。各家庭の環境も様々であり、心理的な側面とともに福祉的側面での関わりも必要である。

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を因ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名		外国語指導助手事業費						所管課等	部 局	教育部
① 事務事業の概要		当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					課等・班	学校教育課・指導室
		(八街市総合計画) 2015	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街					電話番号	443-1446 内線 2364
		実施計画	具体的施策	学校教育の充実					E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp
		実施方法	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	英語教育の充実	実施根拠	学校教育法施行規則 学習指導要領
□ 直接実施	■ 業務委託	□ 補助金交付								
□ 負担金	□ その他	()								
直接の対象者 (～に対して)	市内幼稚園・保育園・小学校・中学校の全幼児・園児・児童・生徒が対象						最終的な受益者	市内幼稚園・保育園・小学校・中学校の全幼児・園児・児童・生徒		
事業目的 (～という状態にするために)	八街市の幼児・園児・児童・生徒の国際理解教育の進展、小学校低学年における異文化理解の進展、小学校高学年における小学校外国語活動の推進、中学校における英語の基礎力の確立を図る。									
具体的な事業内容 (～を行う)	市内各小中学校へのALTの派遣 市内各幼稚園、保育園の行事への派遣 市内国際交流イベントへの参画 市内各校の異文化教育のための環境整備									
②	市民意識調査等からの結果分析 その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)			
	事業の実績	小・中学校へのALTの派遣	人	9	9	9	9			
		各幼稚園への派遣	回	3	3	3	3			
		各保育園への派遣	回	0	0	1	1			
	事業の効果	英語に関する興味関心の高まり								
		異文化に対する理解の深まり								
		英語の能力の向上								
事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	ALTの授業を実施することにより、子どもたちの英語の質的な向上やコミュニケーション能力が高まった(各種テストによるスピーキング得点の向上が確認できた)。									
④ 事業コスト	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	44,000	43,956	43,956	46,332			
	決算額		千円	43,956	43,956	43,956				
		特定・その他財源()	千円	0	0	0				
		一般財源	千円	43,956	43,956	43,956				
5年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		役務費	43,956							

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	2017年4月から、小学校3～6年生の英語授業の教科化の流れがスタートし、2020年からは小学校5～6年生が完全に教科化され、市民の英語授業への期待はますます高まっている。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	外国語活動及び英語の授業は学習指導要領にも記載され必修となっている。ALTについて他市町では直接雇用をしているところもあり、市の関与は妥当であると考ええる。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	英語での会話力やコミュニケーション能力が高まっている。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	民間会社への業務委託を行っている。契約金額も妥当である。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	各学校へ均等に派遣できるように配置計画をしているので、受益が偏ることはない。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	外国語活動、特に英語学習への関心は度々高まっている。今後も本事業を継続するとともに、必要に応じて拡充していく必要がある。		A			
外部評価									
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい	評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	6年度における取組のPRと方向性	市内全ての教室にALTを伴う授業が実現できており、トレーニングを受けているALTであるため、教職員との関係も良好。且つ、新しい企画の交流授業や教員研修を行うなどの実践ができていることから、6年度も引き続き、小・中連携事業にALTが入る予定である。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		英語学習への関心は年々高まっている。英語における児童生徒へのきめ細かい指導、会話力・コミュニケーション能力のを向上させていくためには、今後も本事業を継続していく必要がある。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を因ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
① 事務事業の概要	事務事業名	教育支援センター管理運営費						所 管 課 等	部 局	教育部		
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班	学校教育課・指導室		
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						電話番号	443-1446	内線 2365	
		具体的施策	学校教育の充実						E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp		
	実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	教育支援センターの充実					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学校教育法 八街市教育支援センターの設置及び管理に関する条例			
	直接の対象者 (〜に対して)	全児童生徒、全保護者						最終的な受益者	市民			
	事業目的 (〜という状態にするために)	学校に登校できなくなった児童生徒の居場所を作り、心を安定させ学校に復帰させるために教育支援センターを設置し、学習支援や教育相談活動を行う。										
	具体的な事業内容 (〜を行う)	不登校児童生徒の居場所を確保するとともに、学習支援や教育相談等を行うとともに、学校、保護者と連携し児童生徒の成長を支援する。										
	②	市民意識調査等からの結果分析 その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
	事業の実績	教育支援センターナチュラル利用者	人	15	17	16	16					
		カウンセラーによるカウンセリング	件数	328	556	913	700					
		カウンセラーの学校巡回相談	回	28	27	22	30					
	事業の効果	学校復帰児童生徒数	人	5	9	12	8					
事業効果に関する外部要因	平成29年度から中学生は自転車通学可とした。令和4年度からカウンセラーを変更。学校と積極的な連携をとるため、ケース会議等話をする機会を設けた。ナチュラルを利用する目的を面談等で明確化し、保護者・児童生徒と適宜確認した。											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	通所している児童・生徒については、少しずつ通所できる時間が長くなったり、学校へ登校することができた。ナチュラルでの活動も粘り強く取り組めるようになってきた。学校復帰に向けての取り組みの成果は、年度内に学校復帰した人や進路を決定した数に現れている。											
④ 事業コスト	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	1,144	724	825	750					
	決算額		千円	1,069	608	749						
		特定・その他財源()	千円	0	0	0						
		一般財源	千円	1,069	608	749						
5年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		報償費	50	委託料	132							
		需用費	268	備品購入費	98							
		役務費	201									

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	本市の長欠不登校児童生徒の支援については喫緊の課題であり、そのニーズは年々増加している。		A
		市の関与は妥当ですか	a	不登校児童生徒へ支援や未然防止は、将来の引きこもりを防止することとなり、市の財政に寄与するもので、必要である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	学校復帰は増加しており、卒業後の進路も全員が決まる等、効果が得られている。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	すでに臨時職員で対応しており、コストの削減に努めている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	不登校になる原因は多様化している。教育支援センターの維持は、全児童生徒・保護者の権利を確保することとなる。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	八街市における本事業は、必要性与有効性を持っている。コストの削減に努めながらも充実した支援事業に努めていく。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	6年度における取組のPRと方向性	引き続き、家庭訪問担当学校教育相談員及びカウンセラー、電話相談員等市の人材を活用し、各小中学校との連携を密にして、不登校児童生徒の支援に努めていく。特に各小中学校との連携においては管理職や担任との積極的な関わりをより強化していく。幼児・児童・生徒個々のニーズにさらに応えられるようにするため、平成25年度から小学校の巡回相談を行い、より活用を広げるとともに、PRに努める。なお、平成28年度からカウンセラーに関する業務を教育指導諸費より移行。新型コロナウイルス感染対策を行いながら、実習なども行ってゆく。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 学習及び進路指導について、必要と思われる教材・資料及び、施設設備について、コスト削減に努めながらも予算措置を要望し、充実した支援を行っていく。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を因ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		通学路安全対策事業費						部 局		教育部	
①事務事業の概要		当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					
		実施計画		実施の大綱		五の街 めざます！心の豊かさを感じる街					
		実施方法		具体的施策		学校教育の充実					
		実施計画		開始	2021	終了	2024	主な計画事業		交通安全環境の充実	
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠			
直接の対象者(～に対して)		市内小学校児童						最終的な受益者		市内小学校児童	
事業目的(～という状態にするために)		小学校児童の通学時の安全確保等を図るため。									
具体的な事業内容(～を行う)		小学校児童の通学時の安全確保等を図るため、スクールバスを運行するとともに、交通安全教育等の安全対策事業を実施する。									
②		市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目		今回の朝陽小学校の不慮の事故を受け、国からの要請もあり、また、多方面の方々からのご意見があり参考としている。また、成果の検証として対象児童生徒及び保護者にアンケートを実施した結果、約8割以上から安心感につながったとの回答を得ている。					
Do 事務事業の実施											
③実績・成果		区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)			
		事業の実績		1	スクールバス・警備員の運行及び配置日数	日	141	198	193	200	
				2	朝陽小学校通学路危険箇所における安全対策件数	件	7	2	1	3	
				3							
		事業の効果		1	児童の事件・事故発生件数	件	12	16	16	0	
				2	朝陽小学校通学路における危険箇所数	箇所	7	2	2	3	
				3							
		事業効果に関する外部要因		令和3年6月28日に発生した下校途中の児童死傷事故を受け、二度とこのような凄惨な事故が起きないよう児童の通学時における安全対策の徹底が求められている。							
		事業効果の総合分析(達成できたこと)		令和3年6月28日に発生した児童死傷事故を受け、朝陽小学校では児童生徒の心のケアを目的にスクールバスの運行を開始した。これに加えて、二州小学校では、自転車通学をしていた児童を含め、通学時の安全確保を目的にスクールバスの運行を開始した。また、交通安全教育等の安全対策事業を実施することで、交通安全の推進に寄与することができた。							
		④事業コスト		区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)	
(最終)予算額				千円	17,123	22,700	22,369	22,525			
決算額				千円	16,224	22,283	22,097				
				特定・その他財源()	千円	13,501	0	0			
				一般財源	千円	2,723	22,283	22,097			
5年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費	1,240	委託料	1,861	使用料及び賃借料	18,996				

Check 事務事業の評価					
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	以前より、通学路の安全について多数の要望があったが、今回の朝陽小学校の事故を受け、更に要望が増えている。	A
		市の関与は妥当ですか	a	児童の登下校の安全確保は、市が実施すべきことである。	
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	スクールバスの運行、警備員の配置等は児童の安全確保の有効な手段となっている。また、学校安全アドバイザーの配置や交通安全教育等の安全対策事業を実施することで、交通安全の推進に寄与することができている。	A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	各学校から一番近い民間バス事業者に運行業務を委託しているが、運行の単価は、時間と走行距離で国で定められた基準によって算出されており、市職員による直営に比べ、効率的な実施方法となっている。	A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし 児童死傷事故を受け、朝陽小学校では児童生徒の心のケアを目的にスクールバスの運行を開始、この際、二州小学校でも自転車通学をしていた児童を含め通学時の安全確保を目的にスクールバスの運行を開始した経緯がある。受益者負担は業務の性質上発生しない。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	令和3年6月28日に発生した児童死傷事故を受け、朝陽小学校では児童生徒の心のケアを目的にスクールバスの運行を開始した。これに加えて、二州小学校では、自転車通学をしていた児童を含め、通学時の安全確保を目的にスクールバスの運行を開始した。運行業務についてはバス会社と単年ごとに業務委託契約を行うために、一般競争入札を実施し、コスト削減に努めている。	A
外部評価					
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい	評価者 1	A
				評価者 2	A
Action 今後の事務事業の方向					
⑥	6年度における取組のPRと方向性	朝陽小学校及び二州小学校については、児童生徒の心のケア及び安全確保の観点から、今後も事業を継続してゆく。この事業に加えて、通学路における危険箇所の対策を行ったり、先進的な安全教育の手法を取り入れるなどして、安全安心な学校づくりを推進していく。			
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 朝陽小学校及び二州小学校については、児童生徒の心のケア及び安全確保の観点から、今後も事業を継続してゆく。この事業に加えて、通学路における危険箇所の対策を行ったり、先進的な安全教育の手法を取り入れるなどして、安全安心な学校づくりを推進していく。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を問うたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		教育センター運営費						部 局		教育部	
								課等・班		学校教育課・指導室	
								電話番号		443-1446 内線 2362	
								E-mail		gakkvo@city.yachimata.lg.jp	
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	教育センター運営の充実			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学校教育法 八街市教育センターの設置及び管理に関する条例	
		直接の対象者 (～に対して)	幼稚園・小・中学校教職員						最終的な受益者	市内園児・児童・生徒	
	事業目的 (～という状態にするために)	教職員の指導力及び資質を向上させ、たくましく生きる力を持った園児・児童生徒の育成に努める。									
	具体的な事業内容 (～を行う)	学級経営・学習指導、教務主任、研究主任、学年主任、若年層教員や講師、教育相談、ケース会議、特別支援教育、プログラミング教育・情報モラル育成、道徳指導法、小学校外国語活動の領域について研修会を実施する。また、中学校群研修会、教務主任優良校研修視察、八街市教育講演会を実施する。研究指定を中学校区で行う。授業支援ソフトや校務支援ソフトなどの市内各校における有効活用のための教育センター便りを通じた情報発信や研修会を実施する。 学習指導案を市内で共有し、市内各校の授業改善につなげる。 交進小学校敷地内新校舎を活用して独立した教育センターの研修体制及び研修支援センターとしてのはたらきを強化する。									
②	市民意識調査等からの結果分析 その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③実績・成果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)				
	事業の実績	研修等実施数	回	24	24	24	24				
		講演会開催数	回	1	1	1	1				
		研究指定	校	3校区	3校区	3校区	3校区				
	事業の効果										
	事業効果に関する外部要因	他市町村も夏季休業中を中心に研修会を実施している。学校群研修会は、本市独自のものです。									
	事業効果の総合分析 (達成できたこと)	研修支援センターとしての機能を活かし、ICTの活用やプログラミング教育など、教職員のニーズに応じた研修を企画・実施をした。研修会及び講演会の実施により、教職員の指導方法に工夫や改善が見られるようになり、児童生徒の授業アンケートから分かりやすい授業や興味関心を高められる学習活動に対して、肯定的な回答が得られるようになってきた。									
④事業コスト	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	1,575	1,431	1,668	1,258				
	決算額		千円	1,329	1,281	1,553					
		特定・その他財源()	千円	0	0	0					
		一般財源	千円	1,329	1,281	1,553					
5年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		報償費	50	使用料及び賃借料	834						
		需用費	146								
		役務費	523								

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	各園、各校におけるアンケートや保護者等による評価から、一層の学力向上、学校改善に対する関心や要望は高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	若年層教職員も増え、業務改善にも取り組む必要がある中、資質向上と授業力アップについて、個人の研修だけでは目標を達成しにくいところがある。全市を上げての取り組みは必要かつ妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	千葉県標準学力テストの結果に僅かではあるが向上が見られるとともに、魅力的な学校づくりに教職員の研修が活かされている。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	教職員の異動や状況により、研修内容や取り組みの方法等に柔軟な対応が求められるため、効率性の追求にあたっては慎重を要する。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	研修会には、学校の実情で1校から最低1名参加し、その効果は市内の園児・児童生徒に反映されると考えられ、公平性に問題はない。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	教育公務員特例法に「教員はその職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない、その機会を与えなければならない」とある。教員の資質を高めるためには、継続して研修を実施する必要がある。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	6年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール構想の実施に伴い、教職員が研修しやすい環境の整備、ならびに研修支援センターとしての役割を一層充実させる。 ・集合型研修だけでなく、遠隔会議システムを活用して、北海道教育大学や千葉工業大学、民間企業などを結んだ講演会等、新たな研修の方法で開催する。 ・ホームページの容量増加をはかり、各学校の情報発信の支援と管理を行う。また、動画等の配信についてもシステムを構築する。 ・教育センターだより、ホームページの充実などを通して、市内の学校の支援にかかる情報提供をより一層充実させる。 				
	事務事業の今後の方向性	<p style="text-align: center;">取り組み方向</p> <p> <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 </p> <p>各学校における教育活動及び研修による教職員の指導力向上のため最低限の予算措置、継続しての研修が必要である。令和2年度から、学校教育課主幹兼教育センター所長の増員をしていただき、教員のより一層の支援をはかることができるので、さらに専任指導主事の増員、専任職員の配置等を通して、機関としての教育センターの機能強化を図る。研修支援センターとしての設備・機能の充実を通して、教職員の授業力向上のための支援体制を強化する。一昨年度から有料のクラウド型ホームページにグレードアップできたので、さらに充実したページになるよう各校のHP支援体制を強化する。</p>				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を問うたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	育て八街っ子推進事業費							所 管 課 等	部 局	教育部
									課等・班	学校教育課・指導室
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					電話番号	443-1446	内線 2361
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街					E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp	
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実							
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	連携教育の推進		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学校教育法		
直接の対象者 (～に対して)	教職員及び児童生徒						最終的な受益者			
事業目的 (～という状態にするために)	園児・児童生徒の生活の安定と健全育成をめざして、八街市における連携教育の在り方について研究し実践する。									
具体的な事業内容 (～を行う)	1 学力向上のために授業改善を推進する。 2 継続的な連携指導項目の徹底指導を推進する。 3 学校と家庭、地域社会との連携を強化する。									
②	市民意識調査等からの結果分析 その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③実績・成果	事業の実績	区分	単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)			
		中学校区の連携教育プランの策定と実施	回	3	3	3	3			
		連携教育アンケートの考察	回	0	0	1	1			
	事業の効果	連携教育リーフレット作成と活用	回	1	1	1	1			
	事業効果に関する外部要因									
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	継続的な取り組みにより、学力向上の兆しが見られ。また、家庭学習の習慣化など保護者の意識の変容もみられている。									
④事業コスト	区分	単位		3年度	4年度	5年度	6年度(目標)			
	(最終)予算額	千円		71	0	114	262			
	決算額	千円		71	0	41				
		特定・その他財源()	千円		0	0	0			
	一般財源	千円		71	0	41				
5年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		需用費	0							
		使用料及び賃借料	41							

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	「やちまた教育の日」の反響等から考えて、幼稚園や小・中学校で安心して生活し学ぶことができることへの市民のニーズは高まっている。		A
		市の関与は妥当ですか	b	市内保育園、公立幼稚園及び小・中学校の効果的な連携を推進するために、全市をあげての取り組みは必要かつ妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	推進会議の開催や各実践から目標とする連携教育の在り方に近づきつつあるが、各園や学校間の活動を調整したり、広く市民のニーズに対応した実践を展開するために、一層の検討も求められる。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	達成目標に向けて事業内容の見直しや方策の改善を進め、効率性の向上に取り組んでいく必要がある。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全体の教育条件及び教育環境の整備と向上に結びつく事業であり、公平性が維持できる。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	園児、児童生徒の基本的な生活習慣の確立と学力向上のために、本事業の継続的な推進は必要な取り組みである。本事業の中核である連携教育は、その内容の修正や改善を図りながら一層の充実を目指すものである。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	6年度における取組のPRと方向性	市内のそれぞれの校種が創意工夫し、一昨年度まで定置していた体験教育や外部機関との交流も積極的に実践していく。今年度は、連携教育の推進期間として、幼小中高連携教育検討委員会を立ち上げ、年4回の会合の中で、その取組を吟味し、改善していくなどの方策をとる。連携を教育一層推進していく過程の中で、市内の園児及び児童生徒の学力向上、生活安定に基づく健全育成を図っていく。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 会議の開催や、実践記録の作成に継続して取り組むことで、成果の検証や改善点を明らかにし、次年度以降の本事業の発展につなげる。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
① 事務事業の概要	事務事業名	小学校教育振興費					所管課等	部 局	教育部		
						課等・班		学校教育課・指導室			
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					電話番号	443-1446	内線	2363
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街					E-mail	gakkyo@city.yachimata.lg.jp		
		具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	基礎的・基本的な学力の定着			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	学校教育法		
	直接の対象者 (～に対して)	市内小学校児童					最終的な受益者	市内小学校児童			
	事業目的 (～という状態にするために)	地域の教育力を取り入れ、児童の興味関心を高めるとともに、新しい学習内容に適応した教材、図書を供与するため。									
	具体的な事業内容 (～を行う)	ゲストティーチャーの招聘を行う。 図書の購入を行う。 各種大会出場や校外での学習のためのバスの借り上げを行う。 教育用コンピューターの保守業務を行う。									
②	市民意識調査等からの結果分析 その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	事業の実績	区分	単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)				
		ゲストティーチャー活用事業	人	32	29	28	28				
		児童生徒PC端末整備(GIGAスクール構想)	%	100	100	100	100				
		各種大会のためのバスの借り上げ	回	0	29	38	40				
	事業の効果	児童の興味・関心の向上									
		専門的な知識・技能の伝達									
		備品購入(図書)									
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	学校教育の中で、外部人材を活用したり、学校図書館図書の充実を図るなど、各校の実情に即した教育活動の工夫改善を図ることができた。										
④ 事業コスト	区分	単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
	(最終)予算額	千円	147,331	155,484	175,933	168,523					
	決算額	千円	146,034	153,182	175,116						
		特定・その他財源()	千円	12,902	1,323	2,362					
		一般財源	千円	133,132	151,859	172,754					
5年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)	報償費	183	委託料	69,696	負担金	49					
	需用費	29,421	使用料及び賃借料	71,479							
	役務費	1,027	備品購入費	3,261							

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校教育が地域との連携で、地域人材を積極的に授業に取り入れていくことは、教育効果を高める上で重要なことであるという認識は高まっている。		A
		市の関与は妥当ですか	a	新しい学習内容に即した地域人材の活用・図書教材の購入は、学習意欲の向上・国語力の育成等において重要であり、市の関与は妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	児童の体験的活動において、専門的な知識・技能を取り入れることにより、児童が意欲的に学習に取り組むと考える。また、図書の購入に伴い国語科における読む力や語彙力の向上が期待できる。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	市内各校が教育活動を工夫改善するために、各校の実情に即した執行をしている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内各学校において、取り組む事業であり、公平性が保たれると考える。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	各学校の教育活動を工夫・改善し、児童生徒の学習意欲を高めるために重要である。特に、児童生徒の読む力の育成は急務であり、事業の継続が求められる。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	6年度における取組のPRと方向性	地域のゲストティーチャー活用事業を推進することで、地域の力がこどもたちの学びの力にも大きくつながっていく。また、図書の購入に伴い、国語科における読む力や語彙力の向上に期待ができる。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 今後も学校教育に求められるものは多岐にわたる。時代のニーズに合わせた教育活動の実践のためにも、外部人材の活用や学校図書の充実など市内各校の支援を充実させていく。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		小学校教材備品等購入費						所管課等	部 局	教育部	
									課等・班	学校教育課・学務係	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
	具体的施策	学校教育の充実									
	実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校設備・備品の充実				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学校教育法		
	直接の対象者 (～に対して)	市立小学校児童						最終的な受益者	市立小学校児童		
事業目的 (～という状態にするために)	小学校に対して、教科指導上必要な備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。										
具体的な事業内容 (～を行う)	市立小学校全校に対して、教材備品を購入し、整備する。										
②	市民意識調査等からの結果分析 その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)				
	事業の実績	教材備品購入学校数	校	9	9	9	9				
	事業の効果	教材備品購入費	千円	1,539	1,536	1,536	1,539				
	事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		市内各小学校が教科指導上必要とする教材備品を購入し、整備した。									
④ 事業コスト	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	1,539	1,539	1,539	1,539				
	決算額		千円	1,539	1,536	1,536					
		特定・その他財源()	千円	0	0	0					
		一般財源	千円	1,539	1,536	1,536					
5年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		備品購入費 1,536									

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	学校教育法により、設置者が経費負担し、学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	備品台帳の活用により、現有備品の確認を行い、教科指導に必要な備品を整備している。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	限られた予算配分の中、教科指導に必要な備品を各小学校の現状に合わせて整備した。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全小学校に対し整備をしており、公平である。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学習指導要領により不足している教材等を点検し、教材備品を適正に選定し整備をしているが、全体的に予算不足である。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	6年度における取組のPRと方向性	市の厳しい財政上市内の小学校全校に十分な教材備品の整備が難しく、引き続き限られた予算配分の中での整備するよう努める。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		学校教育法により、学習指導要領による指導内容に基づき教材備品を継続して整備していかなければならない。各学校の現状に併せて整備する必要がある。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を問うたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		小学校理科教育振興用備品購入費						所管課等	部 局	教育部		
									課等・班	学校教育課・学務係		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1446	内線	2366
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp		
		具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校設備・備品の充実				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学校教育法			
	直接の対象者 (〜に対して)	市立小学校児童						最終的な受益者	市立小学校児童			
事業目的 (〜という状態にするために)	小学校に対して、教科指導上必要な理科備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。											
具体的な事業内容 (〜を行う)	市立小学校全校に対して、理科備品を購入し、整備する。											
②	市民意識調査等からの結果分析 その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
	事業の実績	理科備品現有数	%	77.5	78.4	79.2	80.0					
	事業の効果	理科備品購入費	千円	1,017	1,011	1,017	1,017					
	事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		市内各小学校が教科指導上必要とする理科備品を購入し整備した。										
④ 事業コスト	区分		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)				
	(最終)予算額		千円		1,017	1,017	1,017	1,017				
	決算額		千円		1,017	1,011	1,013					
		特定・その他財源()	千円		480	455	467					
		一般財源	千円		537	556	546					
5年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		備品購入費 1,013										

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価			
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	学校教育法により、設置者が経費負担し、学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	備品台帳の活用により、現有備品の確認を行い、教科指導に必要な備品を整備している。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	限られた予算配分の中、教科指導に必要な備品を各小学校の現状に合わせて整備した。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全小学校に対し整備をしており、公平である。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学習指導要領により不足している教材等を点検し、教材備品を適正に選定し整備をしているが、全体的に予算不足である。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	6年度における取組のPRと方向性	市の厳しい財政上市内の小学校全校に十分な理科備品の整備が難しく、引き続き限られた予算配分の中での整備するよう努める。また平成24年度から1校あたりの国の基準額が下がったことにより、備品台帳により廃棄等の見直しを行い、国の補助金を活用する。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		学校教育法により、学習指導要領による指導内容に基づき理科備品を継続して整備していかなければならない。各学校の現状に併せて整備する必要がある。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を因ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		小学校児童援助奨励費						所 管 課 等	部 局	教育部		
									課等・班	学校教育課・学務係		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1446	内線	2368
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	就学における経済的援助				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	八街市要保護及び準要保護児童生徒に対する就学援助実施要綱			
	直接の対象者(〜に対して)	市内に住所を有し、経済的理由により就学が困難な児童の保護者						最終的な受益者	児童の保護者			
事業目的(〜という状態にするために)	経済的理由により、就学が困難と認められる児童に必要な教育を受けさせるため。											
具体的な事業内容(〜を行う)	学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費、クラブ活動費等の援助を行う。											
②	市民意識調査等からの結果分析 その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	事業の実績	区分	単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
		準要保護児童認定数	人	229	192	184	185					
	事業の効果	準要保護児童認定率	%	8.7	7.6	7.6	8.0					
		事業効果に関する外部要因	・R3年度はコロナ禍により収入が減少した家庭の増加 ・R4年度はコロナ禍後において収入が安定した家庭の増加									
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	経済的理由により教育の格差をなくし、円滑な学校運営にも寄与している。										
	④ 事業コスト	区分	単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
(最終)予算額		千円	21,288	21,154	21,101	20,175						
決算額		千円	20,197	18,571	18,358							
		特定・その他財源()	千円	2,121	2,345	2,639						
一般財源		千円	18,076	16,226	15,719							
5年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		扶助費	18,358									

Check 事務事業の評価							
区分	一次評価	判定理由		二次評価			
		必要性	市民からのニーズは高いですか		a	昨今の厳しい社会情勢により保護者のリストラや離婚等により、安定した収入が得られない世帯が増加しているため、市民からのニーズは高い。	A
	市の関与は妥当ですか	a	平成24年度に要綱を制定したため、妥当である。				
有効性	期待された効果は得られていますか	b	教育の機会均等の見地から効果は得られている。	B			
効率性	事業の効率性を高められますか	b	認定基準の厳格化により、効率性は更に高められる。	B			
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし 全児童・生徒の保護者が対象であるが、認定基準上、少数の特定市民対が対象となっているため、基準の厳格化の推進が更に必要である。	B			
総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	教育の機会均等を図るために、継続的な制度の周知や事務処理の工夫を充実させる必要がある。	B			
外部評価							
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	B			
			評価者 2	B			
Action 今後の事務事業の方向							
6年度における取組のPRと方向性	保護者の経済的理由による教育の格差を防止するため、学校と連携をし、制度のPRとともに児童・生徒の保護に努める。また、制度の公平性を確保するため、基準の厳格化の推進を図る。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	教育の機会均等に資するため、継続的に実施する必要がある。制度の周知および基準の厳格化について、推進する必要がある。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		中学校教育振興費						所 管 課 等	部 局	教育部		
									課等・班	学校教育課・指導室		
									電話番号	443-1446	内線	2363
									E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp		
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた									
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街									
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	基礎的・基本的な学力の定着				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	学校教育法			
		直接の対象者(～に対して)	市内中学校生徒					最終的な受益者	市内中学校生徒			
	事業目的(～という状態にするために)	地域の教育力を取り入れ、生徒の興味関心を高めると共に、新しい学習内容に適応した教材、図書を供与するため。										
	具体的な事業内容(～を行う)	ゲストティーチャーの招聘、図書の購入、各種大会出場のための送迎用バスの借り上げを行う。また、教育用コンピュータ保守業務を行う。										
②	市民意識調査等からの結果分析 その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実 績 ・ 成 果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
	事業の実績	ゲストティーチャー活用事業		回	4	18	4	4				
		児童生徒PC端末整備(GIGAスクール構想)		%	100	100	100	100				
		各種大会のためのバスの借り上げ		回	0	1	4	8				
	事業の効果	生徒の興味・関心の向上										
		専門的な知識・技能の伝達										
		備品購入(図書)										
事業効果に関する外部要因		外部人材の活用、図書の充実、コンピュータの保守業務については、市町村の状況に合わせた形で実施されている。大会への移動については、バスの保有等により様々である。										
事業効果の総合分析(達成できたこと)		学校教育の中で、外部人材を活用したり、学校図書館図書の充実を図るなど、各校の実情に即した教育活動の工夫改善を図る。										
④ 事 業 成 本	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
	(最終)予算額		千円		77,545	80,264	80,125	94,578				
	決算額			千円		76,764	79,312	79,330				
		特定・その他財源()		千円		7,043	588	1,050				
	一般財源		千円		69,721	78,724	78,280					
5年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			報償費	23	委託料	37,455	負担金及び補助金	926				
			需用費	5,693	使用料及び賃借料	32,974						
			役務費	442	備品購入費	1,817						

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校教育が地域との連携を行う上で、地域人材を積極的に授業に取り入れていくことは重要なことと考える。		A
		市の関与は妥当ですか	a	外部人材の活用、また新しい学習内容に即した図書教材の購入は生徒の国語力を育成する上で重要と考える。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	生徒の体験的活動において、専門的な知識・技能を取り入れることにより生徒が意識的に学習に取り込むと考える。図書の購入に伴い、国語力の向上が期待できる。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	市内各中学校においてが教育活動を工夫改善するために、各校の実情に即した執行をしている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内各中学校において、取り組む事業であり、公平性が保たれる。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	各中学校の教育活動を工夫・改善し、生徒の学習への意欲を高めるために重要である。特に生徒の読む力の育成は急務であり、事業の継続が求められる。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	6年度における取組のPRと方向性	ゲストティーチャーの招聘、学校図書館の図書の購入、各種大会出場のため最低限の予算措置、及び事業の実施。教育用コンピュータ保守業務を行う。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 各中学校生徒の学習意欲を高め、学力の向上のため継続して実施する。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を問ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		中学校教材備品等購入費						所管課等	部 局		教育部	
									課等・班		学校教育課・学務係	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1446	内線	2366
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp		
	具体的施策	学校教育の充実										
	実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校設備・備品の充実					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学校教育法			
	直接の対象者 (〜に対して)	市内中学校生徒						最終的な受益者	市内中学校生徒			
事業目的 (〜という状態にするために)	中学校に対して、教科指導上必要な備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。											
具体的な事業内容 (〜を行う)	市立中学校全校に対して、教材備品を購入し、整備する。											
②	市民意識調査等からの結果分析 その他市民から寄せられた意見等	該当										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
	事業の実績	教材備品購入学校数	校	4	4	4	4					
	事業の効果	教材備品購入費	千円	1,337	1,334	1,337	1,337					
	事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		市内各中学校が教科指導上必要とする教材備品を購入し、整備した。										
④ 事業コスト	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	1,337	1,337	1,337	1,337					
	決算額		千円	1,337	1,334	1,334						
		特定・その他財源()	千円									
	5年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		備品購入費	1,334								

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	学校教育法により、設置者が経費負担し、学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	備品台帳の活用により、現有備品の確認を行い、教科指導に必要な備品を整備している。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	限られた予算配分の中、教科指導に必要な備品を各小学校の現状に合わせて整備した。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全中学校に対し整備をしており、公平である。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学習指導要領により不足している教材等を点検し、教材備品を適正に選定し整備をしているが、全体的に予算不足である。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	6年度における取組のPRと方向性	市の厳しい財政上市内の中学校全校に十分な教材備品の整備が難しく、引き続き限られた予算配分の中での整備するよう努める。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		学校教育法により、学習指導要領による指導内容に基づき教材備品を継続して整備していかなければならない。各学校の現状に併せて整備する必要がある。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を問うたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		中学校理科教育振興用備品購入費						所管課等	部 局	教育部	
									課等・班	学校教育課・学務係	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1446	内線 2366
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp	
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校設備・備品の充実			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学校教育法		
	直接の対象者 (～に対して)	市立中学校生徒						最終的な受益者	市立中学校生徒		
事業目的 (～という状態にするために)	中学校に対して、教科指導上必要な理科備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。										
具体的な事業内容 (～を行う)	市立中学校全校に対して、理科備品を購入し、整備する。										
②	市民意識調査等からの結果分析 その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)				
	事業の実績	理科備品現有率	%	85.4	82.8	83.0	80.0				
	事業の効果	理科備品購入費	千円	918	918	918	918				
	事業効果に関する外部要因	老朽化した理科備品の廃棄を行い、現有率が下がった。									
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	市内各中学校が教科指導上必要とする理科備品を購入し、整備した。										
④ 事業コスト	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	918	918	918	918				
	決算額		千円	918	909	907					
		特定・その他財源()	千円	397	419	431					
		一般財源	千円	521	490	476					
5年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		備品購入費 907									

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価			
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	学校教育法により、設置者が経費負担し、学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	備品台帳の活用により、現有備品の確認を行い、教科指導に必要な備品を整備している。		B			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	限られた予算配分の中、教科指導に必要な備品を各小学校の現状に合わせて整備した。		B			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全中学校に対し整備をしており、公平である。	B			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学習指導要領により不足している教材等を点検し、教材備品を適正に選定し整備しているが、全体的に予算不足である。		B			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	B				
				評価者 2	B				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	6年度における取組のPRと方向性	市の厳しい財政上市内の中学校全校に十分な理科備品の整備が難しく、引き続き限られた予算配分の中での整備するよう努める。また、平成24年度から1校あたりの国の基準額が下がったことにより、備品台帳による廃棄等の見直しを行い、国の補助金を活用する。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		学校教育法により、学習指導要領による指導内容に基づき理科備品を継続して整備していかなければならない。各学校の現状に併せて整備する必要がある。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を問うたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		中学校生徒援助奨励費						所管課等	部 局	教育部		
									課等・班	学校教育課・学務係		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1446	内線	2368
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	就学における経済的援助				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	八街市要保護及び準要保護児童生徒に対する就学援助実施要綱			
	直接の対象者 (～に対して)	市内に住所を有し、経済的理由により就学が困難な生徒の保護者						最終的な受益者	生徒の保護者			
事業目的 (～という状態にするために)	経済的理由により就学が困難と認められる生徒に必要な教育を受けさせるため。											
具体的な事業内容 (～を行う)	学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費、クラブ活動費等の援助を行う。											
②	市民意識調査等からの結果分析 その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
	事業の実績	準要保護生徒認定数	人	164	150	145	131					
	事業の効果	準要保護児童認定率	%	10.2	9.6	9.6	9.0					
	事業効果に関する外部要因	・R3年度はコロナ禍により収入が減少した家庭の増加 ・R4年度はコロナ禍後において収入が安定した家庭の増加										
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	経済的理由により教育の格差をなくし、円滑な学校運営にも寄与している。											
④ 事業コスト	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
	(最終)予算額		千円		27,686	28,868	29,470	25,524				
	決算額		千円		22,838	23,065	23,107					
		特定・その他財源()	千円		1,611	2,175	2,100					
		一般財源	千円		21,227	20,890	21,007					
5年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			扶助費	23,107								

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	昨今の厳しい社会情勢により保護者のリストラや離婚等により、安定した収入が得られない世帯が増加しているため、市民からのニーズは高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	平成24年度に要綱を制定したため、妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	教育の機会均等の見地から効果は得られている。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	認定基準の厳格化により、効率性は更に高められる。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	全児童・生徒の保護者が対象であるが、認定基準上、少数の特定市民が対象となっているため、基準の厳格化の推進が更に必要である。	B
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	教育の機会均等を図るために、継続的な制度の周知や事務処理の工夫を充実させる必要がある。		B
外部評価						
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	B
					評価者 2	B
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	6年度における取組のPRと方向性	保護者の経済的理由による教育の格差を防止するため、学校と連携をし、制度のPRとともに児童・生徒の保護に努める。また、制度の公平性を確保するため、基準の厳格化の推進を図る。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	教育の機会均等に資するため、継続的に実施する必要がある。制度の周知および基準の厳格化について、推進する必要がある。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		中学校地域部活動推進事業費						所 管 課 等	部 局	教育部		
									課等・班	学校教育課・指導室		
									電話番号	443-1446	内線	2363
									E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp		
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた									
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街									
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2021	終了	2024	主な計画事業	教育環境づくりの充実				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学習指導要領			
	直接の対象者 (～に対して)	市内中学校生徒						最終的な受益者	市内中学校生徒			
事業目的 (～という状態にするために)	中学校の部活動は、少子化などの影響による生徒数の減少、専門的な技術指導を行える顧問の不足、学校における働き方改革への対応などの課題が指摘されている。4中学校に設置している19種類の部活動(運動部12種類、文化部7種類)を本市に適した形で地域移行に取り組んでいくために、「部活動地域移行推進協議会」による委員からの提言を踏まえること、実証事業の成果や課題の検証を行うこと、教職員、児童生徒保護者のアンケート調査を実施すること、などを行う。											
具体的な事業内容 (～を行う)	部活動地域移行推進協議会を開催する。 中学校部活動の地域移行を令和6年度に1部活以上行う。 新しい地域クラブ活動の運営を担う事務局の設立を行う。 地域の関係団体、中学校、生徒保護者との連絡・調整を行うコーディネーターを事務局に配置する。 土日、祝日の部活指導を学校外の団体に委託し、生徒保護者及び教師への効果・影響を調査する。											
②	市民意識調査等からの結果分析 その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実 績 ・ 成 果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
	事業の実績	推進協議会開催回数	回	0	0	1	2					
		地域移行したクラブ活動の数	団体	0	0	0	1					
		地域クラブの指導者の人数	人数	0	0	0	2					
	事業の効果	該当部活動顧問の休日の指導回数	日数				7					
		満足度アンケート	パーセント				70					
事業効果に関する外部要因	スポーツ庁・文化庁「部活動の地域連携や地域スポーツ・文化クラブ活動移行に向けた環境の一体的な整備」における「地域クラブ活動への移行に向けた実証事業」について、令和6年度千葉県より委託事業を受託している。											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)												
④ 事 業 コ ス ト	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	0	0	30	1,288					
	決算額		千円	0	20	20						
		特定・その他財源()	千円	0	0	0						
		一般財源	千円	0	20	20						
5年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			報償費	20								

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	b	部活動に関する関心は、児童生徒、保護者、教職員、学校、地域にとって非常に高い。		B
		市の関与は妥当ですか	b	休日の活動の地域移行は、地域におけるスポーツや文化芸術等に親しむ機会の確保であり、自発的な参画を通して「楽しさ」「喜び」を感じ健全育成の充実に寄与するものである。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	地域におけるスポーツや文化芸術等に親しむ機会が確保され、成果が期待できる。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	国や県が示すスケジュールに準拠しており、休日の部活動を段階的に地域に移行していく方法となっている。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	b	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	部活動は長らく学校での活動とされ、保護者負担が非常に少なかったことから、当面は国の実証事業を活用しつつ、保護者負担のあり方を検討する必要がある。	B
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	推進協議会の提言を踏まえ、保護者や地域関係団体等と合意形成を図りながら、今後、他の種目における実証事業の事例を増やし事業を拡大・拡充していく必要がある。		B
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	B	
				評価者 2	B	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	6年度における取組のPRと方向性	推進協議会の提言を踏まえ、今後、教職員、児童生徒や保護者を対象にしたアンケート調査を実施するとともに、近年、合同チームを編成しなければならぬ状況にある種目の部活動を対象として、部活動地域移行の実証事業を行う予定。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 国の「地域クラブ活動への移行に向けた実証事業」の受託について次年度以降も要望していく。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		学校保健管理費						部 局		教育部	
① 事務事業の概要		当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					
		施策の大綱		五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
		(八街市総合計画) 2015		具体的施策		学校教育の充実					
		実施計画		開始	2020	終了	2024	主な計画事業		健康づくりの推進	
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠		学校保健安全法			
直接の対象者 (～に対して)		幼稚園児・児童・生徒・教職員				最終的な受益者		幼稚園児・児童・生徒・保護者			
事業目的 (～という状態にするために)		<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園児、児童、生徒及び教職員の健康保持増進を図ることにより、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資する。 ・安全で衛生に配慮した学校給食の提供。 ・学校環境衛生を維持・管理し、健康的な学習環境を確保する。 									
具体的な事業内容 (～を行う)		<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園児、児童、生徒の健康診断・教職員健康診断・就学時健康診断・環境検査測定業務・給食補助員の配置。 									
②		市民意識調査等からの結果分析 その他市民から寄せられた意見等		該当項目							
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果		区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)			
		事業の実績		1	幼稚園児・児童・生徒・教職員の健康診断及び就学時健康診断	人	4,945	4,749	4,567	4,700	
				2	環境検査(水質・空気・照度等)	園 学校数	16	16	16	16	
				3	給食補助員の数	人	18	18	18	18	
		事業の効果		1	健康保持増進及び疾病の早期発見指導及び早期治療	人	4,945	4,749	4,567	4,700	
				2	学校環境の衛生的な維持	園 学校数	16	16	16	16	
				3	安全で衛生に配慮した学校給食の提供	人	18	18	18	18	
		事業効果に関する外部要因									
		事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・幼稚園児、児童、生徒及び教職員の健康管理及び学校環境を衛生的に保持した。							
		④ 事業コスト		区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)	
(最終)予算額				千円	18,641	19,164	18,564	20,118			
決算額				千円	17,847	17,558	17,808				
				特定・その他財源()	千円						
一般財源				千円	17,847	17,558	17,808				
5年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		報酬	7,453	委託料	7,911						
		需用費	567	使用料及び賃借料	0						
		役務費	1,877								

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	健全育成や健康づくりの観点からニーズは高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	学校保健安全法の規定及び学校環境衛生の基準による事業のため妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	健康に対する関心が高くなり、健康教育の一環となっている。健康保持増進及び疾病の早期発見指導及び早期治療。学校環境を衛生的に維持した。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	給食補助員については、臨時職員であり、時間給対応により委託よりも安価となっている。健康診断検査等は健診専門機関へ委託。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	対象者は市立幼稚園児、児童、生徒及び学校教職員全員であるため公平である。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学校保健安全法の規定及び学校環境衛生の基準にそって適正に実施している。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	6年度における取組のPRと方向性	各健康診断については年間計画に沿って適正に実施する。未受診者の事後指導を実施する。また、労働者自身によるストレスへのセルフケアと、事業者によるストレスの要因の低減を目的としたストレスチェック制度を実施する。給食配膳室の衛生管理を徹底する。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	学校保健安全法の改正等に留意し、適切に事業を推進する。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
① 事務事業の概要	事務事業名	学校保健諸費						所管課等	部 局	教育部		
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班	学校教育課・学務係		
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						電話番号	443-1446	内線 2368	
		具体的施策	学校教育の充実						E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp		
	実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	健康づくりの推進					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学校保健安全法			
	直接の対象者 (〜に対して)	幼稚園児・児童・生徒・養護教諭・保健主事						最終的な受益者	幼稚園児・児童・生徒・保護者			
	事業目的 (〜という状態にするために)	・学校管理下における児童、生徒等の災害に対し精神的、経済的負担の軽減を図る。 ・学校保健会、養護教諭会、保健主事会の健全な運営を図る。										
	具体的な事業内容 (〜を行う)	・負担金(日本スポーツ振興センター災害共済掛金、県郡学校保健会、県郡養護教諭会、県郡保健主事会) ・災害共済給付金のセンターへの請求および、共済加入者への給付										
	②	市民意識調査等からの結果分析 その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
	事業の実績	1	日本スポーツ振興センター災害共済掛金	人	4,340	4,165	4,013	3,850				
		2	学校保健会・養護教諭会・保健主事会負担金	千円	154	139	122	153				
	事業の効果	1	児童・生徒に対する共済給付	人	227	221	211	210				
		2	学校保健会・養護教諭会・保健主事会の健全な育成	千円	154	139	122	153				
	事業効果に関する外部要因											
	事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・災害共済加入・給付および負担金について、遅滞・漏れ等なく行えた。 なお、災害共済は例年どおり、市内公立小中学校・幼稚園に在籍する児童生徒および幼児全員が加入している。 ・共済給付金の給付方法変更(⑥参照)について、令和3年度からスムーズに移行できるよう準備を進めた。									
	④ 事業コスト	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)				
		(最終)予算額		千円		4,110	3,968	3,868	3,649			
		決算額			千円		4,082	3,902	3,745			
特定・その他財源()			千円									
一般財源		千円		4,082	3,902	3,745						
5年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			負担金	3,745								

Check 事務事業の評価							
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	安心・安全な学校生活を送るため、対象者からのニーズは高い。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	学校管理下における児童・生徒等の災害に対し必要な事業である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	幼稚園児、児童、生徒及び保護者の精神的、経済的負担の軽減が図られる。学校保健会等の健全な運営が図られる。		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	月1回、学校(園)から申請のあったものを確認のうえ、遅滞なく日本スポーツ振興センターに提出しており、給付金についても適正に処理している。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	全市立幼稚園児、児童・生徒が対象であり、公平性はあるが、受益者負担はない。	A	
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	安心・安全な学校生活を送るため必要性の高い事業である。		A	
外部評価							
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A		
				評価者 2	A		
Action 今後の事務事業の方向							
⑥	6年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> 保護者、学校、教育委員会、日本スポーツ振興センター相互の連携を密にし、申請もれ、加入もれ等が生じないよう適切に処理する。 給付金の支給方法について、従来の学校長を通じた支給から、直接保護者の口座へ支給する方法に変更し、学校側の事務負担軽減を図る。 					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
		<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携し、適正に事業を実施する。 ケガ、事故等を未然に防ぐため、学校保健会、養護教諭、保健主事と連携し、安全教育や安全点検等を充実する。 					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		学校保健特別対策事業費						部 局		教育部	
① 事務事業の概要		当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					
		実施の大綱		五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
		（八街市総合計画）2015		具体的施策		学校教育の充実					
		実施計画		開始	2020	終了	2024	主な計画事業		健康づくりの推進	
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠		学校保健安全法 新型インフルエンザ等対策特別措置法			
直接の対象者（～に対して）		各小中学校教職員及び児童生徒				最終的な受益者		各小中学校教職員及び児童生徒			
事業目的（～という状態にするために）		コロナ禍での感染予防及び拡大を防止するため、学びを止めないための消耗品等の整備を行う。									
具体的な事業内容（～を行う）		感染症予防及び拡大防止のため、小中学校のアルコール等の整備									
② 市民意識調査等からの結果分析 その他市民から寄せられた意見等		該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果		区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)			
		事業の実績		1	備品・消耗品の整備	校	13	13	13	13	
				2	学習教材の整備	校	13	0	0	0	
				3							
		事業の効果		1	感染症予防及び拡大防止	校	13	13	13	13	
				2	コロナ禍で学びを止めないための学習環境整備	校	13	0	0	0	
				3							
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析（達成できたこと）		感染症予防及び拡大防止のため、アルコール等を整備することができた。									
④ 事業コスト		区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)			
		(最終)予算額		千円		17,694	4,050	4,550	4,550		
		決算額		千円		17,614	1,546	3,298			
				特定・その他財源()	千円		8,756	772	1,138		
				一般財源	千円		8,858	774	2,160		
5年度の主な歳出節別内訳（単位：千円）		需用費		3,298							

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	新型コロナウイルス感染症の蔓延防止を図ることにより、安心・安全な学校生活を送ることができるため、対象者からのニーズは高い。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	学校管理下における児童・生徒等の新型コロナウイルス感染症の感染防止及び安全対策であることから必要な事業である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	児童・生徒の安心・安全な学校生活が確保されたことにより、十分な教育活動を継続することができた。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	安心して学校生活をおくる体制を整備できる。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	対象者は児童、生徒及び学校教職員全員であるため公平である。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	コロナ禍でも感染防止対策を図ること、児童・生徒が安心して学校生活を送る体制を整備できた。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	6年度における取組のPRと方向性	5類以降への関係から状況を見ながら、コロナ感染症予防及び拡大防止のため、備品等を整備をする。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		5類以降への関係から状況を見ながら、引き続き、コロナ禍での感染予防及び拡大を防止するため、学びを止めないための、美術等の整備等を行う。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名		社会教育振興費					部 局		教育部				
							課等・班		社会教育課・社会教育推進係				
							電話番号		443-1464	内線 2381			
							E-mail		shakvo@city.yachimata.lg.jp				
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					所管課等					
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街										
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	生涯学習環境の整備・社会教育活動の推進・芸術文化の振興										
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業				生涯学習推進体制の確立・学習情報の収集と提供・人材バンクの登録と提供・学習機会の充実・家庭教育の支援・芸術文化事業の充実・芸術文化活動団体への支援		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()								実施根拠		教育基本法、社会教育法、文化芸術基本法、八街市社会教育委員に関する条例、八街市社会教育指導員の設置等に関する規則、八街市家庭教育指導員の設置等に関する規則
	直接の対象者(〜に対して)	市民					最終的な受益者		市民				
	事業目的(〜という状態にするために)	社会教育委員、社会教育指導員・家庭教育指導員を委嘱し、それぞれの専門的な知見を活かし、本市の社会教育の充実を図る。また、市民を対象とした各種学級、講座、研修会、講演会、発表会、展示会等を開催し、生涯にわたり生きがいのある生活と心がかようまちづくりを目指し、市民の学習や文化芸術に対する関心を高め、市民文化の向上を図る。											
	具体的な事業内容(〜を行う)	1. 社会教育委員会議を開催し、社会教育事業について検証や提案、教育委員会の諮問に対する答申や提言を行う。 2. 社会教育指導員による高齢者学級や生きがい短期大学への指導・助言、家庭教育指導員による家庭教育相談業務や幼・小・中学校で開催する家庭教育学級への指導・助言を行う。 3. 市民を対象とした各種学級、講座、研修会、講演会等を開催する。 4. 八街市民音楽祭、市民文化祭、芸術作品展示会等を開催する。											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	生涯学習施設の整備										
		市民の楽しめる場所や施設がなく、複合施設とし、図書館、カルチャー、文化センター、フードコート等を計画してほしい。											
Do 事務事業の実施													
③ 実績・成果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	令和6年度(目標)						
	事業の実績	1	高齢者学級の実施(自主学級)	学級数	中止	4	8	10					
		2	家庭教育学級の実施	学級数	オンライン開催	15	15	14					
		3	家庭教育講演会の開催	回	オンライン開催	オンライン開催	1(ハイブリッド開催)	1					
		4	社会教育振興大会の開催	回	中止	1	1	1					
		5	輝く女性の研修会の開催	回	中止	中止	1	1					
		6	市民文化祭の実施	回	中止	中止	1	1					
		7	市民音楽祭の実施	回	中止	中止	1	1					
	事業の効果	1	高齢者学級開催数	回	中止	15	53	60					
		2	家庭教育学級修了者数	人	オンライン開催	129	553	700					
3		家庭教育講演会の参加者数	人	オンライン開催	オンライン開催	106	200						
4		社会教育振興大会の参加者数	人	中止	128	283	340						
5		輝く女性の研修会の参加者数	人	中止	中止	180	216						
6		市民文化祭の出演・出品者数	人	中止	中止	2,328	2,800						
7		市民音楽祭の出演者・来場者数	人	中止	中止	604	660						
	事業効果に関する外部要因	家庭教育学級の学級生数は、児童・生徒の減少や社会状況の変化により影響を受ける。各種事業への参加者・団体の固定化や人口減、少子高齢化。											
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、すべての事業を再開することができ、一定の評価が得られた。また、コロナ禍中に学んだオンラインでの開催方法を組み込むことで(ハイブリッド開催)、小規模の会場での開催が可能となり、コストを抑えられた他、様々な状況におかれている方々にご参加いただけた。											
④ 事業コスト	区分		単位	3年度	4年度	5年度	令和6年度(目標)						
	(最終)予算額		千円	1,545	2,419	2,666	2,642						
	決算額			千円	1,082	2,059	2,321						
		特定・その他財源()	千円	93	93	93							
	一般財源		千円	989	1,966	2,228							
5年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報酬	373	報償費	80	需用費	482						
		役務費	496	使用料賃借料	131	負担金補助及び交付金	754						
		公課費	5										

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価			
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市民の価値観が多様化する中、社会教育事業に市民ニーズを反映させるための社会教育委員、高齢者学級及び家庭教育学級を運営するための社会教育指導員及び家庭教育指導員の存在は大きい。また、生涯学習や文化芸術に関する市民の関心は高まっており、今後も市民ニーズは増大・複雑化すると思われる。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	社会教育委員、指導員は、社会教育・生涯学習を推進するため大きな役割を担っている。また、文化芸術基本法により市が地域の特性に応じた施策を実施する必要があることから、市民に文化芸術の発表・鑑賞機会を提供することは必要である。市民が主役の事業については協働を推進し、市民ニーズを踏まえた学習・発表の機会を提供することは市の責務である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、すべての活動が再開でき、一定の評価を得ることができた。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	社会教育委員会会議など専門知識を有する委員の意見や指導員の指導・助言を受けている。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	例年は講座等で材料費・保険料等が必要な場合は参加者の負担としている。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	地域の教育力向上のため、学校、家庭、地域がさらに連携・協働していく必要がある。社会教育活動への参加者の固定化や減少化が懸念される。		B			
外部評価									
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	B			
					評価者 2	B			
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	6年度における取組のPRと方向性	社会教育振興大会や家庭教育講演会を通じ、市民一人ひとりが子どもたちや地域が抱える様々な課題を、当事者意識をもって捉えられるような意識の醸成を図る。文化芸術作品の鑑賞の機会の提供。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		多岐にわたる市民の学習ニーズに応えるために、より充実した事業展開や協働による事業の実施を推進する。また、文化芸術活動の発表や鑑賞の機会をより多く提供することで、本市の文化芸術に対する意識の高揚に努める。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
① 事務事業の概要	事務事業名	青少年健全育成費					所管課等	部 局	教育部			
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					課等・班	社会教育課・社会教育推進係			
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街					電話番号	443-1464	内線	2381	
		具体的施策	青少年の健全育成					E-mail	shakvo@city.yachimata.lg.jp			
	実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	地域ぐるみの育成活動・青少年健全育成事業の推進 こども110番事業の支援・青少年犯罪の防止					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (こども110番推進委員会)					実施根拠	社会教育法				
	直接の対象者 (～に対して)	市民・こども110番推進委員会					最終的な受益者	市民				
	事業目的 (～という状態にするために)	青少年教育及び啓発活動をととして市民による青少年の健全育成を推進する。 また、こどもたちに対する犯罪を未然に防ぎ、緊急避難場所を確保する。 さらに、こどもたちの調和のとれた人間形成を図るとともに市民の憩いの場を提供するため、自然体験型の学習機会を提供する。										
	具体的な事業内容 (～を行う)	青少年教育事業、青少年相談員の委嘱、市民に対する啓発活動等。 協力企業・家庭の募集、看板作成支援及び協力世帯に対する保険加入による、こども110番事業の支援。 市民に親しまれる施設(憩いの場)とするためのたけのこの里の維持管理。 学校の余裕教室を利用した、放課後におけるこどもの居場所づくりと学習支援を目的とした、児童クラブとの校内交流型の放課後子ども教室を実施する。										
	② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	青少年健全育成 青少年の素行改善									
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	令和6年度(目標)					
	事業の実績	1	青少年相談員主催事業の実施	事業	1	2	7	10				
		2	放課後子ども教室開設数	教室	5	5	5	5				
		3	通学合宿の実施	回	中止	中止						
		4	二十歳を祝う会(成人式)の実施	回	1	1	1	1				
		5	こども110番の家協力募集チラシ配布数	枚	中止	中止	37	50				
		6	たけのこ掘り体験学習期間の実施日数	日	26	30	30	30				
	事業の効果	1	青少年交流会の参加者数	人	中止	中止	805	1,100				
		2	少女少女のつどい大会参加者数	人	中止	28	46	60				
		3	放課後子ども教室参加者数	人	2,445	2,480	2,735	3,400				
4		通学合宿の修了者数	人	中止	中止							
5		成人式の参加者数	人	551	488	439	420					
6		こども110番の家協力世帯数	世帯	1,932	391	428	478					
7		たけのこ掘り体験者数	人	92	217	244	346					
事業効果に関する外部要因	少子化に伴う対象者数・参加者数の減少。健全育成事業及び啓発活動の実施に当たっては、青少年相談員やボランティアの協力が不可欠。こども110番事業は、市小中学校PTA連絡協議会による取り組み。実態調査の結果、協力世帯数が減少していた。たけのこ掘りの体験学習は、たけのこの発育状況により期間を短縮せざるを得ない場合がある。											
事業効果の総合分析(達成できたこと)	新型コロナウイルス感染症の収束に伴い事業を再開し、一定の評価を得られた。 こども110番支援事業では、市P連により地域を訪問いただくなど、地道な活動により協力軒数の増加につながった。 新型コロナウイルス感染症の対策を講じた上で、放課後子ども教室を開講できた。 二十歳を祝う会(成人式)は新型コロナウイルス感染症予防対策を講じて、2部制で開催した。											
④ 事業コスト	区分		単位	3年度	4年度	5年度	令和6年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	4,406	5,657	4,834	4,829					
	決算額			千円	3,690	5,128	3,849					
		特定・その他財源()	千円	1,236	1,431	1,354						
	一般財源		千円	2,454	3,697	2,495						
5年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			報償費	1,998	需用費	647	役員費	146				
			委託料	511	使用料及び賃借料	11	備品購入費	33				
			負担金及び補助金	503								

Check 事務事業の評価				
区分	一次評価	判定理由		二次評価
		必要性	a	
	b	青少年の健全育成は社会的な課題である。学校・家庭・地域の連携を図り、市が各種施策を展開することは妥当である。ただし、たけのこの里の管理運営方法については検討を要する。		
有効性	b	新型コロナウイルス感染症の収束に伴い事業を再開、一定の評価が得られた。放課後子ども教室は、開催日数を増加した。二十歳を祝う会は、2部制により開催。		
効率性	b	関係団体や指導員の協力を得ながら必要最小限の予算で各種事業を実施している。こども110番支援事業では、市PTA連絡協議会や学校と連携することで事業の効率化を図っている。周知看板の交換作業等を職員が実施することで経費節減に努めている。たけのこの里管理費については、委託料の減額に伴い職員による直営作業を実施している。放課後子ども教室指導員の病欠等の場合は、その代替えを職員が対応している。		
公平性	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	放課後子ども教室の負担金として、保険料を徴収している。その他は公平性に問題はない。	A
総括評価	b	青少年を取り巻く環境の変化への対応。こども110番支援事業では「こども110番の家」の看板を掲げることで地域の防犯意識の高さを示し、犯罪抑止効果を発揮している。たけのこの里は体験者には好評であるが、体験期間以外の時期の活用方法が課題である。また、市の関与のあり方に検討を要する。放課後子ども教室の市内小学校全校での開講に加え、支援員の確保が課題である。		
外部評価				
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない		評価者 1	B
	B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない		評価者 2	B
C 検討の余地あり				
D 検討の余地は大きい				
Action 今後の事務事業の方向				
6年度における取組のPRと方向性	青少年健全育成の重要性を認識するための啓発運動を実施するとともに、こどもを対象とする各種事業の周知に努める。こども110番支援事業について、企業への協力要請を行う。また、周知看板の劣化状況の確認等を実施する。放課後子ども教室を含めた、地域学校協働活動の推進に努める。八街北小学校の学校運営協議会の円滑な運営と課題の洗い出しを進めるとともに、次年度全校導入に向けた周知、視察、制度説明に積極的に取り組む。			
事務事業の今後の方向性	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了			
	学校・家庭・地域が連携した地域とともにある学校づくり推進支援事業の充実。(学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的な取り組み)こども110番の家協力家庭や企業を拡充することにより、安全で安心なまちづくりの推進を図る。たけのこの里の維持管理では、職員による作業が増大し、効率性を欠いている。市としての活用方法を検討する必要がある。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名		文化財保護費					部 局		教育部	
							課等・班		社会教育課・文化財係	
							電話番号		443-1464	内線 2386
							E-mail		shakyo@city.yachimata.lg.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	文化財の保護・継承							
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	文化財保護意識啓発活動・指定文化財の拡充		
	実施方法	■ 直接実施 ■ 業務委託 ■ 補助金交付 ■ 負担金 ■ その他 (文化財ボランティアとの協働事業)					実施根拠	文化財保護法 千葉県文化財保護条例 八街市文化財保護に関する条例 外		
	直接の対象者 (〜に対して)	①市民、土木工事等を行う者、文化財 ②市指定文化財所有者・管理者・保持者					最終的な受益者	市民		
事業目的 (〜という状態にするために)	市民文化向上・発展のため、文化財の保護・活用・継承を図る。									
具体的な事業内容 (〜を行う)	○指定文化財等の指定・管理・活用 ○埋蔵文化財の取扱い(照会・発掘調査等) ○各種文化財の保護 ○市指定無形民俗文化財保持者への支援 ○文化財ボランティアの育成及び活動支援 ○市民へ郷土の歴史・文化を学ぶ機会の提供									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	○指定文化財等の指定・管理・活用 ○文化財ボランティアの育成及び活動支援 ・指定文化財(史跡・記念物)に関する管理等に重点を置くよう要望がある。 ・文化財ボランティアを積極的に活用するよう要望がある。							
	Do 事務事業の実施									
③ 実績・成果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)			
	事業の実績	出前講座の実施	回	2	18	26	30			
		文化財保護周知用立看板年間設置数	基	6	6	1	1			
		埋蔵文化財の取扱い(確認等)	件	205	229	206				
	事業の効果	出前講座の年間受講者数	人	60	405	626	700			
		文化財保護周知用立看板の総設置数	基	80	80	80	81			
各種指定文化財の保存・整備活動数		回	21	15	16	20				
事業効果に関する外部要因	・埋蔵文化財の発掘調査等は、開発等の事業地と遺跡の分布との位置関係に依存するため、照会・確認件数と調査件数の増減は必ずしも連動するものではないが、数年来、開発の事業規模等は拡大傾向にあり、それに伴い発掘調査の件数・規模も増加している。 ・出前講座は、R4年度から社会的に屋外活動についての自粛が緩和傾向になったことに加え、H28以前のように郷土資料館と協働で実施する形に戻したことにより、講師となる職員をそれぞれ補充できるようになったことから、実施回数並びに受講者数が増加し、R5には実施回数・受講者数ともに大幅増となった。									
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	①複数年度にわたり整備等を進めてきた文化財について、その調査成果に基づき「御成街道跡(風景谷の陰)」「こえっばの弁天跡」「こえっばの弁天の下総型板碑」の3件を市指定文化財へ指定(附:1件、新規:2件)することができた。 ②R5年度は、御成街道跡の文化財指定に合わせて「御成街道跡(風景谷の陰)」の文化財周知用立看板を作成・設置したが、新旧取替のため総数の変更はない。 ③埋蔵文化財の取扱い等について、土木工事等を実施する事業者に対し適切な指示・協議を行い、円滑に事業を推進している。市直営の発掘調査を要する事業数・規模の拡大へ対応するため、調査補助員を確保するとともに、調査用重機の活用実態に合わせて賃借料から委託料へ移行する等、体制を整えながら調査を実施した。									
④ 事業コスト	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	3,835	4,528	2,844	2,881			
	決算額		千円	3,548	4,490	2,464				
		特定・その他財源()	千円	1,250	1,250					
		一般財源	千円	2,298	3,240	2,464				
5年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		報酬	46	需用費	137	負担金及び補助金 72				
		報償費	55	委託料	2,145					
		旅費	0	役務費	9					

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由	二次評価		
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	法・条例に基づく事務・調査の他、行政のみが実施可能な業務が大半である。また、郷土の歴史を知り、文化財を保護することは、国民の文化の向上・発展のために必要不可欠であるため業務の必要性は高い。	A		
	市の関与は妥当ですか	a	文化財の規模等を勘案しながら実施しており、埋蔵文化財保護事業等、法・条例に基づく事業に関しては教育委員会が実施すべきものと規定されていることから、市の関与は法的にも妥当なものである。また、大規模な事業に対しては国庫補助を活用しながら複数年度で段階的に実施するなど、財政状況を加味しながら対応している。			
有効性	期待された効果は得られていますか	a	国庫補助金等を活用した史跡整備事業において、十分な調査成果等を上げ、報告書を刊行した。また、埋蔵文化財行政等、法・条例に基づく事業については滞りなく推進している。文化財の保存・活用事業においても、上位施策である市民文化の継承に寄与している。	A		
効率性	事業の効率性を高められますか	b	過年度は、国・県の補助金(補助率62.5%)を活用しながら、コストや期間の圧縮を図りながら実施してきたが、R5は補助対象経費が国庫補助の対象額を下回ったことから補助金等の活用はできなかった。	B		
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし </td> <td>多くの業務が市・県・国民の利益に繋がるものであり、公平性は極めて高い。また、埋蔵文化財行政においても原因者に対して、現場の環境整備・現状復帰・調査費用等、応分の負担をお願いしている。</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	多くの業務が市・県・国民の利益に繋がるものであり、公平性は極めて高い。また、埋蔵文化財行政においても原因者に対して、現場の環境整備・現状復帰・調査費用等、応分の負担をお願いしている。	A
<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	多くの業務が市・県・国民の利益に繋がるものであり、公平性は極めて高い。また、埋蔵文化財行政においても原因者に対して、現場の環境整備・現状復帰・調査費用等、応分の負担をお願いしている。					
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	文化財の保存・活用及び法・条例に基づく事務・調査については、予算規模を考慮しながら実施している。他方、市民ボランティアとの協働事業等については、新型コロナウイルス流行により、従前のような実施は困難な状況であったが、感染対策を講じながら事業を徐々に再開している。	A		
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1 A 評価者 2 A		

Action 今後の事務事業の方向

6年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> 指定文化財である「小間子牧野馬捕込跡」についても、史跡整備としてオカメササの植樹等による崩落防止策を6ヶ年計画で実施していく予定である。 被災し、取り壊された郷土資料館を新たに設置するため、教育委員会内で協議を進めながら、今後の郷土資料館の概要及び整備内容について方向性を示す。
事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<ul style="list-style-type: none"> 史跡保護を目的とした発掘調査・整備等を実施しながら、指定文化財の拡充を図る。併せて、指定後の整備計画についても進める。 埋蔵文化財の取扱い等については法・条例に基づいて進めており、現在の体制・対応を維持できるよう、事業者等へ理解と協力を求めている。また、報告書についても5年毎の定期的な刊行を継続して遂行する。 中長期的な指定文化財等の整備計画を立案し、財政状況等を鑑みながら各種文化財の整備を推進する。 文化財に対する市民の理解・認識を深めるために、文化財周知用立看板や各種広報を活用しながら周知を進めるとともに、新型コロナウイルス収束後には各種出前講座を進めながら、文化財ボランティア等を活用した官民協働での保護意識・体制づくりを推進する。

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
① 事務事業の概要	事務事業名				中央公民館管理運営費			所管課等	部 局	教育部	
	当該事業が該当する個別計画等				基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			課等・班	中央公民館・管理事業係	
	(八街市総合計画) 2015				施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街			電話番号	443-3225 内線	
					具体的施策	社会教育活動の推進			E-mail	c_kominkan@city.yachimata.lg.jp	
					実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	中央公民館の学習環境整備
	実施方法				<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠	社会教育法 八街市公民館の設置及び管理に関する条例	
	直接の対象者 (〜に対して)				市民				最終的な受益者	市民	
	事業目的 (〜という状態にするために)				公民館は、地域の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。						
	具体的な事業内容 (〜を行う)				学術及び文化に関する各種講座、イベント事業等の開催。 公民館運営審議会において事業の企画実施等につき調査審議。						
	②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目	施設の老朽化が著しく、市民から備品等の整備要望が出ている。						
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分			単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)			
	事業の実績	1	学術及び文化に関する各種講座の開催	回	4(動画)	15(5講座動画含)	19(2講座動画含)	20(2講座動画含)			
		2	こうみんかん祭	回	0	0	1	1			
		3	ひまわり絵画展	回	0	1	1	1			
	事業の効果	1	主催事業参加人数(延べ人数)	人	3,356(再生数)	5,492(5,076回再生数含)	2,418(1,395回再生数含)	2,000(500回再生数含)			
		2	来館者数	人	中止	中止	3,647	2,000			
		3	出展者数	人	中止	893	769	800			
	事業効果に関する外部要因		令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し、従来の公民館事業を再開することができた。 生きがい短期大学が4年ぶりに通常の開催、こうみんかん祭が5年ぶりに開催することができた。								
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		各種講座の開催により、受講生同士が「つどい」「まなび」「むすび」あうことができ、社会教育活動の推進という施策に有効な手段となった。 単なる知識学習だけでなく、参加者間のコミュニケーションや人間関係を深めることもできた。								
	④ 事業コスト	区分			単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)		
(最終)予算額			千円	17,394	23,895	20,676	21,119				
決算額					千円	14,469	19,707	19,037			
		特定・その他財源(使用料)				千円	217	717	1,436		
一般財源			千円	14,252	18,990	17,601					
5年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			需用費	7,188	備品購入費	342					
			委託料	9,159							
			使用料及び賃借料	1,206							

Check 事務事業の評価							
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市内唯一の公民館として実際の生活に即する各種事業を行い、日常生活に密着した総合的な社会教育施設として必要不可欠である。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	社会教育法で公民館の目的・事業が示されており、実際生活に即する教育、学術、文化に関する各種事業を市として行うことは妥当である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	すべての市民を対象としているため効果はあると思われる。各種講座時のアンケート結果では、受講生の満足度は高い。YouTubeによる講座配信や夜間学習講座を開設し、潜在利用者の確保に繋がるように内容を工夫し実施。		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	各種研修会への参加や社会教育主事の配置により、職員の専門性を高めて、事業の効率性を高めていくことができる。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	公民館の運営に関する事業計画は公民館運営審議会の意見を聞いて教育委員会が決定している。また、受講者から材料に係る経費は徴収し、受益者負担としているため適切である。	A	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	YouTubeによる講座配信や夜間学習講座を開設し、潜在利用者の確保に繋がるよう内容を工夫し実施。これからも学びを通じた住民相互の出会いや交流・連携を促進する。コロナ禍により、公民館で活動する社会教育関係団体が減少傾向にあるので、主催講座の開催などにより、団体育成にも力を入れていきたい。		A	
外部評価							
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい	評価者 1	A		
				評価者 2	A		
Action 今後の事務事業の方向							
⑥	6年度における取組のPRと方向性	公共施設予約システムによる利用者の利便性向上。(スマートフォン等の登録操作を苦手とする方にも、窓口にて職員が操作方法のご案内) 団体育成及び受講生同士の交流機会を提供するため、一つの学習講座の回数を増やす等して企画。市民からの要望や講座時のアンケート結果・社会情勢等を考慮しながら次年度の各種事業を計画し、公民館運営審議会の審議により、多くの市民が参加できるような事業展開を行っていく。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
		生涯学習活動の場を提供し、教育・文化活動を展開するのは公民館の重要な役割である。今後も、中央公民館・図書館・郷土資料館の在り方基本構想を踏まえ、研修会等への積極的な参加により職員の専門性・資質の向上を図り、市民ニーズや時代にあった主催事業を展開するとともに、公民館が地域づくりの拠点となるような事業の展開を図ります。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
① 事務事業の概要	事務事業名	中央公民館整備事業費						所管課等	部 局	教育部		
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班	中央公民館・管理事業係		
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						電話番号	443-3225	内線	
		具体的施策	社会教育活動の推進						E-mail	c_kominkan@city.yachimata.lg.jp		
	実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	中央公民館整備事業					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	社会教育法 八街市公民館の設置及び管理に関する条例			
	直接の対象者 (～に対して)	市民						最終的な受益者	市民			
事業目的 (～という状態にするために)	社会教育・生涯学習の拠点として重要な役割を果たしている中央公民館を、市民が安全で安心して利用できるようにするために施設の計画的な修繕及び改修を行う。											
具体的な事業内容 (～を行う)	・中棟・南棟・外灯等照明設備改修工事監理業務 ・中棟・南棟・外灯等照明設備改修工事 ・音楽室天井改修工事 ・電灯分電盤改修工事 ・調理室ガスオープン等交換工事											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	施設の老朽化が著しく、市民から施設の改修整備要望が出ている。									
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
	事業の実績	1	設計監理業務等	件	0	2	1	1				
		2	施設等改修工事	件	2	3	4	1				
		3										
	事業の効果	1	設計監理業務等	千円	0	3,075	1,870	3,663				
		2	施設等改修工事	千円	9,515	26,345	38,550	4,190				
		3										
4												
事業効果に関する外部要因		令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し、従来の公民館事業を再開することができた。										
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		工事に伴う事務手続きを迅速に行い、利用者・市行事にできる限り影響が少ない期間で工事を完成することができた。										
④ 事業コスト	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	9,845	30,020	42,492	7,853					
	決算額			千円	9,515	29,420	40,420					
		特定・その他財源(使用料)		千円	6,369	25,700	35,800					
		一般財源		千円	3,146	3,720	4,620					
5年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			委託料	1,870								
			工事請負費	38,550								

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市内唯一の公民館として市民の生活文化振興上、必要不可欠である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	社会教育法で公民館を設置し、市民への生涯学習の場を提供し、社会教育事業を行う団体を支援することが規定されている。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	公民館は、市民の生活文化振興上、必要不可欠であり施設の早期改修・計画的な改修は最も有効な手段である。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	施設の老朽化は進んでいるが、計画的に施設を改修することにより事業の効率性を高めることができる。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	整備事業については、その効果を考慮しなければならず、コスト削減は難しい状況にあるが、老朽化した施設補修に関し緊急性の高いものから計画的に実施している。	A
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	中央公民館は、開館から44年(昭和54年11月)余り経過し、施設改修費等、今後数年間は多大な財源が必要となる。また、公民館にかわる文化施設が市内に無いことから、改修に伴う施設の休館等で市民の文化活動にも影響が出る恐れがある。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	6年度における取組のPRと方向性	主な工事内容は、スロープ設置工事及び大会議室天井等改修工事設計業務を実施。市民が公民館を安全に安心して利用できる環境整備とサービスの提供を確保し、居心地の良い、活気ある施設づくりに向けた取組を進めます。				
	事務事業の今後の方向性	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		開館から44年余り経過し施設や設備の老朽化が著しいことから、八街市教育施設長寿命化計画・中央公民館・図書館・郷土資料館の在り方基本構想・八街市公共施設等総合管理計画を踏まえ、計画的な施設整備を図ります。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名		図書館管理運営費(施設の維持管理等)						所管課等	部 局	教育部
								課等・班	図書館・管理係	
								電話番号	444-4946	内線
								E-mail	toshokan@city.yachimata.lg.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	社会教育活動の推進							
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	図書館機能の充実		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	図書館法・八街市立図書館設置条例 八街市立図書館の管理及び運営に関する規則	
	直接の対象者(〜に対して)	市民及び市内在勤・在学者						最終的な受益者	市民及び市内在勤・在学者	
事業目的(〜という状態にするために)	市民が利用しやすい図書館としての環境整備・維持管理を行う。									
具体的な事業内容(〜を行う)	・契約事務：清掃、警備、自動ドア保守点検、小荷物用昇降機保守点検等の委託業務など、契約事務を行う。 ・会計処理：備品購入、機器の賃借、複合機、トイレ洗浄・静菌システムの賃借、書誌データ使用料などの会計処理を行う。 ・施設、設備等の簡易な修繕、維持管理を行う。 ・図書館協議会の開催。 ・統計調査の回答を行う。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	「開館時間の延長」「自習できるスペースの確保」「トイレの改修」「エレベータの設置」などの要望が多い。							
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)			
	事業の実績	1	各種業務委託件数	件	9	10	11	10		
		2	各機器等の賃借・使用件数	件	7	8	8	8		
		3	施設、設備の修繕件数	件	4	7	6	4		
		4	図書館協議会	回	2	2	3	2		
		5	機材教材の貸出件数	件	-	184	318	320		
	事業の効果	安心・安全な読書環境を維持することができた。								
施設・設備の老朽化によるサービスの低下を修繕により回復した。必要とされる機材教材を関係団体に提供することができた。										
事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析(達成できたこと)		施設・設備の修繕を実施し、安心・安全な読書環境を早急に整えることにより、利用者に対して快適なサービスを提供することができた。また、定期契約事務などを計画的に行い、事業をすすめることができた。								
④ 事業コスト	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	28,942	28,277	26,626	25,583			
	決算額			千円	26,869	24,891	25,863			
		特定・その他財源(交付金)	千円	120	0	0				
	一般財源		千円	26,749	24,891	25,863				
5年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費	8,208							
		委託料	5,661							
		使用料及び賃借料	11,752							

Check 事務事業の評価							
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	快適な読書環境の整備、維持、継続に努めるとともに、すべての市民が等しく図書館サービスを受けられるよう生涯学習施設としての機能を求められている。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	市が直接関与するよう法律や条例で定められた公共施設であり妥当である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	図書館運営、管理について、概ね期待通りの成果を得られている。		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	限られた事業費の中で最大限の成果を得るために、財源の充当等を適切に行い、施設の維持管理に努めた。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	公平性に問題はないが、公の財産に係る経費の適切な負担の在り方の観点から、サービスを受ける者に一定の負担を求めている。今後も、社会情勢を鑑みながら対価不徴収の原則を維持しつつ、一定の場合に受益者の負担を求めることについて、その適否を適宜検討する必要がある。	A	
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	生涯学習の場として、安心・安全な環境のもと、利用者の視点に立ったサービスを提供した。		A	
外部評価							
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A		
				評価者 2	A		
Action 今後の事務事業の方向							
⑥	6年度における取組のPRと方向性	回復しつつある利用状況を念頭に置いて、生涯学習施設として、利用者が安心してサービスを利用できる読書環境を整備する。市民からの要望に応えられるよう、施設・環境に関し、調査・研究、また、財源の確保に努める。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
		市民が安心、安全で快適に読書ができる環境を整備し維持に努める。すべての市民が等しく図書館サービスを受けられるよう生涯学習施設としての機能の充実を図ってきたい。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名		図書館管理運営費(資料収集、読書の普及、利用促進)						部 局		教育部			
当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班		図書館・奉仕係	
		施策の大綱		五の街 めざまします! 心の豊かさを感じる街						電話番号		444-4946 内線	
		具体的施策		社会教育活動の推進						E-mail		toshokan@city.yachimata.lg.jp	
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠		図書館法・八街市立図書館設置条例			
										八街市立図書館の管理及び運営に関する規則			
直接の対象者(〜に対して)		市民及び市内在勤・在学者						最終的な受益者		市民及び市内在勤在学者			
事業目的(〜という状態にするために)		地域の情報拠点として全ての市民が、図書館サービスを楽しみ、必要な資料や情報入手できるサービスの展開により、市民の情報リテラシーの向上と情報格差の是正を図る。また、子どもに対しては読書習慣の習得のため子どもの読書活動推進計画に基づき、年齢に応じた子どもの読書環境(人的環境も含む)の整備を図る。											
具体的な事業内容(〜を行う)		<ul style="list-style-type: none"> 市民が自律的に判断、行動するために必要とする資料の計画的な収集を行うとともに、市民一人一人に対応した適切な資料提供を行う。 専門職である司書が参考図書やデータベース、インターネット上の情報検索を用いて必要とされる資料を効率的に入手し市民の調査研究を援助するレファレンスサービスを行う。 子どもの読書習慣習得のため、図書館内外でのおはなし会や保護者への働きかけを行う事業の充実とさらなる図書館利用の促進のため映画会等、集会事業を実施する。 図書館に来館しにくい地域の市民や高齢者、子どもなどの図書館利用に支障がある方のために移動図書館事業や電子図書館サービスを行う。 心身に障がいがある方へのサビエ図書館を活用した郵送サービスや宅配、対面朗読も要請に応じ実施する。 学校、地域への読書活動を支援するため、学級文庫サービス、団体貸出を行う。また、派遣要請に応じて団体の事業に司書を派遣する。 											
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目		令和5年度に実施した利用者満足度アンケートでは、「新刊書や専門書の充実」、「開館時間の延長」についての要望が高く、「自習できるスペースの確保」、「電子図書館サービスの充実」についての要望もやや高い傾向となっている。									
Do 事務事業の実施													
		区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
事業の実績		1	図書購入冊数	冊	5,654	5,226	5,086	5,100					
		2	おはなし会の開催数	回	41	61	66	66					
		3	講座、映画会の開催数	回	90	101	104	104					
		4	電子書籍の購入数	冊	1,136	371	301	310					
事業の効果		1	図書貸出冊数	冊	222,587	233,917	234,012	245,713					
		2	おはなし会の参加者数	人	217	395	510	536					
		3	講座、映画会の参加者数	人	240	541	737	774					
		4	司書派遣事業参加者数	人	787	1,204	1,121	1,177					
		5	図書館ホームページの閲覧数	回	71,410	131,488	121,446	127,518					
事業効果に関する外部要因		新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症になったことから、利用者の感染症に対する意識が変わり図書館を利用する機会が増えたと推測する。											
事業効果の総合分析(達成できたこと)		上記外部要因により、おはなし会の参加数、講座、映画会の参加者数については4年度実績及び令和5年度目標を上回ることができた。											
				単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
(最終)予算額		千円			12,508	12,803	12,776	12,840					
決算額		千円			12,380	12,686	12,727						
		特定・その他財源(寄付金)		千円	3,333	4,785	3,513						
		千円			9,047	7,901	9,214						
5年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費		1,283	備品購入費		9,000						
		役務費		859									
		使用料及び賃借料		1,540									

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	図書館は、市民の読書・情報・学習の拠点として、誰もが気軽に利用でき、市民の暮らしに役立つように、多様なサービスを展開しており、市民からのニーズは高い。また、社会情勢により物価が高騰しており、市民の経済状況を考慮するとよりニーズは高くなっていくものと考えられる。		A
		市の関与は妥当ですか	a	図書館は市民の誰もが利用でき、生涯学習を支える社会教育施設であり、今後さらに広がる市民の情報格差の是正や高齢者を中心とした交通弱者を含め、図書館利用に支障のある人へのサービスを他の部署と連携しながら模索するなど、市の関与は妥当であり、必要である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	貸出冊数、映画会やおはなし会などの参加者数に関しては前年度を上回り、概ね期待通りの効果が得られている。また、幼稚園や保育園や小学校と連携した施設見学では多くの子どもたちが見学に訪れ、未来の利用者を育て、さらなる利用へと繋がる可能性がある。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	経費の節減に努めるとともに、効率的な予算執行を行っている。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない。(図書館法第17条)	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	少子化が進むなか、児童生徒の読書習慣の形成に寄与するため、第2次子どもの読書活動推進計画に基づき読書環境の整備に努めたい。また、図書館に来館しにくい地域の市民や高齢者、子どもなどの図書館利用に支障がある方のための移動図書館車更新や電子図書館サービスの拡充がひきつづき求められる。		A
外部評価						
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない		評価者 1	A
			B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない		評価者 2	A
⑥						
6年度における取組のPRと方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数、貸出冊数の増を人事評価の所属部門の年度課題としてあげられているので5%増を目標に事業に取り組みたい。 ・第2次子どもの読書活動推進計画に基づき事業を行う。 ・宝くじ補助金を活用して新移動図書館車導入を目指す。 ・市と図書館のSNSやホームページを有効に活用するとともに、やちまた配信メールサービス、広報やちまた等を活用し可能な限り発信回数を増やし、きめ細かいPRを効果的に行い図書館及び移動図書館の利用促進に努めたい。 				
事務事業の今後の方向性		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		<ul style="list-style-type: none"> ・図書館は、市民の知る権利を保障する重要な社会的基盤として位置づけられており重要な施設である。 ・第2次子どもの読書活動推進計画を基に事業を実施し、子どもたちの読書環境を整備する。 ・図書館に来館しにくい地域の市民や高齢者、子どもなどの図書館利用に支障がある方のための移動図書館車更新や電子図書館サービスの拡充を行ってゆく。 ・本と人をつなぐことはもとより、講座や主催事業を通し人と人を繋げ読書推進活動に関心のある市民とともに市全体の読書環境の向上と市民が中心となり集える生涯学習施設となるよう努めたい。 				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		図書館整備事業費(明許繰越分)						所管課等	部 局	教育部	
									課等・班	図書館・管理係	
									電話番号	444-4946 内線	
									E-mail	toshokan@city.yachimata.lg.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	社会教育活動の推進								
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	図書館機能の充実			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	図書館法・八街市立図書館設置条例 八街市立図書館の管理及び運営に関する規則		
		直接の対象者(〜に対して)	市民及び市内在勤・在学者					最終的な受益者	市民及び市内在勤・在学者		
	事業目的(〜という状態にするために)	生涯学習を支える拠点として重要な社会教育施設である図書館を、市民が安全で安心して利用できるようにするために施設の計画的な修繕及び改修を行う。									
	具体的な事業内容(〜を行う)	・図書館ハロン消火設備更新工事									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
	老朽化した施設への改善要望(トイレの洋式化)や、エレベーターの設置(バリアフリー化)について意見が寄せられている。										
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)				
	事業の実績	1	工事設計業務	件	1	0	0	0			
		2	設計監理業務	件	1	0	0	0			
		3	施設等改修工事	件	2	3	1	0			
	事業の効果	1	工事設計業務	千円	2,035	0	0	0			
		2	設計監理業務	千円	825	0	0	0			
		3	施設等改修工事	千円	21,164	27,629	17,710	0			
		4									
	事業効果に関する外部要因										
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		図書館ハロン消火設備更新工事は、資材の調達が困難であったため当初工期内では完成できなかったが、令和5年度内には完了し、正常に設置することができた。								
④ 事業コスト	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	24,123	47,690	19,580	0				
	決算額		千円	24,024	27,629	17,710					
		特定・その他財源(市債ほか)	千円	20,700	23,745	13,200					
		一般財源	千円	3,324	3,884	4,510					
5年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		工事請負費 17,710									

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	図書館は、市民の知る権利を保障する重要な社会的基盤として生涯学習を推進するうえで必要不可欠な施設である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	現代社会は知識基盤社会であり、市民の課題解決を支える拠点としての図書館の役割は重要性を増しており、サービスを提供するための施設を市が維持管理することは妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	老朽化した施設の早期改善・計画的な改修は最も有効な手段であり、概ね期待通りの成果を得られている。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	総合計画や長寿命化計画等の改修計画を元に事業をすすめることにより、効率性を高めることができている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	計画的に改修を進めているが、突発的な修繕工事が必要になるケースが増え、費用が増加傾向にある。調達には一般競争入札を基本としてコストの削減を図っている。	A
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	令和5年度は図書館ハロン消火設備更新工事を行った。関係各課や工事業者との調整を行い、事業を完了することができた。老朽化による修繕箇所が増加は市全体に当てはまることであり、修繕の優先順位、予算の確保等関係各所との調整が一層求められる。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	6年度における取組のPRと方向性	令和6年度については、予算配当がないため、実施する予定はありません。生涯学習施設として適切な読書環境と利用者が安心してサービスを利用できる環境を整備するための調査・研究をする。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		経年劣化に伴い修繕箇所が多くなっている。総合計画、長寿命化計画等各種計画に沿って改修工事を進め、快適に読書ができる環境を維持する。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
①事務事業の概要	事務事業名	郷土資料館管理運営費					所管課等	部局	教育部	
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					課等・班	郷土資料館	
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街					電話番号	443-1726	内線
		具体的施策	文化財の保護・継承					E-mail	kyodo@city.yachimata.lg.jp	
	実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	郷土資料館の充実			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律・社会教育法・博物館法・八街市郷土資料館設置条例		
	直接の対象者(〜に対して)	市民のみならず、来館される全ての方々					最終的な受益者	市民及び来館者		
	事業目的(〜という状態にするために)	市内外の方々から寄贈・寄託された各種資料や、発掘調査等で得られた考古資料を広く公開し、市民の郷土への関心やふるさと意識が深まること、そして調査・研究に寄与することを目的とする。								
	具体的な事業内容(〜を行う)	<ul style="list-style-type: none"> ・八街市郷土資料館の整備の方向性を検討する。 ・出前講座の開催 ・写真のデジタル化 ・収蔵資料(市内遺跡出土鉄製品及び銅版画原盤)の防錆保存処理業務 ・企画展の開催並びに市内小中学校への巡回展示の開催 ・YouTubeによる歴史講座の開催 								
	②市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	来館者等からの意見、「八街市郷土資料館の今後の在り方に関する要望書」 ・(資料館解体中)新たな建物が建てられるのか、是非とも新資料館を建設して欲しい。 ・収蔵資料は「市民の財産」であるからこそ、適正な施設で管理の下、市民にとって有益な活用が常に出来るように、一体化した施設が望ましい。 ・まちづくりの拠点、観光の拠点ともなり得る郷土資料館の将来性を考えたとき、新規に郷土資料館を建設することは重要になってくる。							
Do 事務事業の実施										
③実績・成果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)			
	事業の実績	企画展の開催数	回	1	0	1	0			
		郷土資料館の団体見学	回	0	2	1	0			
		出前講座	回	2	18	26	30			
	事業の効果	年間の来館者数	人	673	1,038	3,542	1,100			
		企画展開催中の来館者数	人	0	0	1,072	0			
		郷土資料館の団体見学者数	人	0	0	19	0			
	出前講座	人	71	405	658	700				
	事業効果に関する外部要因	令和5年度は千葉県誕生150周年事業として、中央公民館の壁面等を利用した「落花生の歴史」及び「八街の歴史」についての企画展を行った。また企画展の展示内容を利用し、イオン八街店及び市内各小中学校へパネルの巡回展示を行った。また県が開催した千葉県誕生150周年記念事業によるスタンプラリーに参加したことにより、来館者が増加した。令和4年度に実施した出前講座が好評であり、令和5年度はリピーターによる講座依頼が大幅な増加要因となった。								
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	郷土資料館は、現在中央公民館の一室で仮展示をしており、以前よりも展示面積が縮小した環境で何が出来るかを模索し、中央公民館の壁面を利用したパネルを使った企画展を行った。その他、中央公民館内で開催されたイベント(ふくしフェスタ・こうみんかん祭り)にも参加した。これらの活動により、郷土の歴史について興味関心を抱かせることに繋げ、来館者数増加となった。また新たな試みとして中央公民館と共催によるYouTube動画を配信し、その際、市内在住の中学生から声優を公募するなど、他課・市民団体・市民と連携する事業を積極的に行った。広く市民・一般に八街の歴史について知ってもらうツールを設けることができた。出前講座は、各講座の受講者のニーズに合わせた内容に変えていることが好評を得ており、講座数は増加傾向にある。								
④事業コスト	、		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)		
	(最終)予算額		千円	6,830	1,728	1,485	1,668	1,267		
	決算額			千円	6,806	1,716	1,446	1,651		
		特定・その他財源()	千円	4,100			180			
	一般財源	千円	2,706	1,716	1,446	1,471				
5年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			旅費	12	委託料	601	負担金	5		
			需用費	737	使用料及び賃借料	157				
			役務費	64	備品購入費	75				

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	若年層から高齢層まで幅広い年齢層から求められている施設である。令和5年度は昨年に引き続き、来館者数や資料館見学、出前講座の実績(申請)が増加傾向にあり、八街の歴史を知りたいというニーズの高さを示している。		A
		市の関与は妥当ですか	a	法・条例により指定された保護すべき指定文化財を保存・修復・展示している。また、正しい八街の歴史を多くの方々に理解してもらうため、調査・研究成果を常設展示及び企画展示、出前授業・講座に反映するなど、蓄積した情報を、広く一般に公開・提供していることから、市の関与は妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	受講生のニーズに合わせた出前講座を行うことで、資料館への来館に繋がり、知的好奇心の探求に寄与するなどの効果を得られている。その他にも、積極的な外部発信を行うことで、資料の閲覧や各種の取材対応など、八街の歴史の発信や研究の進展に効果をもたらしている。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	来館者・受講者・資料閲覧者に満足していただけるよう、各種の事業を連動・連関させられる様に常に工夫している。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	広く一般に無料で開放している施設であり、公平性は保たれている。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	令和元年以降行っていない企画展を開催し、また移動展を行うことで、郷土資料館利用の様々な面においてニーズとその効果が得られた。その一方で、郷土資料館自体の置かれている環境は、令和元年以降から進展していない。そもそも、郷土資料館の存在意義は、ニーズや数字によって左右されるものではなく、文化的資源の発見や保存、活用を通じて、その価値を普及させることで、地域社会の発展に寄与し、市民に心の豊かさをもたらすものであるため、無ければならない存在である。このことから、郷土資料館の整備を進めていくことが喫緊の課題である。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	6年度における取組のPRと方向性	令和6年度は、まず主催講座を2つ開催する。1つは、旧石器時代の石器がどのようにして作成されたのかを追体験しながら学習できる体験講座「ナイフ形石器を作ろう」を開催する。2つめには、郷土資料館で収蔵する古文書を活用し、読み解きながら八街の歴史を学べる「古文書講座(入門編)」を開催する。 その他、かつて八街に敷設されていた「軽便鉄道」の歴史をパネルで紹介するミニ企画展を開催する。また、昨年度に引き続き八街の歴史を紹介するYouTube動画を製作する。これらの事業を通じて、より多くの市民に郷土の歴史に興味を持ってもらえるよう、そして来館者数を増やせるように努める。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		市民により楽しみ喜んでいただけるような新たな事業を展開し、市民の「郷土資料館を求る声」を獲得しながら、郷土資料館の具体的な整備内容・方向性について、教育委員会内で検討していく。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名		市史編さん費					所管課等	部 局	教育部	
								課等・班	郷土資料館	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					電話番号	443-1726	内線
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街					E-mail	kvodo@city.yachimata.lg.jp	
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	文化財の保護・継承							
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	市史編さん事業		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	公文書館法・公文書等の管理に関する法律 八街市史編さん委員会条例		
	直接の対象者 (〜に対して)	市民及び八街の歴史に興味のある方々					最終的な受益者	市民、八街の歴史に興味のある方々		
事業目的 (〜という状態にするために)	八街市内ならびに市外に残されている八街に関する古文書など、全ての史・資料を調査研究し、八街の歴史を明らかにする。また、明らかになった八街の歴史を、常設・企画展示や『市史』などの刊行物を通じて、広く一般に公開し、後世に伝えていく。									
具体的な事業内容 (〜を行う)	<ul style="list-style-type: none"> ・八街市史編さん委員会 ・八街市史編さん委員会 近世専門部会(古文書の収集・整理・市史編さん) ・八街市史編さん委員会 近現代専門部会(古文書の収集・整理・市史編さん) ・八街市史関連の図書の刊行 									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	「八街市郷土資料館の今後の在り方に関する要望書」 展示業務について、令和3年4月から中央公民館の二階中会議室で仮展示を再開するとのことですが、これまでの資料館の約1/3の面積であり、資料館としての機能が十分に発揮される状況ではない。(中略)八街市民憲章に謳われている「郷土を愛し、文化のかけこみまち」を実現するためにも、早急な郷土資料館の建設を要望いたします。							
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)			
	事業の実績	市史編さん委員会開催日数		日	1	1	1	2		
		近世専門部会開催日数		日	1	1	1	1		
		近現代専門部会開催日数		日	1	1	1	1		
	事業の効果	市史編さん委員会審議件数		件	5	3	4	4		
		近世専門部会委員のべ活動日数		日	15	28	62	45		
近現代専門部会委員のべ活動日数		日	27	7	28	45				
事業効果に関する外部要因		令和5年度は新型コロナウイルスの影響も緩和され、活動日数が大幅に増加した。								
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		近世専門部会は、秋葉藤一家文書(目録データ作成)の整理作業を行った。 近現代専門部会は大関区有文書(封筒詰め・目録データ作成)の整理作業を行った。								
④ 事業コスト	区分		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)		
	(最終)予算額		千円	1,834	3,471	1,828	2,462	2,464		
	決算額			千円	1,609	3,444	1,631	2,300		
		特定・その他財源()		千円	4,100					
	一般財源		千円	2,706	3,444	1,631	2,300			
5年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			報酬	15	役務費	675				
			報償費	914	備品購入費	300				
			需要費	388	負担金	8				

Check 事務事業の評価						
	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	⑤ 事務事業の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	郷土資料館で収蔵する歴史資料は、市民からの寄贈や寄託の信託を受けて、保存管理を行っている。それら歴史資料について調査・研究を進め、八街の歴史解明が深まれば、市民に提供できる情報も増え、市民のニーズはより高まる。	A
市の関与は妥当ですか			a	市民のアイデンティティと直結する身近な歴史を明らかにし、公開する業務・事業であり、公平性と公益性が担保されなければならないため、市が直営で実施するのが妥当である。		
有効性		期待された効果は得られていますか	a	年々増えていく、収蔵資料を調査・研究することで、八街の歴史が深まり、それらを講座や刊行物に反映することができる。講座件数の増加や、刊行物の販売数などからも、市民編さん事業の効果は得られている。	A	
効率性		事業の効率性を高められますか	a	現在の人員体制を続ける以上、長期的な展望を持ち、永続的に作業を続ける必要がある。	A	
公平性		事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	事業の成果は八街市史として広く公開されるので、公平性に問題はない。	A
総括評価		総括及び事業実施上の課題	a	年々、市史編さんの対象となる調査研究が進展していることで、八街市に関する史実の発掘が広がっており、展示内容の充実や各種講座に活かすことができる。今後も継続的な取り組みが必要であるが、さらなる調査結果の深化と刊行スピードをあげるためには、全体的に予算不足である。		A
外部評価						
	評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
			評価者 2	A		
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	6年度における取組のPRと方向性	昨年度に引き続き、近世専門部会では、『八街市史 資料編 近世三』の刊行に向けて古文書の整理作業を進め、近現代専門部会では、『八街市史 資料編 近現代一』の刊行に向け調査研究を進める。事務局側においても各部会の『資料編』で必要となる市内所蔵資料について、悉皆調査を進め、古文書の収集・撮影・整理を進めていく。				
	事務事業の今後の方向性	<div style="text-align: center;">取り組み方向</div> <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		『八街市史 資料編』の刊行に必要な郷土資料館収蔵資料の内、整理目録化が進んでいない資料群があり、それらを整理するには現状よりも活動日数の増加が必要と考える。同時に、専門部会の整理作業や調査には、多い時で約10名近くの人員で作業を行うが、現状の郷土資料館スペースでは行うことが出来ない。現状、中央公民館や本庁を利用して対応しているが、事業を円滑に進めるためにも、郷土資料館の整備が求められる。加えて、将来的には「公文書等の管理に関する法律(公文書管理法)」に則り、重要な公文書等、歴史公文書の保存及び利用に関し、適切な措置を講ずる必要がある。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図つたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		ピーナッツ駅伝大会運営費						所管課等	部 局	教育部	
									課等・班	スポーツ振興課・振興係	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1465	内線
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	suposhin@city.vachimata.lg.jp	
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	生涯スポーツの推進								
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	スポーツイベントの開催			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	スポーツ基本法		
	直接の対象者 (〜に対して)	市民						最終的な受益者	市民		
事業目的 (〜という状態にするために)	冬季(耐寒)スポーツの一環として実施し、健康増進と体力の向上及びランニングについての関心を高める。走る楽しさや喜びと共に地域融和の発展を図る。										
具体的な事業内容 (〜を行う)	駅伝大会の実施。 ・一般の部・高校の部・中学男子の部・中学女子の部・女子の部・オープン(5区間、14、10km)										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)				
	事業の実績	ピーナッツ駅伝大会		回	0	1	1	0			
	事業の効果	ピーナッツ駅伝大会参加者数		人	0	162	247	0			
		ピーナッツ駅伝大会参加チーム		チーム	0	28	39	0			
	事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		冬季(耐寒)スポーツの一環として実施し、健康増進及び体力の向上とランニングについての関心を高め、地域融和の発展を図った。令和5年度において第67回大会となっている。									
④ 事業コスト	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	0	3,592	2,963	0				
	決算額			千円	0	3,143	2,409				
		特定・その他財源()		千円		2,347	1,762				
	一般財源		千円	0	796	647					
5年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			報償費	32	委託料	1,554					
			需用費	192	使用料及び賃借料	574					
			役務費	57							

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	b	生涯スポーツ推進に対し市民のニーズはあるもののコロナ感染症対策の時期を経て参加者の状況も減少傾向にある。		B			
		市の関与は妥当ですか	c	現在の事業は、交通規制を実施しておらずランナー等の安全性が確保できない状況であることから市の関与は厳しい。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	人口減少に伴い参加チームの減少傾向にあるため、有効性は乏しい。		B			
	効率性	事業の効率性を高められますか	c	毎年度、行事前後に関係団体等による会議を開催し、協議検討をしているが、安全面についての改善が難しい。		C			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	c	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	部門により体力面等を考慮し、団体を人数を調整しているため、体制等公平性に問題はないが、参加費については、同種事業と比較した場合、妥当性が懸念される。	C			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	c	近年の参加者減少やコース上の安全面の確保が困難なことから事業継続は難しい。		C			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	C				
				評価者 2	C				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	6年度における取組のPRと方向性	本大会につきましては、参加者の安全確保の課題解決が困難なことから令和6年度以降は開催しない。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		上記の理由により廃止							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名		学校開放推進費						所 管 課 等	部 局	教育部
									課等・班	スポーツ振興課・振興係
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
	具体的施策	生涯スポーツの推進								
	実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	運動を通じた健康づくりの支援			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	スポーツ基本法・社会教育法 八街市立小学校及び中学校の施設の開放に関する規則	
	直接の対象者(～に対して)	市民						最終的な受益者	市民	
事業目的(～という状態にするために)	八街市における社会体育の普及並びに幼児及び児童の安全な遊び場確保のために、学校の施設を学校教育に支障のない範囲で市民の利用に供する。									
具体的な事業内容(～を行う)	市内小中学校の校庭、運動場の一般開放を行い、施設の有効活用と市民の運動意識の高揚を図る。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実 績 ・ 成 果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)			
	事業の実績	学校施設開放(屋内運動場)	施設	16	16	16	16			
		学校施設開放(屋外運動場)	施設	13	13	13	13			
	事業の効果	学校開放利用者(屋内運動場)	人	29,878	56,530	113,620	125,000			
		学校開放利用者(屋外運動場)	人	5,497	12,272	32,613	36,000			
	事業効果に関する外部要因									
事業効果の総合分析(達成できたこと)		八街市における生涯スポーツの普及並びに幼児及び児童の安全な遊び場確保のために、学校の施設を学校教育に支障のない範囲で幼児、児童、生徒及び一般市民の利用に供し、市民の運動意識高揚を図った。また、プール開放については、施設の老朽化による危険箇所の指摘を受けていることや施設の維持管理費の節減のため、民間施設を利用したプール開放を実施した。								
④ 事 業 コ ス ト			単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	249	249	312	312			
	決算額	特定・その他財源()	千円	208	190	271				
		一般財源	千円	208	190	271				
5年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需要費	17							
		使用料及び賃借料	254							

Check 事務事業の評価							
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市民の生涯スポーツの普及並びに幼児・児童の安全な遊び場確保のために市民のニーズは高い。	A		
		市の関与は妥当ですか	a	市で管理する学校施設を有効利用するための開放であり、必要不可欠である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	市民の生涯スポーツに有効利用されており、現在飽和状態(待機あり)となっている。	A		
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	カギの長期貸出しを平成21年度から実施。	A		
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし 学校施設のスポーツ開放にあたっては、団体登録を行い、参加希望者がある場合、代表者を紹介(本人了解済の団体)するなどしている。また、プール開放については全市民を対象にしており、公平性は保たれている。	A		
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	現在、スポーツ開放については、飽和状態で待機待ちの状態であり、耐震工事による利用停止など団体の利用箇所に制限がされる。	A		
外部評価							
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A		
				評価者 2	A		
Action 今後の事務事業の方向							
⑥	6年度における取組のPRと方向性	遊び場開放について、学校だより等による広報を依頼。今後においてもPRに努める。体育館、武道場、校庭の開放については、登録制による利用となるため、HPを活用しPRに努める。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
		学校施設のスポーツ開放、遊び場開放は市民のスポーツの振興及び意識の高揚のためにも継続して実施していかなければならないが、スポーツ開放について、飽和状態となっており、今後も利用状況を把握・整理し、効率を図ることが必要である。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		保健体育総務費						部 局		教育部	
① 事務事業の概要		当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					
		施策の大綱		五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街							
		(八街市総合計画) 2015		具体的施策		生涯スポーツの推進					
		実施計画		開始	2020	終了	2024	主な計画事業		運動を通じた健康づくりの支援	
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠		八街市スポーツ推進審議会条例 八街市スポーツ推進委員に関する規則			
直接の対象者 (～に対して)		スポーツ関係者				最終的な受益者		市民			
事業目的 (～という状態にするために)		市のスポーツ推進を図るため、指導者の育成推進等									
具体的な事業内容 (～を行う)		・スポーツ推進審議会委員、スポーツ推進委員報酬 ・印旛郡市体育協会負担金支出等 ・スポーツ振興事業国内遠征激励費支出等									
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果											
		区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)			
事業の実績		スポーツ推進審議会会議		回	0	0	0	1			
		スポーツ推進委員会議		回	3	4	4	4			
		スポーツ推進委員活動		回	16	22	24	27			
事業の効果		スポーツ推進審議会会議		回	0	0	0	1			
		スポーツ推進委員活動		回	16	22	24	27			
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・本市スポーツ振興に係る基本的経費となっている。 ・スポーツ推進審議会は教育委員会の諮問に応じスポーツ推進の重要事項について、調査審議し、教育委員会へ建議している。 ・スポーツ推進委員については、各種大会等において、競技役員として活躍している。 また、ノルディック・ウォークをはじめとしたニュースポーツの推進や体験教室などの各種教室等で講師として活躍している。									
④ 事業コスト											
		区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)			
(最終)予算額				千円	1,909	3,212	1,977	1,977			
決算額				千円	1,482	2,885	1,533				
		特定・その他財源()		千円							
		一般財源		千円	1,482	2,885	1,533				
5年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		報酬		570	負担金及び補助金		674				
		需用費		225	公課費		25				
		役務費		39							

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市のスポーツ推進に対する市民のニーズは高くなっており、また、スポーツ推進の重要施策を調査審議・決定するスポーツ推進審議会会議、各行事等役員に関わるスポーツ推進委員会は、市民の生活に直接関係があり、スポーツ振興や健康づくり等のためにも必要である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	法に基づき市スポーツ推進の重要事項を審議、決定する機関であり不可欠である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	スポーツ推進委員会会議3回実施した。本市スポーツ推進に係る基本的経費となっている。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	スポーツ推進審議会会議については、必要時に招集し審議を行っている。会計年度任用職員を雇用・活用し業務を行っている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	スポーツ推進審議会会議等で決定された事項は、市のスポーツ推進、各行事の円滑な運営に繋がるもので、公平性に問題はない。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	市民のニーズに対応するため、スポーツ推進審議会会議への諮問を基本とし、業務を遂行していく。また、市民のニーズにあった健康づくり等、スポーツの推進、振興を遂行していく。		A
外部評価						
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい	評価者 1	A	
			評価者 2	A		
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	6年度における取組のPRと方向性	教育を取り巻く環境が激変する中、スポーツ推進審議会をはじめ、スポーツ推進委員等の各種団体等の意見を収集し、今後のスポーツの推進に役立てていく。また、現状を把握し、スポーツ推進委員等のマンパワーを活用し、本市のスポーツ推進を図っていく。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	スポーツ推進審議会は、市スポーツ推進の重要事項を審議・決定する機関であり、継続して実施していく必要がある。また、スポーツ推進委員によるニュースポーツの推進や運動を通じた健康づくりの支援等についても、さらに、現状を把握し、本市の一層のスポーツ推進を図っていくことが必要である。 また、令和6年度より郡市民体育大会運営費予算については、保健総務費予算に統合。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		体育振興費						部 局		教育部	
① 事務事業の概要		当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					
		施策の大綱		五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
		具体的な施策		生涯スポーツの推進							
		実施計画		開始	2020	終了	2024	主な計画事業		スポーツイベントの開催	
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠		スポーツ基本法 各種大会開催経費等			
直接の対象者(～に対して)		市民				最終的な受益者		市民			
事業目的(～という状態にするために)		各種スポーツ大会を開催し、市民の健康増進と相互の親睦を深める。									
具体的な事業内容(～を行う)		市民を対象とした各種スポーツ大会の開催 ・市民ゴルフ大会(5月)、スポーツレクリエーション祭(9月～翌年3月)、近隣中学校交流柔道大会(1月)、八街落花生マラソン大会(10月) 各種スポーツ団体への活動補助金の交付 ・スポーツ協会 ・スポーツ少年団 ・ママさんバレーボール連盟									
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果											
		区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)			
事業の実績		市民ゴルフ大会		回	0	0	1	1			
		市スポーツレクリエーション祭		回	0	2	3	3			
		少年野球教室、八街落花生マラソン大会		回	0	1	1	1			
事業の効果		市民ゴルフ大会		人	中止	中止	89	100			
		市スポーツレクリエーション祭(インディアカ、クラブゴルフ等)		人	中止	104	167	190			
		少年野球教室		人	中止	中止	中止	中止			
		八街落花生マラソン大会		人	延期	1,139	1,480	1,600			
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析(達成できたこと)		令和5年度においては、市民ゴルフ大会、スポーツレクリエーション祭、八街落花生マラソン大会(第3回)等を実施した。特に八街落花生マラソン大会については、今大会の実績を踏まえ事業の地元定着を図りたい。									
④ 事業コスト											
		区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)			
(最終)予算額				千円	3,676	7,688	11,322	15,176			
決算額				千円	2,601	7,181	10,870				
		特定・その他財源()		千円		2,922	3,954				
		一般財源		千円	2,601	4,259	6,916				
5年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報償費		6	委託料	1,685	負担金及び交付金	7,545			
		需用費		341	使用料及び賃借料	77					
		役務費		50	工事請負費	1,166					

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	本事業は、市民の生涯スポーツの推進への貢献が大きいため必要である。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	市主催事業として、妥当であると考えます。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	実施回数、参加人数の推移からも有効と考えられる。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	各事業前の関係団体等との打合せや実施後反省会等により翌年度の事業前に念入りに協議を行い、毎年実施につないでいる。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	市広報紙やホームページにより市全体に啓蒙を図っているため、公平性は保たれている。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	各事業実施前後、関係団体等との打合せ会議を実施し、前回の反省等協議を行い毎年実施している。今後、更に市民のニーズに応じていく。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	6年度における取組のPRと方向性	各関係機関及び団体との会議等の場や市広報紙・ホームページの活用によりPRに努める。また、各団体との信頼並びに協力体制の強化							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		本市のスポーツ振興、生涯スポーツの振興とスポーツを通しての健康づくりに必要不可欠であり、継続して実施していかなければならない。さらに現状を把握し、一層の活性化を図ることが必要である。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		郡市民体育大会運営費						所管課等	部 局	教育部	
									課等・班	スポーツ振興課・振興係	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1465	内線
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	suposhin@city.vachimata.lg.jp	
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	生涯スポーツの推進								
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	運動を通じた健康づくりの支援			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	スポーツ基本法		
	直接の対象者 (～に対して)	印旛郡市民						最終的な受益者	印旛郡市民		
事業目的 (～という状態にするために)	印旛郡市民へのスポーツの普及と健康増進を図り、地域スポーツの振興発展と青少年の健全育成を図る。										
具体的な事業内容 (～を行う)	印旛郡市8市町、印旛郡市各市町教育委員会及び印旛郡市体育協会の主催で、毎年開催されている。令和5年度八街市は、柔道(八街中武道場)と弓道(八街市スポーツプラザ)が会場となり開催。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等										
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)				
	事業の実績	印旛郡市民スポーツ大会		回	0	1	1	1			
	事業の効果	印旛郡市民スポーツ大会(八街市延べ参加者)		人	中止	218	245	270			
	事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析(達成できたこと)		印旛郡市民へのスポーツの普及と健康増進を図り地域スポーツの振興発展と青年の健全育成を図った。令和5年度で第74回の歴史がある。									
④ 事業コスト	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	0	61	61	0				
	決算額			千円	0	59	47				
		特定・その他財源()		千円							
	一般財源		千円	0	59	47					
5年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			需用費	23							
			備品購入費	24							

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市の教育行政に対する市民のニーズは高くなっており、生涯スポーツ振興についても同様である。印旛郡市全域より集まる印旛郡市最大のスポーツ行事となっている。		A
		市の関与は妥当ですか	a	印旛郡市の応分の負担として妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	令和3年度で第72回の歴史があり、参加者数からも成果がみられる。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	毎年度、行事前後に関係団体等による会議を開催し、協議検討を行い次年度の実施を行い、効率性を高めてきている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市体育協会各専門部等により、選考会等開催し推薦により、選手を決定している。公平性に問題はない。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	毎年度、前回の反省点を検証し次回の大会を実施し今日に至っている。今後、さらに印旛郡市民との振興を図っている。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	6年度における取組のPRと方向性	本事業の予算については、保健体育総務費と予算統合。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
上記の理由により予算統合						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		体育施設維持管理費						所管課等	部 局	教育部	
									課等・班	スポーツ振興課・振興係	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1465	内線
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	suposhin@city.vachimata.lg.jp	
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	生涯スポーツの推進								
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	スポーツ施設の充実			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	スポーツ基本法 八街市市営運動場の設置及び管理に関する条例		
	直接の対象者 (～に対して)	社会体育施設(市営運動場)						最終的な受益者	市民		
事業目的 (～という状態にするために)	市営運動場を維持管理し、安全に利用できるよう努め、市民の心身の健全な発達及び生涯スポーツの推進に寄与する。										
具体的な事業内容 (～を行う)	社会体育施設を維持管理し、安全に利用できるよう努める。 ・(市営運動場、ゲートボール場、グランドゴルフ場)										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)				
	事業の実績	グラウンド等光熱水費		千円	4,975	3,948	5,076	5,126			
		グラウンド等土地賃借料		千円	13,689	13,505	13,505	13,508			
		グラウンド等施設保守管理委託料		千円	7,933	7,372	7,925	7,930			
	事業の効果	社会体育施設利用状況		人	18,404	15,234	43,357	47,700			
		(中央、東部、西部、南部、北部グラウンド、榎戸サッカー場)									
社会体育施設使用料		千円	517	518	799	518					
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		社会体育施設を維持管理し、市民等が安全に利用できるよう努め、心身の健康と生涯スポーツの推進に寄与した。									
④ 事業コスト	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	28,992	27,117	28,052	29,945				
	決算額			千円	28,968	25,754	27,547				
		特定・その他財源()		千円		518	799				
		一般財源		千円		25,236	26,748				
5年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			需用費	5,707	使用料及び賃借料	13,504					
			役務費	284	原材料費	119					
			委託料	7,925	償還利子及び割引料	8					

Check 事務事業の評価					
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	社会体育施設管理の適正な維持管理は利用者の安全を保っている。	A
		市の関与は妥当ですか	a	社会体育施設の老朽化により、市の維持管理は不可欠である。	
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	市の社会体育施設であり、修繕等によりできる限り安全性を保持しているため有効である。	A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	保守など委託契約については、入札等により業者の選定を図ることにより効率的に維持管理している。	A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし 緊急性・安全性を考慮し、順位を決め実施することにより公平に実施している。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設管理等重要事項についてはスポーツ振興審議会会議に諮るなどして決定している。市民が安全に生涯スポーツを行っていただけるよう各施設の状況を把握、管理していかなければならない。	A
外部評価					
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1 A 評価者 2 A	
Action 今後の事務事業の方向					
⑥	6年度における取組のPRと方向性	安全管理及び施設の維持管理に努める。			
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 社会体育施設の維持管理は老朽化等により継続して実施していかなければならない。さらに状況を把握し、危険性及び緊急性から修繕等優先順位を決め、維持管理すると共に、コストのかかる物については、長期的に計画、要望していく必要がある。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		体育施設整備事業費						所管課等	部 局	教育部		
									課等・班	スポーツ振興課・振興係		
									電話番号	443-1465	内線	
									E-mail	suposhin@city.yachimata.lg.jp		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた									
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街									
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	生涯スポーツの推進									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	スポーツ施設の充実				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	スポーツ基本法 八街市市営運動場の設置及び管理に関する条例			
	直接の対象者(～に対して)	社会体育施設(市営運動場)						最終的な受益者	市民			
事業目的(～という状態にするために)	市営運動場を維持管理し、安全に利用できるよう努め、市民の心身の健全な発達及び生涯スポーツの推進に寄与する。											
具体的な事業内容(～を行う)	社会体育施設を維持管理し、安全に利用できるよう努める。											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
	事業の実績	工事請負件数	件	0	0	2						
		設計業務件数	件	0	0	1						
	事業の効果	施設設備の改修工事等の実施	千円	0	0	8,184						
		設計業務の実施	千円	0	0	492						
	事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析(達成できたこと)		市営運動場を維持管理し、安全に利用できるよう努め、市民の心身の健全な発達に寄与した。										
④ 事業コスト	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	0	0	11,541	0					
	決算額	特定・その他財源()	千円	0	0	8,677						
		一般財源	千円	0	0	3,177						
	5年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		委託料	493								
		工事請負費	8,184									

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設設備の老朽化により、安全に利用するため市民からの要望も多い。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	老朽化により、市の維持管理は不可欠である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	市の社会体育施設であり、修繕等によりできる限り安全性を保持しているため有効である。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	入札等により効率的に実施している。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	各施設が安全に利用できるように、公平に実施している。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	重要事項についてはスポーツ振興審議会会議に諮るなどして決定している。更に市民が安全に生涯スポーツを行っていただけるよう実施している。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	6年度における取組のPRと方向性	予算措置なし							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		社会体育施設(市営グラウンド)の老朽化により維持管理は継続して実施していかなければならない。さらに現状を把握し、危険性及び緊急性から工事等の優先順位を決め要求に努め、適正に維持管理すると共に、コストのかかる物については、長期的に計画・要望していく必要がある。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を因ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		スポーツプラザ管理運営費						所 管 課 等	部 局	教育部		
									課等・班	スポーツプラザ・管理係		
									電話番号	443-8003	内線	
									E-mail	sports_plaza@city.yachimata.lg.jp		
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた									
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街									
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	生涯スポーツの推進									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	スポーツ施設の充実				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	八街市スポーツプラザの設置及び管理に関する条例			
	直接の対象者 (～に対して)	市民						最終的な受益者	市民			
	事業目的 (～という状態にするために)	施設の維持管理を適正に行い、利用者が安全にスポーツを楽しむ場を提供する。主として当施設の運営及び設備の維持・管理を適切に行うことによりスポーツ施設としての水準を維持することを目的とする。										
	具体的な事業内容 (～を行う)	スポーツプラザ各種施設(体育館・テニスコート等)の運営及び清掃・警備・夜間の施設管理などの業務委託並びに老朽箇所の修繕を行った。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③実績・成果	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
	事業の実績	委託関係	千円	10,722	13,277	14,103	14,935					
		修繕関係	千円	788	988	1,441	723					
	事業の効果	施設の安全性を維持した										
		施設の老朽化によるサービス水準の低下を防止した										
		施設利用件数	件	6,042	4,480	7,377	7,800					
施設利用人数		人	76,340	53,536	101,393	119,000						
事業効果に関する外部要因												
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		おおむねサービス提供はできている。しかしながら、経年劣化による大規模な修繕箇所が増加しており、将来的なサービス提供の低下は避けられないと考える。また、卓球台やバスケットゴール・トレーニング器具などの備品や、バレーボール・バドミントン等のネットなどの消耗品も劣化が著しいため、随時入替が必要である。										
④事業コスト	区分		単位	3年度	4年度	5年度	6年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	22,092	27,219	28,788	27,539					
	決算額		千円	21,341	24,264	28,269						
		特定・その他財源()	千円	4,265	4,571	5,422						
		一般財源	千円	17,076	19,693	22,847						
5年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		需用費	8,276	使用料及び賃借料	3,570							
		役務費	552	工事請負費	1,210							
		委託料	14,103	原材料費	400							

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市内唯一の複合運動施設であり、個人・団体からの問合せや予約も多いことから、市民からのニーズは高い。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	施設の規模や公共性の観点から市の関与は妥当である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	コロナ禍を経て、利用件数・人数ともに増加しており、概ね期待された効果は得られている。		B			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	現在の状況を鑑みると、効率向上・コスト低減の余地はない。前述のとおり経年劣化が著しく、大規模修繕等が必須である。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	A				
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	スポーツ振興に寄与する施設として、効率的な施設の維持管理を実施している		A			
外部評価									
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい	評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	6年度における取組のPRと方向性	利用者が安心安全に社会体育を行うため、予算の範囲内で施設の維持管理及び修繕等を行い事故等が起こらないように努める。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		現在は部分的な改修に留まっているが、竣工後30年経過しているため大規模な修繕が必要であり、それにより将来的な維持管理費の抑制が図られる。 また、各種競技等に使用する備品関係においても、随時入替を行い、良好なサービス提供を図っていく。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	一般管理費						所管課等	部 局	教育部		
								課等・班	学校給食センター・管理係		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				電話番号	444-1181	内線		
	(八街市総合計画) 2015	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさをを感じる街				E-mail	kvushoku@city.yachimata.lg.jp			
		具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校給食の充実			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	八街市学校給食センター設置条例 八街市学校給食センター管理運営規則 八街市学校給食費徴収規則				
直接の対象者(〜に対して)	・幼稚園・小学校・中学校の園児・児童・生徒・保護者等					最終的な受益者	園児、児童、生徒、保護者等				
事業目的(〜という状態にするために)	・園児、児童、生徒等に安定した給食を供給し、給食費の公平な徴収を行う。										
具体的な事業内容(〜を行う)	・給食センター運営委員会の開催 ・給食事業に係る会計年度職員の雇用等 ・給食費管理システムの活用による賦課徴収事務 ・給食管理システムの活用による献立作成と栄養価の管理										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
	・八街市総合計画2015後期基本計画基礎調査報告書(中間報告)における、まちづくり活動団体アンケートにおいて幼児教育・学校教育の充実は最も要望が高い。										
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(目標)				
	事業の実績	1	給食費支払督促件数	人	14	11	6	10			
		2									
		3									
	事業の効果	1	学校給食費収納率	%	97.30	96.97	97.46	98.00%以上			
		2	生活習慣病予防検診事後指導者数	人	51	56	45	30			
		3									
		4									
	事業効果に関する外部要因	・徴収対策について、子育て支援課(児童手当)、学校教育課(就学援助)、社会福祉課(生活保護)及び各学校からの協力									
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	給食費収納率は、目標としていた98%に届かなかったが、どうにか例年と同程度(97%程度)の収納率を維持する事ができた。令和5年4月より、新規に第3子以降の学校給食費無償化制度を実施する。令和6年1月から3月までの期間は、学校給食費の全面無償化を実施する。									
④ 事業コスト	区分		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	5,855	4,844	5,457	13,343	5,886			
	決算額	特定・その他財源()	千円	5,401	4,586	5,172	12,717	-			
		一般財源	千円	1,055	30	29	13	-			
	令和5年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報酬	10	役員費	990	負担金補助及び交付金	22			
		旅費	3	委託料	9,789	償還金利子及び割引料	13				
		需用費	695	使用料及び賃借料	1,195						

Check 事務事業の評価							
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	・八街市総合計画2015後期基本計画基礎調査報告書(中間報告)における、まちづくり活動団体アンケートにおいて幼児教育・学校教育の充実は最も要望が高い。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	・学校給食法第4条において学校給食事業は義務教育諸学校の設置者の任務とされている。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	・学校給食摂取基準を、十分に満たすことが難しい傾向にある。		B	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	・第一・第二両調理場の一括民間委託を令和2年度8月より実施。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	給食費の未納解消による公平性の確保を図る。	A	
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	学校給食費の収納率は、今後も98%を目標に徴収強化を務める必要がある。学校給食費の第三子以降の無償化制度が実施されたことで、学校給食費の管理がさらに煩雑となった。令和6年度に運用開始となる学校給食費管理システムを活用し、学校給食費(賄材料費)に対する安全管理や適正運営に応じていく体制が必須である。		B	
外部評価							
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい	評価者 1	B		
				評価者 2	B		
Action 今後の事務事業の方向							
⑥	令和6年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の実績を踏まえ、令和6年度においても、給食費収納業務の円滑な運営に努める。 ・学校給食費の未納者も一定数いることから、負担の公平性も踏まえて、未納対策を行う。 ・学校給食費の第三子以降無償化制度により、多子世帯の子育て世帯に対する経済的負担の軽減をはかる。 ・食材料費高騰の影響を分析し、賄い材料費(学校給食費)の適性化を図る。 					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
		<ul style="list-style-type: none"> ・栄養価を満たす賄い材料費(学校給食費)の適性化を図る。 ・令和6年度に運用開始となる学校給食費管理システムとの調整を図り、煩雑する収納事務の簡素化と安全性を強化する。 					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
①事務事業の概要	事務事業名		調理場維持管理費					所管課等	部 局	教育部		
									課等・班	学校給食センター・管理係		
									電話番号	444-1181	内線	
									E-mail	kvushoku@city.yachimata.lg.jp		
	当該事業が該当する個別計画等		基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
	(八街市総合計画) 2015		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
			具体的施策	学校教育の充実								
			実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校給食の充実			
	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	学校給食法 八街市学校給食センター設置条例 八街市学校給食センター管理運営規則			
	直接の対象者 (〜に対して)		・学校給食を受ける児童、生徒等					最終的な受益者	児童、生徒、保護者等			
事業目的 (〜という状態にするために)		・給食の円滑かつ安定的な供給を図るために、給食センターの施設、設備等の維持管理を適切に行う。										
具体的な事業内容 (〜を行う)		・給食センターの施設、設備等の改修計画 ・破損箇所の早急な修繕対応 ・施設設備等の状況確認										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目									
Do 事務事業の実施												
③実績・成果	区分		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(目標)					
	事業の実績	1	維持管理対象設備・機器数	機	12	12	12	12				
		2										
		3										
	事業の効果	1	平均配食日数(小)	日	184	186	187	188				
		2	平均配食日数(中)	日	184	188	188	189				
		3	調理委託業者からの修理依頼件数	件	47	35	26	26				
		4										
	事業効果に関する外部要因		・施設の老朽化が著しく早急な改修が求められる状況ではあるが、工程管理(工期など)や予算の確保などの面から、改修可能な施設は限られてしまうため、修繕件数および費用は拡大する傾向にある。月に1度、現場主任者会議を実施し、調理器具の不具合や劣化備品の状況などの聞き取り、また、修繕計画や改修計画の報告や竣工の調整など、調理業務従事者等と積極的に意見交換を行っている。その結果、現場からの修繕依頼件数が前年度に比べ抑制できたと考えられる。									
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		・施設、設備等を適切に維持管理し、学校給食業務を円滑に運営することができた。									
④事業コスト	区分		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	31,115	56,748	52,982	58,424	45,128				
	決算額		千円	29,414	55,345	41,965	56,451	-				
		特定・その他財源()	千円	5,600	21,600	11,200	23,100	-				
		一般財源	千円	23,814	33,745	30,765	33,351	-				
	令和5年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費	5,973	使用料及び賃借料	139						
		役務費	478	工事請負費	38,349							
		委託料	11,512									

Check 事務事業の評価							
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	・学校給食業務を適切に管理・運営するためには、施設、設備等の維持管理が必要不可欠である。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	・学校給食法に基づき市が実施する事業であり、限られた予算の範囲で優先順位を定め対応している。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	・施設、設備等を適切に維持管理し、良好な状態に保ち安定的な給食の供給ができています。		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	・施設、設備等を適切に維持管理し、良好な状態に保つと同時にコスト面も考慮している。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	・給食の調理に要する費用(賄材料費は除く)は、全ての市の負担となっていることから公平性に問題はない。	A	
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	今後は、安全な給食の供給を維持するため、老朽化する施設や調理機器等の状態に注視しながら、給食センター再整備等の検討をすすめる必要がある。		A	
外部評価							
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
					評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向							
⑥	令和6年度における取組のPRと方向性	・給食センターの施設、設備等を適切に維持管理し、良好な状態に保つことにより安全で安心な学校給食の調理及び配食を行う。 ・老朽化する施設や少子化の状況を鑑み、老朽化する給食センターの再整備等に向けて調査を行う。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
		・安全で安心な給食の供給を続けるためには、老朽化した施設、設備等の適切で計画的な維持管理を図る必要があり、その中には、大規模な改修が必要となる箇所もある。給食センター再編を念頭にした維持管理が必要になっている。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	調理場給食事業費						所管課等	部 局	教育部	
								課等・班	学校給食センター・管理係	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				電話番号	444-1181	内線	
	(八街市総合計画) 2015	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街				E-mail	kvushoku@city.yachimata.lg.jp		
		具体的施策	学校教育の充実							
	実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校給食センターの整備			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (給食費)					実施根拠	学校給食法 八街市学校給食費徴収規則		
直接の対象者(〜に対して)	給食を受ける園児、児童、生徒等					最終的な受益者	園児、児童、生徒、保護者等			
事業目的(〜という状態にするために)	幼児、児童、生徒の心身の健全な発達のため、食事についての正しい理解と食生活を身につけさせる。									
具体的な事業内容(〜を行う)	市内13小中学校は、センター調理による給食の供給を、市内3幼稚園は、外部発注により、どちらも安心して質の高い給食を供給する。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(目標)			
	事業の実績	1	平均配食数(児・生)	食	4,520	4,359	4,171	4,171		
		2	平均配食数(幼)	食	116	99	96	96		
		3								
	事業の効果	1	残さい率(小)	%	米21.0%・パン6.5% 惣菜等14.0%	米22.8%・パン5.7% 惣菜等14.6%	米26.7%・パン7.9% 惣菜等14.9%	それぞれ前年度比▲1%		
		2	残さい率(中)	%	米30.8%・パン14.3% 惣菜等14.8%	米29.7%・パン12.2% 惣菜等15.3%	米29.9%・パン7.1% 惣菜等14.5%	それぞれ前年度比▲1%		
		3	給食事故件数	件	0	0	0	0		
		4	残さい(牛乳)	%	8.7%	8.8%	8.4%	それぞれ前年度比▲1%		
	事業効果に関する外部要因	第一調理場(調理業務)を平成20年度より民間委託している 第二調理場(調理業務)を平成28年度より民間委託している (令和2年8月より第一、第二調理場を一括して3カ年契約)								
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	大きな事故、遅れ等なく、必要とされる給食数の提供が出来た。								
④ 事業コスト	区分		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(目標)		
	(最終)予算額		千円	465,072	499,812	522,035	484,279	505,483		
	決算額	特定・その他財源()	千円	422,727	487,354	506,252	474,025	-		
		一般財源	千円	198,087	266,937	267,247	323,329	-		
	令和5年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費	296,267	委託料	176,384				
		(うち賄材料費)	(249,235)	備品購入費	593					
		役務費	781							

Check 事務事業の評価							
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	・学校給食事業は児童、生徒の心身の健全な発達、食事についての正しい理解と食生活を身につけることなどを目的としている		A	
		市の関与は妥当ですか	a	・配食日数や配食内容等を日常的に詳細に管理し、適切に供給している			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	・児童、生徒が、心身の健全な発達、食事についての正しい理解、望ましい食生活を身につけることができたと考えられる。		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	・材料の選定や献立の工夫等により給食内容の充実が図られており、現状でのコスト削減は困難。 ・学校給食摂取基準を、十分に満たすことが難しい傾向にある。		B	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	・保護者より賄材料費を給食費として徴収している。 ・現年分の未納率は約3%となっている。	A	
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	食材料費高騰の影響に対し、当初で10%と見込んでいたが、想定以上の高騰により、7月から学校給食費の15%を公費負担で対応したことで、値上げをせずに学校給食摂取基準を満たせるよう努めた。 今後も高騰の影響は拡大する傾向にあり、非常に難しい給食運営が予想される。		A	
外部評価							
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A		
				評価者 2	A		
Action 今後の事務事業の方向							
⑥	令和6年度における取組のPRと方向性	・食材や燃料等の高騰の懸念は常にあるため、材料の選定や献立の工夫等により、給食内容の質が低下しないよう努める。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
		燃料費や食材費が高騰する懸念があることから、材料選定や献立の工夫等により、給食内容や質の低下が起きないよう配慮していく。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		調理場維持管理費(明許繰越分)						部 局	教育部		
当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015 ①事務事業の概要		基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班	学校給食センター・管理係	
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさをを感じる街						電話番号	444-1181 内線	
		具体的施策	学校教育の充実						E-mail	kvushoku@city.yachimata.lg.jp	
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校給食の充実			
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学校給食法 八街市学校給食センター設置条例 八街市学校給食センター管理運営規則		
直接の対象者(〜に対して)		・学校給食を受ける児童、生徒等						最終的な受益者	児童、生徒、保護者等		
事業目的(〜という状態にするために)		・給食の円滑かつ安定的な供給を図るために、給食センターの施設、設備等の維持管理を適切に行う。									
具体的な事業内容(〜を行う)		・給食センターの施設、設備等の改修計画 ・破損箇所の早急な修繕対応 ・施設設備等の状況確認									
②		市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施											
③実績・成果		区分		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(目標)			
		事業の実績	1								
			2								
			3								
		事業の効果	1								
			2								
			3								
			4								
		事業効果に関する外部要因									
		事業効果の総合分析(達成できたこと)		・施設、設備等を適切に維持管理し、学校給食業務を円滑に運営することができた。							
④事業コスト		区分		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(目標)		
		(最終)予算額		千円				7,073	0		
		決算額	特定・その他財源()	千円				7,073	-		
			一般財源	千円				1,773	-		
		令和5年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		工事請負費	7,073						

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価			
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	・学校給食業務を適切に管理・運営するためには、施設、設備等の維持管理が必要不可欠である。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	・学校給食法に基づき市が実施する事業であり、限られた予算の範囲で優先順位を定め対応している。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	・施設、設備等を適切に維持管理し、良好な状態に保ち安定的な給食の供給ができています。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	・施設、設備等を適切に維持管理し、良好な状態に保つと同時にコスト面も考慮している。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	給食の調理に要する費用(賄材料費は除く)は、全ての市の負担となっていることから公平性に問題はない。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の長寿命化のため、八街市学校給食センター中長期整備指針を作成した。今後は、安全な給食の供給を維持するため、この整備指針をもとに、担当課等と協議および施設の改修をすすめていく必要がある。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	令和6年度における取組のPRと方向性								
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

Ⅲ まとめ

今回教育委員会が行った事務事業の評価結果は、事務事業評価一覧表のとおりです。

教育委員会の令和5年度に執行した事務事業については、総じて厳しい財政状況の中で、工夫・努力推進しており、全体を通して事務事業において概ね適正であったと評価をいただきました。

外部評価としては、平成22年度（平成21年度実施分）から2名の方に依頼しており、それぞれの評価を記載しました。

二次評価（教育委員）の意見等

- ・全体的に概ね、評価できます。今後も市民のニーズに応える事業の展開を期待します。
- ・施設・設備の老朽化に伴う改修は、工事費の高騰や材料の供給不足等、難しい局面が多々ある中、必要性・緊急性を考慮しつつ、適切に実施されています。
- ・教育センターの研修体制が充実していて、学級経営、学習指導、プログラミング教育等、幅広い分野で教職員の指導力向上に寄与している。教育センターの活用により、機能強化が図られた成果だと考えます。

外部評価の意見等

〈外部評価者〉

- ・麻野 英夫 元成田市立三里塚小学校長
- ・片岡 和久 元八街市総務部長

○教育委員の活動の概要について

・視察等は、こどもたちの様子を詳細に観察し、的確に評価しているように思われます。今後も視察機会を増やし、現場の意見を吸い上げ施策に反映していただきたい。また、視察だけではなく、こどもの意見を聞く、交流会等の実施を検討してください。

・教育委員は、高い識見に、更なる教育課題に対する研修を重ね、施設視察の折には、適切な評価・助言等を行い、現場に意欲を与え教育振興に寄与していると感じます。

○教育委員会の所管施策について

・令和5年は、5月から新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、市民、こどもたちの生活がコロナ禍前の生活に戻る年となりました。コロナ禍で直面した様々な困難を乗り越え、教育行政を継続されたと思います。

・教育委員会諸費については、優秀な人材の育成、賞賛の機会と捉え大いに推進をお願いします。

・小学校・中学校・幼稚園施設整備事業については、良好な学校環境の整備に努めていると思われます。今後も、計画的な整備をお願いします。

・教育指導諸費について、こどもたちの学校生活の充実や学習支援のため、

相談体制の整備に努めていただいています。今後も、様々な施策の展開により健全な学校運営をお願いします。

- ・各管理諸費については、節電プロジェクト等の指導の徹底をお願いします。
- ・外国語指導助手事業費については、英語力の質的な向上。コミュニケーション能力の高まり。各種テストにも成果があり、小・中連携事業の推進についてもお願いします。
- ・教育センター運営費については、教育センターの機能強化を図ることにより教職員の指導力及び資質の向上に努められてると思います。さらに大学や民間企業等との連携等による新たな研修の開催が計画されていることに期待します。
- ・通学路安全対策事業費について、小学校児童の通学時の安全確保を図るため、様々な観点から安全対策を実施することで、安全安心な学校づくりを進められることを期待します。
- ・市内相互連携は、八街市の教育力の源です。異校種、各学校の成果と課題を共有し課題解決の推進をお願いします。
- ・教材備品等購入費及び理科教育振興用備品購入費については、より良い授業とするため、積極的に推進していただきたい。
- ・援助奨励費について、就学援助による教育支援は、保護者の負担軽減にもなっています。引き続き、基準の厳格化を保ちつつ継続していただきたい。
- ・中学校地域部活動推進事業費について、部活動は中学生にとって大変意義のある活動です。「八街らしさ」を生かした準備をお願いします。
- ・社会教育振興費について、新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、事業の再開は喜ばしいことです。今後は市民ニーズに応えるため、充実した事業展開されることを期待します。
- ・青少年健全育成費について、様々な事業の実施により青少年の健全育成を推進されていると思います。たけのこの里については、高率な運営のため、早急に活用方法の検討をお願いします。
- ・中央公民館管理運営費について、新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、事業再開は喜ばしいことです。これからも、様々な事業の企画により市民の教養の向上等に繋がることを期待します。
- ・中央公民館管理運営費について、予約システムの利便性向上による潜在利用者の拡大等、更なる事業展開をお願いします。
- ・図書館管理運営費について、様々な取り組みにより市民の読書環境の整備に努めていただいていると思います。今後も市民が利用しやすい図書館の整備を期待します。
- ・郷土資料館運営費について、施設の整備が進まない中、市内の施設での出張展示や出前講座などにより市の歴史等を知る機会を設け、八街の歴史を伝えることは、評価します。郷土資料館の施設整備の方向性が早期に進展することを期待します。
- ・学校給食センター一般管理費について、物価高騰等により賄い材料費が高騰する中、栄養価を満たす賄い材料の適正化を図り、給食の質が低下しない

よう努めていただきたい。これからも子どもたちに安定した給食の提供をお願いします。

※この評価結果につきましては、ホームページで公表しております。





「ヒーちゃん ナっちゃん」©八街市

八街市のイメージキャラクター